

---

千葉市新基本計画

**第 2 次 実 施 計 画(案)**

平成27～29年度

---

平 成 27 年 2 月

千 葉 市



# 目 次

## 総 論

1 第2次実施計画について	2
2 計画の前提	4
(1) 人口の見通し	4
(2) 財政フレーム等	6
3 計画の基本的な考え方	7
(1) 計画の視点	7
(2) 計画事業の選定	9
4 計画の推進にあたって	10

## 各 論

1 豊かな緑と水辺を活かした、自然とともに生きるまちへ	13
2 支えあいがやすらぎを生む、あたたかなまちへ	36
3 豊かな心が育ち、新たな価値が生まれるまちへ	57
4 ひと・モノ・情報がつながる、生活基盤の充実した安全で快適なまちへ	87
5 ひとが集い働く、魅力と活力にあふれるまちへ	135



# 計画の総論



## Contents 目次

1 第2次実施計画について	2
2 計画の前提	4
3 計画の基本的な考え方	7
4 計画の推進にあたって	10

## 1

## 第2次実施計画について

## 1 策定の趣旨

本市では、「千葉市基本構想」（平成11年〔1999年〕12月議決）で定める基本目標などの実現を目指し、市政運営の中長期的な指針となる「千葉市新基本計画」（計画期間：平成24年度〔2012年度〕～33年度〔2021年度〕）を、市議会の議決を経て、平成23年（2011年）6月に策定しました。

本計画は、新基本計画に基づく第2次の実施計画として、3つの「実現すべきまちの個性」（「未来をつくる人材が育つまち」、「みんなの力で支えあうまち」、「訪れてみたい・住んでみたいまち」）の実現を目指し、本市が将来にわたって持続可能なまちとして発展を続けるため、まちづくりの方向性・施策体系に沿って、重点的、優先的に取り組む具体的な事業を総合的に明らかにするものです。

図表1 本市のまちづくりの基本方針

**まちづくりのコンセプト**

**わたしから！ 未来へつなぐ まちづくり**

みんなで進める  
まちづくり

未来へつなぐ計画  
的なまちづくり

個性や魅力を高め  
るまちづくり



**実現すべきまちの個性**

**まちづくりの方向性**

**方向性1**

豊かな緑と水辺を活かした、自然とともに生きるまちへ

**方向性2**

支えあいがやすらぎを生む、あたたかなまちへ

**方向性3**

豊かな心が育ち、新たな価値が生まれるまちへ

**方向性4**

ひと・モノ・情報がつながる、生活基盤の充実した安全で快適なまちへ

**方向性5**

ひとが集い働く、魅力と活力にあふれるまちへ

**まちづくりを支える力**

様々な主体の連携が織りなす「まちづくりの底力」

**未来をつくる人材  
が育つまち**

**みんなの力で  
支えあうまち**

**訪れてみたい・  
住んでみたいまち**

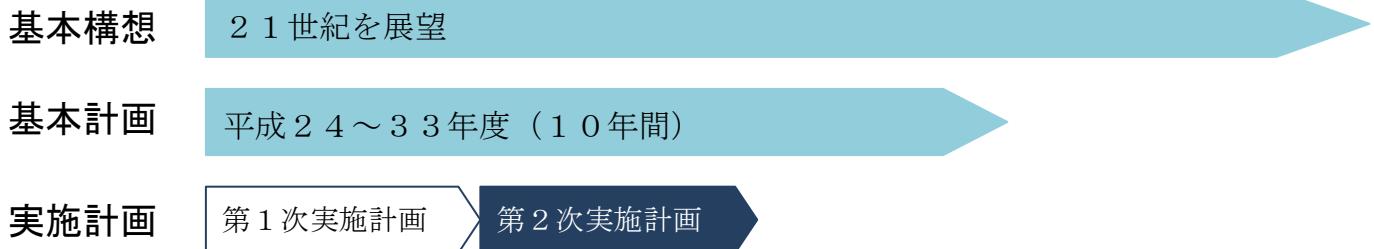
**目指すべき都市の構造**

長期的な方向性として、市民生活に必要な諸機能を徒步圏域内に集約するなどの「集約型都市構造」への転換を基本とします。

## 2 計画の名称

### 3 計画期間

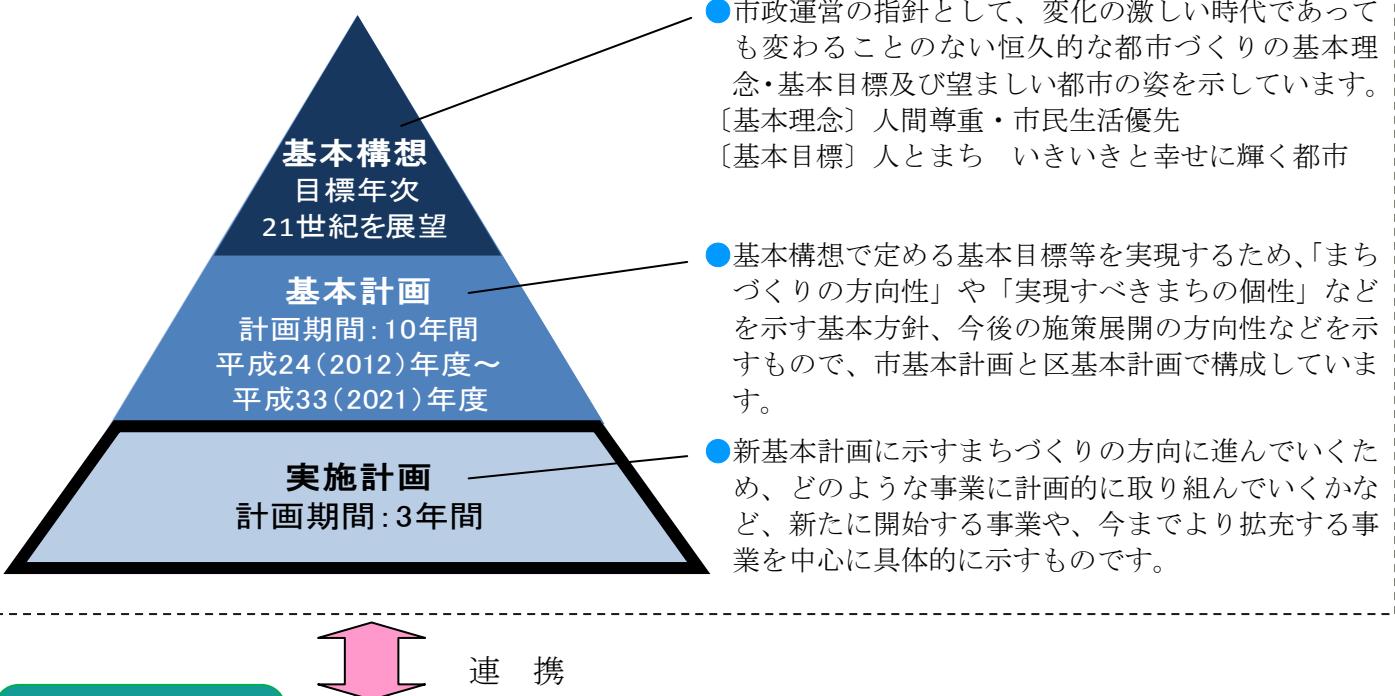
平成27年度（2015年度）を初年度とし、平成29年度（2017年度）を最終年度とする3年間とします。



図表2 本市の計画行政

#### 総合計画

まちづくりを総合的かつ計画的に進めていくための基本構想及びこれを具体化するための基本計画・実施計画



#### 個別部門計画

市政の特定課題等に対応するため各部局が策定する方針・計画

(主な個別部門計画)

- ・国際化推進プラン
- ・行政改革推進指針
- ・地域防災計画
- ・財政健全化プラン
- ・資産経営基本方針
- ・文化振興マスタープラン
- ・スポーツ振興計画
- ・健やか未来都市ちばプラン
- ・高齢者保健福祉推進計画
- ・環境基本計画
- ・一般廃棄物（ごみ）処理基本計画
- ・農業基本計画
- ・都市計画マスタープラン
- ・緑と水辺のまちづくりプラン
- ・住生活基本計画
- ・下水道事業中長期経営計画
- ・学校教育推進計画

## 2 計画の前提

### 1 人口の見通し

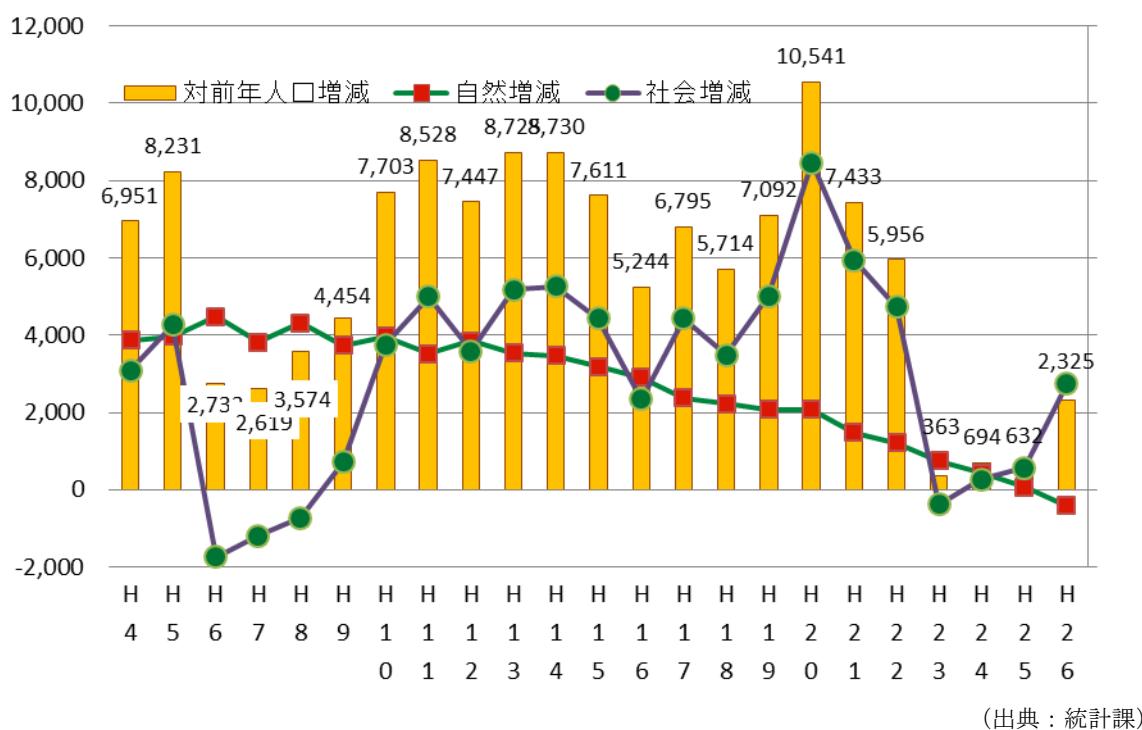
#### ① 人口の推移

本市の総人口は、これまで大規模な宅地開発等により、毎年、6～8千人程度の伸びを示していましたが、東日本大震災等の影響に伴う社会増の大幅な縮小により、平成23年度以降は微増の状況となっています。

出生数と死亡数の差である自然動態をみると、出生数は微減傾向にあり7千人程度である一方、死亡数は高齢者人口の増により一貫して増加傾向にあり、平成26年には初めて、マイナスに転じました。

転入数と転出数の差である社会動態をみると、平成23年にマイナスとなりましたが、その後やや持ち直しています。

図表3 本市人口の伸び（対前年比）の推移（平成4～25年）



(出典：統計課)

#### ② 人口の見通し

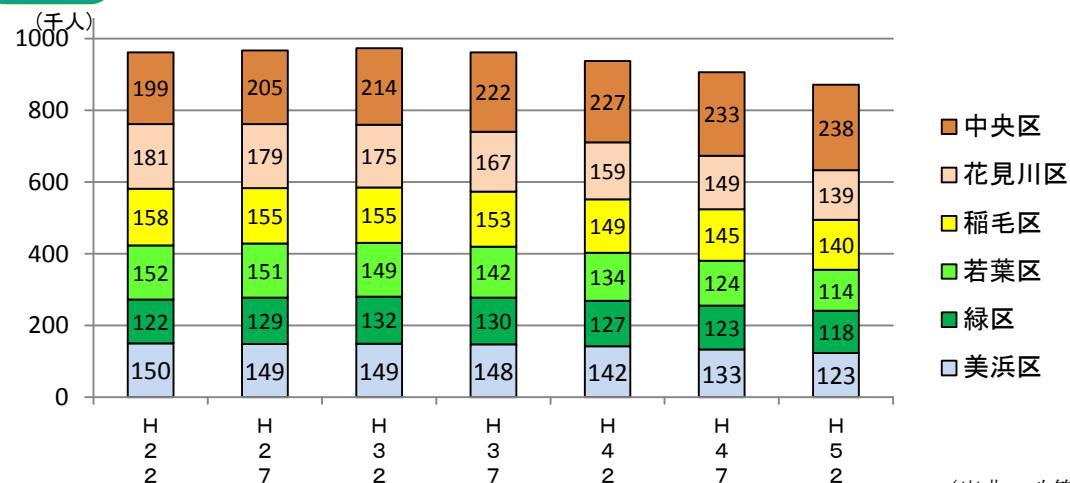
本市の総人口は、中長期的には、平成32年（2020年）をピークに、緩やかに減少する見通しとなっていますが、計画期間である平成27年度（2015年度）から平成29年度（2017年度）にかけては、わずかに増加する見通しです。

行政区別的人口をみると、大規模な宅地開発や人口の年齢構成などから、中央区や緑区では増加しますが、その他の区は横ばいもしくは減少する見通しです。

年齢3区分別の人口をみると、65歳以上人口では、約2万人増加する見通しであり、特に75歳以上人口の増加が顕著となっています。一方、生産年齢である15～64歳人口は、3年間で約1.2万人減少する見通しです。

世帯数は、平均世帯人員の減少により、緩やかに増加する見通しです。

図表4 市の将来人口推計



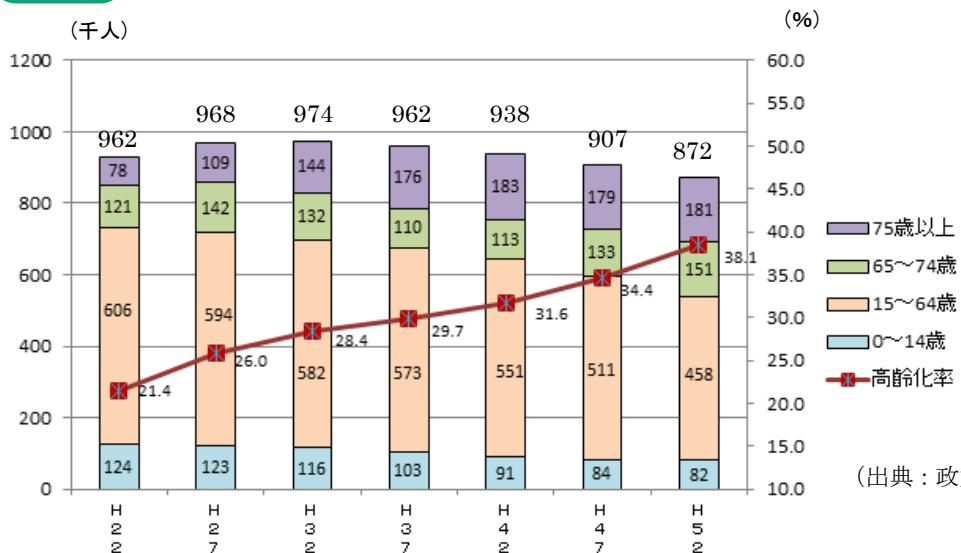
(出典：政策企画課)

(総人口)

区分	市全体	中央区	花見川区	稻毛区	若葉区	緑区	美浜区
平成 26 年	967,000	204,000	179,000	156,000	151,000	128,000	149,000
平成 27 年	968,000	205,000	179,000	155,000	151,000	129,000	149,000
平成 28 年	969,000	207,000	178,000	155,000	151,000	130,000	149,000
平成 29 年	971,000	209,000	177,000	155,000	151,000	130,000	149,000

※端数処理のため、計等が一致しない場合がある。26年度は推計値（以下表において同様。）

図表5 年齢3区分別人口と高齢化率



(出典：政策企画課)

(年齢3区分構成)

区分	15歳未満		15~64歳		65歳以上			
	構成比		構成比		構成比	構成比		
平成 26 年	125,000	12.9	599,000	62.0	140,000	14.5	103,000	10.6
平成 27 年	123,000	12.7	594,000	61.3	142,000	14.7	109,000	11.3
平成 28 年	122,000	12.6	590,000	60.8	141,000	14.6	116,000	12.0
平成 29 年	121,000	12.5	587,000	60.4	139,000	14.3	124,000	12.8

(世帯数)

区分	市全体	中央区	花見川区	稻毛区	若葉区	緑区	美浜区
計画期間	平成27年	423,000	99,000	78,000	70,000	63,000	49,000
	平成28年	427,000	101,000	78,000	70,000	64,000	49,000
	平成29年	431,000	103,000	78,000	71,000	64,000	50,000

(平均世帯人員)

区分	市全体	中央区	花見川区	稻毛区	若葉区	緑区	美浜区
計画期間	平成27年	2.29	2.06	2.30	2.23	2.38	2.66
	平成28年	2.27	2.05	2.28	2.21	2.36	2.64
	平成29年	2.25	2.04	2.26	2.19	2.34	2.61

## 2 財政フレーム等

### ① 財政健全化の取組み

本市では「財政健全化プラン」（計画期間：平成22年度～25年度）に基づき、様々な取組みを行った結果、各年度の予算編成時に見込まれていた収支不足を解消することができました。また、市債発行を抑制した結果、財政の健全性を示す指標である実質公債費比率などが改善されてきました。

しかしながら、市税収入は大きな伸びを見込めない中で、社会保障関係費の増加などにより、今後も厳しい収支状況となる見通しであり、実質公債費比率等の指標も依然として高い水準となることが見込まれます。

「第2期財政健全化プラン」（計画期間：平成26年度～29年度）では、引き続き、歳入確保や歳出削減、実質公債費比率の改善など財政健全化に向けて取り組んでいきます。

### ② 計画事業費

このような財政状況の下で、普通会計ベースでの財政収支見通しに基づく計画事業費は、878億円と見込んでいます。

また、普通会計以外の会計を加えた第2次実施計画全体の計画事業費は、1,271億円と見込んでいます。

(単位：億円)

区分	計画事業費
普通会計	878
普通会計外	393
総額	1,271

**3**

# 計画の基本的な考え方

## 1 計画の視点

人口減少や少子超高齢化、グローバル化の進展など、本市が様々な課題に的確に対応し、将来にわたって魅力的なまちであり続けるため、まちづくりの方向性に基づく取組みを通じ、3つの「実現すべきまちの個性」（「未来をつくる人材が育つまち」、「みんなの力で支えあうまち」、「訪れてみたい・住んでみたいまち」）の実現を目指します。

このため、計画期間に重点的、優先的に取り組むべき4つの視点（①「まちづくりを支える力」を高める、②行財政改革への取組み、③特性や魅力を高め、未来へつなぐ、④安全・安心のまちづくり）を設定して計画を策定し、各施策を推進します。

### 1 「まちづくりを支える力」を高める

- 複雑化・多様化する行政課題や市民ニーズに的確に対応するため、「市民一人ひとりから始まるまちづくり」の視点により、地域の課題解決に向け、担い手となる組織や体制づくりを促進します。
- 行政情報の積極的公開やＩＣＴの活用などを図りながら、市民や団体、企業など様々な主体とまちづくりの課題や目的、魅力を共有し、市民が主役となってまちづくりに参画・連携できる仕組みを構築します。
- 市民に身近な区役所の地域づくりなどの役割をさらに高め、地域における市民主体のまちづくりに資する取組みを位置付けます。



### 2 行財政改革への取組み

- 限られた財源のもと効果的な施策展開を進めるため、市民ニーズや地域課題に即したゼロベースの事業検討を行うとともに、新たな取組みについては、将来的な財政負担も踏まえ、真に取り組むべき事業のみを位置づけるなど、財政健全化への対応を図ります。
- 市民サービスの向上を図るため、業務プロセス改革を進めるとともに、市有資産の効率的な利用などを図るため、公共施設の見直しを進めるほか、長期的展望に立った都市機能の集約化を検討し、取組みを進めます。
- 財政健全化プランや行政改革推進指針などと連携し、事業の見直しについて、不斷に取り組むとともに、中長期的な視点に立って、施策の成果を重視した事業へのリニューアルなどを進めます。

### 3 特性や魅力を高め、未来へつなぐ

- 住んでみたい・訪れてみたいと感じてもらえる都市を目指し、未来の視点に立って、本市の特性や魅力を最大限に引き出し、アイデンティティを高める取組みを推進します。
- 子育て支援や教育など、未来の人材を育成する取組みや、特性を活かした3都心の育成・整備を進めるとともに、東京都心や成田国際空港に近い立地を活かし、企業立地の促進など地域経済の活性化を図るほか、豊かな緑や海辺など自然環境、培われた歴史・文化、多様な人材、民間活力などの資源を最大限に活用し、まちづくりにおける新たな需要への対応や掘り起こしを積極的に行います。
- I C Tの活用をはじめ、進取の精神により全国に先駆けた行政サービスを提供するなど、全国に発信・アピールできる取組みを進めます。
- 東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向け、観光需要の取込みやスポーツ振興などの取組みを進めます。



### 4 安全・安心のまちづくり

- 超高齢社会の到来を見据え、地域包括ケアシステムの構築など、高齢者が地域で安心して暮らせる仕組みづくりを進めます。
- 首都直下地震の発生の可能性が高まるなか、東日本大震災を踏まえた災害に強いまちづくりを推進するため、危機管理体制の充実強化を図るとともに、市有建築物やライフラインの耐震化など、防災・減災対策の充実を図ります。
- 自助・共助を生かした地域防災力の向上を図るため、自主防災組織や避難所運営委員会の設立促進など、地域住民の連帶意識に基づく防災・減災の体制づくりを促進します。
- 市民の生命・財産を守るため、集中豪雨など自然災害への対策や液状化対策、消防・救急体制の強化を図ります。



## 2 計画事業の選定

計画事業の選定にあたっては、行政サービスの受け手である市民の視点や、納税者の視点から、事業がもたらす成果を重視しました。

具体的には、第1次実施計画の進捗状況・課題を検証し、市民視点・納税者視点から事業の成果を重視した計画づくりを行うとともに、個別部門計画との整合性も考慮しながら、まちづくりの方向性（政策）や施策に貢献する事業を、計画的に位置付けました。

また、厳しい財政状況を踏まえ、財政健全化プランと連携し、緊急性や必要性、未来への投資効果などを含めた総合的な観点から、選択と集中による事業の厳選を行いました。

さらに、市民主体のまちづくりを推進するため、市民や団体、企業など、様々な主体の参加と連携のもとで取り組む事業を積極的に位置付けるとともに、取組みについては、各論で個別に紹介します。

**図表6 計画事業数**

各年度における事業は、毎年度の予算編成の中で位置付けていきます。

政策（まちづくりの方向性）	計画事業数
方向性1 豊かな緑と水辺を活かした、自然とともに生きるまちへ	45
方向性2 支えあいがやすらぎを生む、あたたかなまちへ	49
方向性3 豊かな心が育ち、新たな価値が生まれるまちへ	69
方向性4 ひと・モノ・情報がつながる、生活基盤の充実した安全で快適なまちへ	130
方向性5 ひとが集い働く、魅力と活力にあふれるまちへ	42
合 計	335

※計画事業数は、経常的な事業や千葉市以外が事業主体となる事業で計画事業費を計上していない事業も含みます。

## 4

# 計画の推進にあたって

計画の推進にあたっては、計画事業の着実な遂行を図るとともに、以下の点に留意し、推進していきます。

### 1 市民や団体、企業など様々な主体の参加と連携

計画の実現のためには、市民や団体、企業など、様々な主体と新基本計画に定める「まちづくりのコンセプト」をはじめ、「まちづくりの基本方針」について共有するとともに、3つの「実現すべきまちの個性」の実現を目指し、それぞれの主体が「まちづくりを支える力」として、まちづくりに参加し、連携する必要があります。

このため、全庁をあげて、「まちづくりを支える力」を高めていくとともに、計画のPRに努めます。

### 2 行財政改革の取組みとの連携

厳しい財政状況への対応や、効率的・効果的な行政運営への要請に応えるよう、市民視点や納税者視点に立った、行財政改革の取組みとの連携をより一層進めます。

### 3 P D C Aサイクルに基づく計画の進行管理

計画（Plan）に基づく、実施（Do）と確認・評価（Check）、さらには改善行動（Act）へと続くマネジメントを、政策評価制度に基づき、適切に行います。

具体的には、3年後にめざす目標事業量を明示するとともに、各年度の予算・決算時に計画の事業量ベースの進行管理を行い、公表します。また、本計画期間終了後、3年間の事業の振り返りを行います。

### 4 計画の弾力的な運用

計画事業の実施にあたっては、施策や事業を取り巻く社会情勢の変化や市民ニーズに的確に対応するなど、計画の弾力的な運用に努めます。

### 5 地方創生に向けた取組み

国の「地方創生」の取組みに呼応し、本市における「まち・ひと・しごとの創生と好循環の確立」のため、「千葉市版総合戦略」を策定するなど、人口減少・少子超高齢化への対応や地域経済活性化の方策などを的確に進め、計画の推進を図ります。

# 計画の各論（施策の展開）



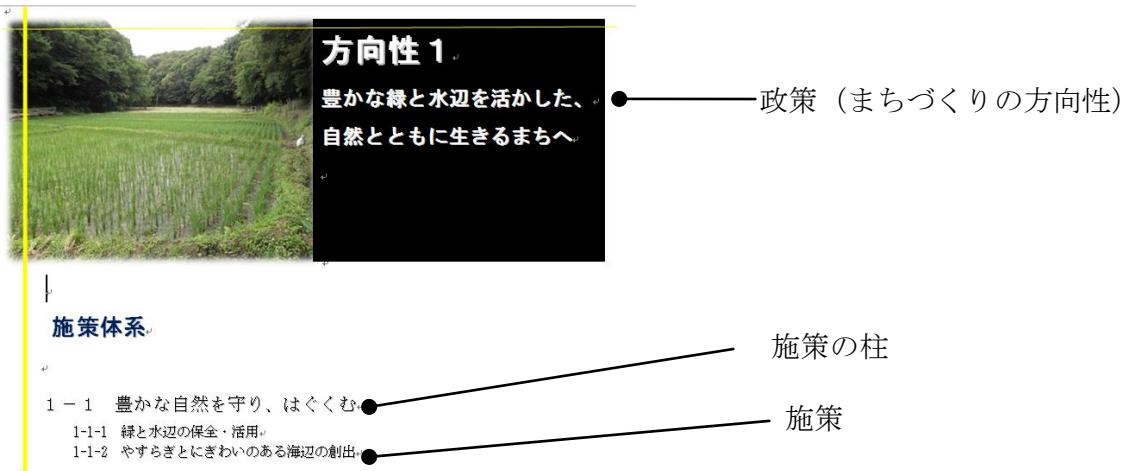
## Contents 目次

- 1 豊かな緑と水辺を活かした、自然とともに生きるまちへ ━━━━━━ 13
- 2 支えあいがやすらぎを生む、あたたかなまちへ ━━━━━━ 36
- 3 豊かな心が育ち、新たな価値が生まれるまちへ ━━━━━━ 57
- 4 ひと・モノ・情報がつながる、生活基盤の充実した安全で快適なまちへ ━━━━ 87
- 5 ひとが集い働く、魅力と活力にあふれるまちへ ━━━━━━ 135

## ● 各論の見方

### 1 全体の構成

各論は、5つの「政策（まちづくりの方向性）」、19の「施策の柱」及び58の「施策」で構成し、施策ごとに「施策の展開」と「計画事業一覧」を記載しています。



### 2 計画事業

計画事業とは、新基本計画に示すまちづくりの方向に進んでいくため、計画期間（平成27～29年度）に新たに取り組む事業や、今までより拡充する事業をいいます。

計画事業名			
取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
□△の支援	○○団体	□団体増	○○団体
計画期間（27～29年度）に取り組む項目		計画期間に取り組む新規・拡充の内容	

- 事業名の前の「●」は、計画事業費を計上する事業。「■」は、計画事業費を計上しない事業。
- は、市民や団体等の参加または連携により取り組む事業  
⇒施策の末尾に、「参加と連携」欄として、取組内容や参加方法などを具体的に示しています。
- 【新規】は、第2次実施計画で新たに取り組む事業
- 【再掲】は、複数の施策に該当する事業  
⇒主たる施策以外の施策に掲載する場合に表記しています。  
ただし、原則として同じ「施策の柱」のなかでは再掲しません。また、施策「3-5-1 市民参加・協働の推進」については、事業を再掲しません。



## 方向性 1

豊かな緑と水辺を活かした、  
自然とともに生きるまちへ

### 施策体系

#### 1－1 豊かな自然を守り、はぐくむ

- 1-1-1 緑と水辺の保全・活用
- 1-1-2 やすらぎとにぎわいのある海辺の創出

#### 1－2 緑と花のあふれる都市空間を創る

- 1-2-1 公園緑地の充実
- 1-2-2 都市緑化の推進
- 1-2-3 花のあふれるまちづくりの推進

#### 1－3 環境に配慮した低炭素・循環型社会を創る

- 1-3-1 低炭素社会の実現に向けた取組みの推進
- 1-3-2 循環型社会の実現に向けた取組みの推進
- 1-3-3 良好的な生活環境の確保
- 1-3-4 環境保全・創造活動の推進

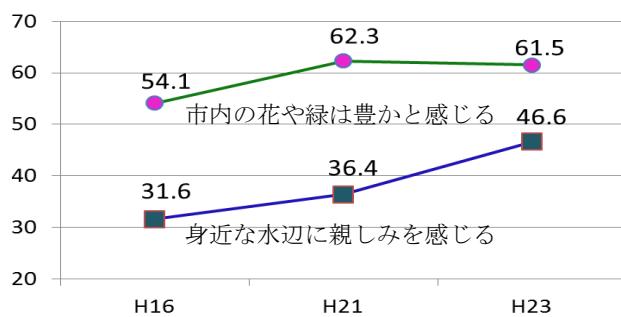
## 1-1 豊かな自然を守り、はぐくむ

### 1-1-1 緑と水辺の保全・活用

#### 施策の展開

- 本市は、郊外部などに広がる広大な樹林地や臨海部の人工海浜、特徴ある大規模な公園緑地など、首都圏にあっても豊かな緑と水辺環境を有しております。市内の水辺・花や緑に親しみや豊かさを感じる市民の割合は増加しています。一方で、緑の多くが郊外部に分布し、市街地において身近に触れることができる緑が少ないという面もあるため、市街地における貴重な緑の保全と活用を進めます。
- 本市には多様な生態系を有する谷津田など貴重な自然が多く残されていますが、近年、活動を行う団体が少ないとことや、水田の放棄地が拡大し、谷津田の機能が十分発揮されない状況が発生しています。このため、谷津田や水辺の環境について、自然の再生に向け保全活動を担う団体の育成や市民との協働による水辺環境学習などを進めます。

図表7 市内の花や緑は豊か、身近な水辺に親しみを感じる市民の割合（出典：市民1万人アンケート）



自然観察会（大草谷津田いきもの里）

#### 計画事業

### 1 市街地などの緑や水辺など、自然の保全

#### ● 谷津田の保全と活用の推進（環境保全課）



谷津田の自然を保全するため、谷津田保全区域の指定の拡大を行うとともに、保全団体等への活動支援を行います。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
谷津田保全協定の締結	48.6ha	9ha 拡大	57.6ha
NPO団体等への活動支援	3団体	1団体増	4団体

#### ● 特別緑地保全地区の推進（緑政課）

都市の良好な自然環境を有する緑地を保全するため、用地取得を行います。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
用地取得	2件（26年度事業量）	3件	3件

## ■里山の保全（農業経営支援課） 【再掲】

里山地区の保全管理活動を促進するため、市民参加によるイベント等を開催します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
市民参加によるイベント等の開催	1地区	1地区増	2地区

## 2 水辺環境の保全と回復

### ■水環境保全対策の推進（環境保全課）

身近に親しめる良好な水辺環境の保全・再生のため、小学生との協働による水辺環境学習を行うとともに、水環境保全計画を改定します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
水辺環境学習の実施	7校	3校	10校
水環境保全計画の改定	—	計画見直し	改定

### ■水辺再生活動の推進（下水道計画課）

水辺を保全するため、地元住民及び水辺を利用する周辺地域住民との協働作業を進めます。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
水辺再生活動の推進	1地区	1地区	2地区

### ●公園緑地の整備（公園建設課）【再掲】

総合的なレクリエーション利用の拠点となる総合公園（都川水の里公園・花島公園）の整備を進めます。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
都川水の里公園	供用 2.2ha 用地取得 10.6ha	0.78ha	供用 2.2ha 11.38ha
花島公園	供用 17.7ha 用地取得 21.4ha	施設整備（緑園ゾーン） 0.64ha	施設整備（緑園ゾーン）

### ●河川の改修（都市河川課）【再掲】

流域内の浸水被害を軽減するため、勝田川や坂月川等を改修します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
一級河川勝田川	河道築造 3,470m	宇那谷橋横断部 暫定整備	河道築造 3,470m 宇那谷橋横断部 暫定整備
二級河川坂月川	河道築造 1,580m	河道築造 1,346m	河道築造 2,926m
二級河川支川都川	河道築造 1/1.7 暫定改修済	河道築造（1/10 改修） 基本・実施設計	河道築造（1/10 改修） 基本・実施設計
二級河川生実川	護岸築造 179m	102m	281m

**参加と連携**

～市民のみなさんの参加やつながりが「まちづくりの底力」です。

**1 谷津田ボランティア活動**

「大草谷津田いきものの里」では、ボランティアのみなさんと協働で、水田耕作や森林の下草刈り等の自然再生活動や、生物モニタリング調査等の管理・運営を行っていきます。➡環境保全課（043-245-5187）



谷津田ボランティアによる田植え

**2 市民緑地の維持・管理**

「地域の森」として、市民緑地を守り育てていくため、地域住民のみなさんが中心となって、清掃や草刈り、樹木の剪定などの維持管理を行っています。➡緑政課（043-245-5776）



おゆみ野の森

**3 水辺の再生**

市では都市化により失われつつある水環境の保全・創出を目指して、河川や調整池をはじめとする親水空間等の水辺環境の回復と活用の取組みを、市民のみなさんとともに進めています。➡下水道計画課（043-245-5419）

**4 水環境保全対策の推進**

「水環境保全計画」に基づき、身近に親しめる良好な水辺環境の保全・再生を目的に、市民・児童等との協働により水質・生物等の調査を行い、水辺とのふれあいを推進します。

➡環境保全課（043-245-5187）

**5 市の鳥「コアジサシ」の保護**

市民や民間事業者等と連携し、市の鳥「コアジサシ」の生息地の環境保全、普及啓発等を推進します。

➡環境保全課（043-245-5187）

## 1-1-2 やすらぎとにぎわいのある海辺の創出

### 施策の展開

- ⊕ 魅力ある海辺空間を創出するため、稲毛海浜公園について、公園全体のゾーニングの見直しを行い、施設の再整備を進めるとともに、検見川地区において民間事業者により、海が見えるレストラン等を整備します。また、幕張海浜公園において、賑わい創出のイベントなど活性化を図るとともに、海辺がより身近に感じられる取組みを進めます。
- ⊕ 千葉中央港地区について、市民が気軽に訪れ、にぎわいと憩いの感じられる港づくりのため、旅客船さん橋・港湾緑地の整備を促進するとともに、旅客船ターミナル等複合施設を整備し、街・駅・海が一体となった魅力ある都市空間の形成や、県全体の海の玄関口として、観光情報の発信や周辺観光施設との連携を進めます。
- ⊕ さらに、千葉港を起点とする海上交通ネットワークに関する需要や新たな観光需要の創出を目指し、旅客船の運航実験を行います。

### 計画事業

#### ●千葉中央港地区まちづくりの推進（まちづくり推進課）

都心の機能強化や海を活かしたまちづくりを推進するため、旅客船さん橋等を整備するとともに、旅客船の運航実験を行います。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
旅客船ふ頭の整備	埋立（第1期）	桟橋1基整備、港びらき港湾整備（第2期）	一部供用開始
公園緑地整備	実施設計	工事	一部供用開始
旅客船の運航実験	27回	9回	36回

#### ●稲毛海浜公園の再整備（緑政課、公園管理課、美浜公園緑地事務所、公園建設課）

海辺の活性化を推進するため、活性化グランドデザインを策定するとともに、稲毛海浜公園の再整備を進めます。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
海辺の活性化グランドデザインの策定	案作成	策定	策定
再整備	基本計画（案）作成	基本計画策定、基本設計（全体）、実施設計・工事（一部エリア）	工事（一部エリア）
施設改修	—	施設長寿命化計画策定	施設長寿命化計画策定

#### ●海辺の活性化（海浜公園及び人工海浜）（緑政課、美浜公園緑地事務所）

海辺の活性化を推進するため、イベントを開催するとともに、回遊性向上のため、自転車走行案内板を設置します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
幕張海浜公園の活性化	防風林再生 調査	イベント開催 防風林再生 実証実験	イベント開催 防風林再生 実証実験
回遊性の向上	—	自転車走行案内板設置	自転車走行案内板設置

## 1-2

## 緑と花のあふれる都市空間を創る

## 1-2-1

## 公園緑地の充実

## 施策の展開

- ✚ 大規模な公園については、市民に身近な集客観光施設としての再生を図るために、動物公園のリニューアルを進めるとともに、泉自然公園の魅力向上と活性化を図るために、豊かな自然環境の保全・再生や自然に触れ・学び・楽しむ取組みを推進するほか、本市のスポーツ振興と防災拠点としての機能を併せ持つ蘇我スポーツ公園の整備を進めるなど、各公園の特長を生かした整備や利用促進を図ります。
- ✚ また、身近な公園においては、それぞれの公園に適した管理や運営方法について検討し、市民との協働による魅力あふれる公園づくりを進めます。
- ✚ さらに、安全で快適な利用環境を確保するため、大規模公園の老朽化した施設を改修するとともに、身近な公園の遊具などの交換を進めます。



動物公園のライオン展示場（イメージ）



泉自然公園の紅葉

## 計画事業

## 1 安全で快適な公園利用の促進

## ●公園施設の改修（公園管理課、若葉公園緑地事務所、緑公園緑地事務所、動物公園）

安全で快適な公園利用を確保するため、大規模公園の老朽化した施設を改修するとともに、昭和の森及び泉自然公園について長寿命化計画を策定し、計画的な改修・修繕を進めます。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
昭和の森 設備改修	テニスコート表層更新	球技場防球フェンス改築・ テニスコートフェンス改築 再生整備計画策定	球技場防球フェンス改築・ テニスコートフェンス改築 再生整備計画策定
樹林の再生	—	橋梁塗装等	橋梁塗装等
泉自然公園（いづみばし）	—	インフラ設備更新	インフラ設備更新
動物公園	インフラ設備更新	インフラ設備更新	インフラ設備更新

### ● 身近な公園のリフレッシュ推進（公園管理課）

公園施設の安全性で快適性を確保するため、老朽化した施設の更新を行います。また、出入口等のバリアフリー化を進めます。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
長寿命化計画に基づく遊具更新	—	206基	206基
出入口等バリアフリー化	—	12公園	12公園

### ● 有料公園施設の修繕（公園管理課）

安全で快適な公園利用を維持するため、老朽化した設備等を修繕します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
青葉の森スポーツプラザ	—	野球場等修繕 2種公認整備、漏水、フェンス防護マット	野球場修繕等 2種公認整備、漏水、フェンス防護マット

### ● 稲毛海浜公園の再整備（緑政課、公園管理課、美浜公園緑地事務所、公園建設課）【再掲】

海辺の活性化を推進するため、活性化グランドデザインを策定するとともに、稲毛海浜公園の再整備を進めます。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
海辺の活性化グランドデザインの策定	案作成	策定	策定
再整備	基本計画（案）作成	基本計画策定、基本設計（全体）、実施設計・工事（一部エリア）	工事（一部エリア）
施設改修	—	施設長寿命化計画策定	施設長寿命化計画策定

### ● QVCマリンフィールドの充実（施設の充実）（公園管理課）【再掲】

QVCマリンフィールドの来場者の安全性や快適性の向上のため、施設の改修を行います。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
施設更新	中央監視装置・音響システムの改修、観客用トイレ改修	身障者席増設 実施設計、スコアボード改修、バックネット交換、夜間フィールド照明灯改修 実施設計 中継モニター交換	身障者席増設 実施設計、スコアボード改修、バックネット交換、夜間フィールド照明灯改修 実施設計 中継モニター交換

### ● フクダ電子アリーナの充実（公園施設の充実）（公園管理課）【再掲】

フクダ電子アリーナの競技環境を改善するため、フィールドの芝生の張替えの準備を行います。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
施設改修	—	フィールド芝の圃場づくり	フィールド芝の圃場づくり

## 2 魅力あふれる公園づくりの推進

### ●動物公園の展示のリニューアル（動物公園）

市民に身近な集客観光施設として、動物公園の再生を図るため、ゾーニングの見直しや動物の再配置・新規導入等を進めます。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
子どもゾーンの整備	基本・実施設計	工事	供用開始
平原ゾーンの整備	ライオン等展示場 実施設計	工事	供用開始
	チーター等展示場 —	実施設計	実施設計
	—	実施設計（正門）	実施設計（正門）

### ●泉自然公園の魅力向上（若葉公園緑地事務所）【新規】

泉自然公園の豊かな自然環境の保全と再生を図るため、樹木の間伐やビジターセンター・観察路の整備を行います。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
自然環境の保全・再生	現況調査	桜の剪定・間伐・補植	桜の剪定・間伐・補植
活動拠点・観察路の整備	計画策定、間伐	ビジターセンター整備 観察路周辺間伐	ビジターセンター開設 観察路周辺間伐

### ●公園緑地の整備（公園建設課）

市民の日常生活に密着した、身近な公園を整備します。

また、緑と水辺のふれあいの場を創出するため、都川水の里公園・花島公園の整備を進めるとともに、スポーツ・レクリエーション及び広域的な防災の拠点とするため、蘇我スポーツ公園の整備を進めます。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
住区基幹公園（身近な公園）	—	整備 2か所	整備 2か所
都川水の里公園	供用 2.2ha 用地取得 10.6ha	0.78ha	供用 2.2ha 11.38ha
蘇我スポーツ公園	供用 30.7ha 用地取得 22.8ha	施設整備（第4工区） 4.6ha	供用 36.9ha 27.4ha
花島公園	供用 17.7ha 用地取得 21.4ha	施設整備（緑園ゾーン） 0.64ha	施設整備（緑園ゾーン）

### ■身近な公園のパークマネジメントの推進（公園管理課）



身近な公園の魅力向上と利用促進を図るため、地域と連携した公園の管理・運営を進めます。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
パークマネジメント協定の締結	15公園	48公園	63公園

## ■市民協働による公園管理（中央・稲毛、花見川、若葉、緑、美浜公園緑地事務所）

魅力ある公園づくりを推進するため、市民との協働による公園管理を行います。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
千葉公園（ボランティア活動による花壇の管理）	10か所	3か所増	13か所
花島公園（写真展等の開催）	2回/年	1回/年増	3回/年
泉自然公園（野草管理ボランティアの養成）	—	20名	20名
昭和の森（樹林地環境の整備及び管理）	—	講習会・作業体験会等の開催 1回/年	講習会・作業体験会等の開催 3回
稲毛海浜公園（ボランティアによる樹木の管理）	—	講習会の開催 12回/年 樹木管理計画案の作成	講習会の開催 12回/年 樹木管理計画案の作成

## ■公園を活用した健康づくりの推進（花見川公園緑地事務所）

市民の健康づくりを促進するため、地域コミュニティと連携し、公園を活用した健康づくりプログラムを作成します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
健康づくりプログラムの作成	2か所	3か所	5か所

## ■手づくり公園の設置促進（公園建設課）

魅力ある公園づくりを推進するため、市民が主体となって計画から整備、管理までを行う「手づくり公園」の設置を促進します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
手づくり公園の設置	1か所	1か所	2か所

## ■プレーパークの設置促進（こども企画課、緑政課）

子どもの健全育成と公園利用の活性化を図るため、プレーパークの設置を促進します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
プレーパークの設置	5団体	3団体	8団体

**参加と連携**

～市民のみなさんの参加やつながりが「まちづくりの底力」です。



## 1 市民との協働による公園管理

市民の身近な遊びやふれあいの場である公園を、より美しく親しみのある公園とするため、管理運営の一部を、市民のみなさんとの協働により行っています。

### ・パークマネジメント

市民のみなさんのニーズに対応した公園管理を目指すため、身近な公園について、地域住民のみなさんとの協働による管理・運営を検討していきます。➡公園管理課（043-245-5779）

### ・手づくり公園

市民のみなさんが主体となり、公園の計画から整備、管理までを行う「手づくり公園」に取り組んでいます。

➡公園建設課（043-245-5784）



手づくり公園

### ・公園を活用した健康づくりの推進

花見川区内の一部の公園内において、地元の自治会等との連携により、ウォーキングコースの設定や健康遊具の利用方法の掲示などを行い、市民の皆さんの健康づくりを推進しています。

➡花見川公園緑地事務所（043-286-8740）

### ・プレーパークの設置促進

プレーパークを開催する団体に対してプレーリーダーの派遣などの支援を実施するとともに、開催場所に関するルールづくりを行い、市民のみなさんが主体となったプレーパークの設置を促進していきます。

➡こども企画課（043-245-5673）、緑政課（043-245-5747）

### ・千葉公園

毎週水曜日を「ボランティア活動の日」と定め、「花壇づくり」と「清掃・除草・植物管理」の2グループに分かれて活動を行っています。➡中央・稻毛公園緑地事務所（043-251-5103）

### ・花島公園

市民ボランティアグループのみなさんの協力による花壇の管理や近隣小学校の児童による花畠の種まきを行っています。また、写真展や野鳥観察会等を開催しています。➡花見川公園緑地事務所（043-286-8740）

### ・泉自然公園

豊かな自然環境を有する園内において、野草や野鳥のガイド及び野草の管理をしていただくボランティアを養成し、泉自然公園の魅力の向上を図っていきます。➡若葉公園緑地事務所（043-228-0080）

### ・昭和の森

市民ボランティアグループなどのみなさんの協力により、園内の花壇づくりやホタルの観察会などを行っています。また、園内の樹林再生に向け、樹林地環境の整備及び管理に係る活動に、市民のみなさんがより多く参加できるよう、講習会や作業体験会等を開催しています。➡緑公園緑地事務所（043-294-2884）

### ・稻毛海浜公園

市民ボランティアグループのみなさんの協力により、園内の花壇の管理を行うとともに、講習会を開催し、管理技術の向上を図りながら園内の樹木の管理を行っていきます。➡美浜公園緑地事務所（043-279-8440）

### ・都川水の里公園

ふるさとの原風景を再生するため、市民ボランティアグループのみなさんの協力のもと、一部開園している「小川・田んぼエリア」にある、かつて耕作されていた田んぼで稲作を行っています。

➡公園建設課（043-245-5784）



都川水の里公園

## 1-2-2 都市緑化の推進

### 施策の展開

- 本市の市街地においては建物が密集しているなど、新たな公園整備や民有地の緑化が難しい状況にあります。生活の中でより身近に緑を感じることができるように、公共空間をさらに活用した緑化や、建物の屋上や壁面を緑化するなど、まちなかの緑化を推進します。
- また、緑地協定や緑化協定により、市内の住宅地や工場・事業所など、民有地の緑化を促進します。



### 計画事業

#### ■ 緑地協定の推進（緑政課）



緑豊かな住環境を創出するため、緑地協定の締結を促進し、住宅地の緑化を推進します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
緑地協定の締結	36 地区	2 地区/年増	42 地区

#### ■ 工場・事業所等の緑化の推進（緑政課）



緑豊かな都市景観を形成するため、緑化協定を締結し、工場・事業所の敷地の緑化を推進します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
緑化協定の締結	854 件	3 件/年増	863 件

#### ■ 緑化意識の普及啓発（緑政課）



市民参加による緑化を推進するため、「緑のカーテン」の普及啓発を行います。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
緑のカーテンの実施（公共施設）	100 か所	10 か所/年増	130 か所

#### ■ 中心市街地の緑化の推進（緑政課）

中心市街地の緑化を推進するため、建物屋上や壁面の緑化に助成します。

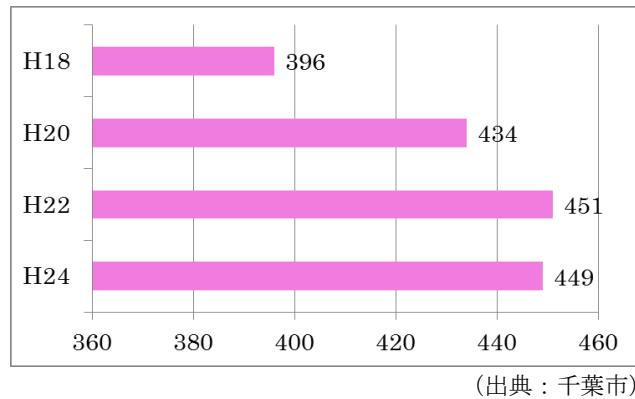
取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
屋上・壁面緑化への助成	7 件	5 件/年 増	22 件

# 1-2-3 花のあふれるまちづくりの推進

## 施策の展開

- 市民や民間団体等との協働により、花のあふれるまちづくりに取り組んできた結果、市内各所で花が見られるようになり、花を通した市民交流も着実に進んでいます。
- 今後とも、より多くの市民の協力を得ながら、身近な公園や歩道などの公共空間や中心市街地における花壇づくり、花や緑に関するイベントの開催などに取り組みます。
- 市の花「オオガハス」については、千葉公園などに蓮池を整備し、身近に鑑賞できる環境づくりやイベントの開催等で普及を図るなど、市の花としての定着に努めてきました。今後とも、オオガハスの発祥のまちとして系統保存を行うなど、より一層、市民に親しまれる取組みを進めます。

図表8 花いっぱい市民活動団体数



市民による花壇づくり

## 計画事業

### ■ 花いっぱい地域活動の推進（緑政課）



花のあふれるまちづくりを推進するため、花に係る地域活動団体に、花の苗や種子を配布します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
花いっぱい地域活動の推進	442 団体	2 団体/年増	448 团体

### ■ 緑と花の人材育成と活動拠点づくりの推進（緑政課）



緑豊かで花のあふれるまちづくりを進めるため、緑と花の地域リーダーを育成するとともに、地域の活動を支援します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
緑と花の地域リーダーの育成	160 名	10 名/年 増	190 名

### ■ 緑と花のコンテストの実施（緑政課）



花のあふれるまちづくりへの意識を高めるため、花づくりに係る日頃の活動の発表の場としてコンテストなどを開催します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
緑と花のコンテスト開催	50 団体	5 団体/年増	65 団体

## ■市の花・オオガハスの系統保存（緑政課）

市の花「オオガハス」の文化的・歴史的な価値を保持するため、市民に普及啓発するとともに、栽培樹で系統保存を行います。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
オオガハスの系統保存（植替え及び株分け）	9基保存	9基（植替え及び株分け） 保存	9基（植替え及び株分け） 保存

## 参加と連携

～市民のみなさんの参加やつながりが「まちづくりの底力」です。



### 1 緑と花の地域リーダーの育成

緑や花に関する地域活動の中心的な役割を担う人材を育成するため、講座にて必要な園芸技術や心構え等を学び、リーダーとして認定します。リーダーのみなさんは、花のあふれる地域づくりや、各区の総合公園等での花苗や花壇づくりなど、幅広く活動しています。➡緑政課（043-245-5775）



緑と花の地域リーダー養成講座

### 2 花びと会しば

市民、企業、生産者などが連携して、「花のあふれるまちづくり」を進めるための市民団体です。園芸キャリアアップ講座や千葉公園でのオオガハスを観る会の開催など、「花のあふれるまちづくり」を目指す先導的な役割を担っています。

➡緑政課（043-245-5775）

### 3 花いっぱい地域活動の推進

地域で花壇づくりに取り組んでいる団体に、花苗や種子を助成して活動の支援をしています。現在、約450団体が、道路沿いや公園など市内各地に美しい花壇を造っています。➡緑政課（043-245-5775）

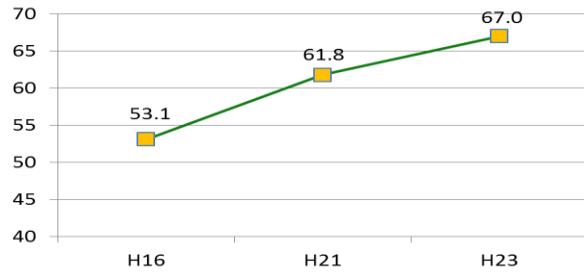
## 1-3 環境に配慮した低炭素・循環型社会を創る

### 1-3-1 低炭素社会の実現に向けた取組みの推進

#### 施策の展開

- ⊕ 地球温暖化対策に関する国や国際的な動向と協調しながら、市民・事業者・市のすべての主体が環境に対する規範意識をもち、役割に応じた温室効果ガスの排出抑制などを総合的・計画的に推進するため、地球温暖化対策実行計画を策定します。
- ⊕ また、近年の地球温暖化や東日本大震災の原子力発電所事故を受け、安全で環境に優しい再生可能エネルギーに関する社会的な関心が高まっています。市民への住宅用太陽光発電設備や太陽熱利用給湯システムの設置助成を促進するとともに、防災拠点への再生可能エネルギー設備の設置を推進します。
- ⊕ さらに、各種イベント等を活用し、地球温暖化防止対策に関する普及啓発を推進するとともに、市民や事業者、行政等で組織する地域協議会活動の促進や、環境マネジメントシステムの運用による環境配慮への取組みを推進します。

図表9 日頃、省エネルギーに取り組んでいる市民の割合



市内のメガソーラー（航空写真）

#### 計画事業

### 1 温室効果ガスの排出削減

#### ● 地球温暖化対策実行計画の策定（環境保全課）



環境にやさしいまちづくりを推進するため、市民、事業者、行政、関係機関が一体となり、温室効果ガス排出量を削減するための次期計画を策定します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
地球温暖化対策実行計画の策定	—	策定	策定

### ●自動車公害防止対策の推進（環境規制課）

市民の健康、生活環境を保全するため、自動車から排出される二酸化炭素等温室効果ガスの削減などに向けた取組みを行います。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
燃料電池自動車の公用車への導入	—	1台	1台

### ●下水道施設の地球温暖化対策（下水道施設建設課）

温室効果ガス排出量の削減を図るため、消化ガスを有効利用する設備を整備とともに、太陽光などの再生可能エネルギーの導入を図るため、発電設備の整備を推進します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
資源有効利用施設の整備	南部浄化センター 消化ガス発電設備、ガスホルダ機械設備	南部浄化センター 消化ガス発電設備、再生水ポンプ設備、ガスホルダ機械設備、太陽光発電設備	南部浄化センター 消化ガス発電設備、再生水ポンプ設備、ガスホルダ機械設備、太陽光発電設備

### ●防犯街灯のLED化（市民サービス課）【再掲】

環境への配慮及び経費節減のため、従来の水銀灯の全灯LED化を推進します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
防犯街灯のLED化	方針決定	51,000灯	完了

## 2 再生可能エネルギーの推進

### ●防災拠点への再生可能エネルギー導入の推進（環境保全課）

環境負荷の低減や災害に強いまちづくりを推進するため、防災拠点への再生可能エネルギー設備の設置を推進します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
防災拠点への再生可能エネルギー等設備の設置	—	22か所	22か所

### ●太陽光発電設備等設置助成の推進（環境保全課）

再生可能エネルギーの導入を支援し、環境にやさしいまちづくりを推進するため、住宅用太陽光発電設備や太陽熱利用給湯システム等の設置に助成します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
太陽光発電設備 (戸建)	2,699件	2,100件	4,799件
(分譲マンション)	—	3件	3件
太陽熱利用給湯システム (住宅用)	34件	30件	64件
(事業用)	—	3件	3件
家庭用燃料電池システム	245件	900件	1,145件

**参加と連携**

～市民のみなさんの参加やつながりが「まちづくりの底力」です。

**1 地球温暖化対策の推進**

市民、事業者、行政等で構成する千葉市地球温暖化対策地域協議会と連携し、フェスティバルやセミナーの開催等各種普及啓発活動を実施するとともに、各主体間の相互理解を深めるための情報交換等を実施します。

また、事業者が実施する地球温暖化に配慮した自主的な取組みに関する計画書の作成や報告書の提出により、取組状況を把握するとともに、温暖化防止に関するセミナーの開催や情報提供により、意識の高揚を図ります。☎環境保全課（043-245-5199）

## 1-3-2 循環型社会の実現に向けた取組みの推進

### 施策の展開

- ⊕ 本市では循環型社会の構築に向け、さらなる焼却ごみの削減を図るため、家庭ごみ手数料徴収制度の導入をはじめ、古紙・布類の分別収集や再資源化など、市民及び事業者と協働しながら徹底したごみの減量・再資源化の取組みを進めています。
- ⊕ 今後も、一般廃棄物（ごみ）処理基本計画に基づき、ごみの分別・再資源化に向けた取組みを積極的に推進するとともに、将来にわたり安定したごみ処理体制を構築するため、3用地で2清掃工場を運用する体制への移行を進めます。
- ⊕ また、不適正排出について、廃棄物適正化推進員等と連携しつつ、啓発・指導を強化するとともに、不法投棄の未然防止のため、町内自治会に監視カメラを貸与するほか、不法投棄防止監視パトロールを行います。



ごみ分別スクール

### 計画事業

#### 1 将来的なごみ処理体制の構築

##### ●一般廃棄物（ごみ）処理基本計画の策定（廃棄物対策課）

3用地で2清掃工場を運用するごみ処理体制を目指し、焼却ごみ量の推移や将来予測等を踏まえ、一般廃棄物（ごみ）処理基本計画を改定します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
一般廃棄物（ごみ）処理基本計画の策定	策定方針の作成	策定	策定

##### ■廃棄物処理施設の整備推進（施設課）

将来にわたり安定したごみ処理体制を構築するため、一般廃棄物処理施設基本計画を策定し、清掃工場の整備を推進します。また、最終処分場の整備について、検討を行います。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
一般廃棄物処理施設整備	－	一般廃棄物処理施設基本計画策定、環境アセスメント調査	一般廃棄物処理施設基本計画策定、環境アセスメント調査

#### 2 ごみを出さない社会づくりの推進

##### ■ごみ減量のための「ちばルール」の推進（廃棄物対策課）



循環型社会を構築するため、食品トレイ等の店頭回収、レジ袋削減、簡易包装の推進等を展開する「ちばルール」の協定店の増加を図ります。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
商店会等との協定締結	66事業者	9事業者	75事業者

### ■ 3R教育・学習の推進（廃棄物対策課）

循環型社会の構築に向け、さらなる焼却ごみの削減を図るため、3Rに関する各種普及啓発を行います。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
小学生のごみ出しチェック隊の認定者	1,730人	2,100人増	3,830人
ごみ減量講習会の実施	100回/年（26年度事業量）	100回/年	300回
単身世帯向け住宅へのポスティング	3地区・2,500世帯/年 (26年度事業量)	3地区・2,500世帯/年	9地区・7,500世帯

### ■ 不法投棄対策の強化（収集業務課）

ごみの不法投棄を防止するため、監視パトロールを拡充します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
不法投棄等防止監視パトロール	1,400回/年	100回増/年	1,700回/年

## 3 分別の徹底・資源化の推進

### ● ごみ減量・再資源化の推進（廃棄物対策課）

3用地で2清掃工場を運用するごみ処理体制を実現するため、焼却ごみ量を削減するとともに、バイオマスの再資源化を推進します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
家庭用生ごみ処理機の助成	250基/年	50基/年 増	300基/年
家庭用生ごみ肥料化容器の助成	400基/年	250基/年 増	650基/年
剪定枝等循環システム	—	モデル事業	モデル事業

### ■ 古紙・布類の資源化拡充（収集業務課）

集団回収事業のPRを強化し、古紙・布類の資源化を推進します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
集団回収未登録団体への説明会の開催	—	30回	30回

**参加と連携**

～市民のみなさんの参加やつながりが「まちづくりの底力」です。

**1 ごみ減量のための「ちばルール」行動協定**

「ちばルール」の協定店が取り組んでいる食品トレイ等の店頭回収、レジ袋の削減、簡易包装等の推進に市民の皆様が、積極的に参加していただくことで、ごみの減量と再資源化が一層進みます。

➡ 廃棄物対策課 (043-245-5379)



協力店の店頭における食品トレイ排出  
キャンペーン

**2 小学生のごみ出しチェック隊**

小学生が、ごみ出しチェック隊「ヘラソーズ」になって、町内自治会などの地域の皆さんと一緒に学校周辺のごみステーションの分別状況をチェックします。

**【小学生の声】**

「ルールの守られていないごみがあったので、一人ひとりがルールを守ればきれいになると思いました。」「間違って出されたごみも多少あると知りました。間違ったごみを減らしたいです。」

➡ 廃棄物対策課 (043-245-5379)



ごみ出しチェック隊「ヘラソーズ」

**3 廃棄物適正化推進員**

廃棄物適正化推進員は、地域と行政のパイプ役として、ごみの分別や排出ルールなどの周知に努めるとともに、清掃活動のリーダーシップをとり、地域の環境美化にご協力をいただいております。

➡ 収集業務課 (043-245-5249)

## 1-3-3 良好な生活環境の確保

### 施策の展開

- ⊕ 本市の大気の状況は、概ね良好な状態に改善されていますが、光化学スモッグの原因物質である光化学オキシダントやPM2.5については、環境基準を達成していないため、実態把握に努めるとともに、必要な対策を強化します。
- ⊕ 羽田空港の再拡張に伴う航空機騒音問題については、国において、飛行高度の引き上げなど騒音軽減策が進められていますが、抜本的な改善には至っていません。今後とも、航空機騒音の実態把握に努めるとともに、海上ルートへの移行や首都圏全体での騒音の分担など抜本的対策の早期実現に向け、取組みを進めます。
- ⊕ 水環境は、地下水の保全や生活排水対策などを進めてきた結果、河川の水質は大幅に改善されています。引き続き、浄化センターにおける高度処理施設の整備や生活排水処理対策の取組みを進めます。



航空機騒音計



PM2.5自動測定器

### 計画事業

#### 1 良好な大気環境づくりの推進

##### ■ 大気環境測定の推進（環境規制課）

市民の健康と生活環境を守るために、大気中の微小粒子状物質（PM2.5）の成分分析を行います。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
PM2.5成分分析	1地点、4回/年	1地点 4回/年	1地点 4回/年

##### ● 航空機騒音測定体制の充実（環境規制課）

航空機騒音の実態を把握し、市民の生活環境を保全するため、航空機騒音測定体制を拡充します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
航空機騒音計の増設	3台	1台	4台

## 2 良好な水環境づくりの推進

### ●川や海の水質保全（高度処理施設の整備）（下水道施設建設課）

東京湾の水質を改善するため、浄化センターに高度処理施設を整備します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
南部浄化センター	C系水処理施設	リン回収設備整備	リン回収設備整備
中央浄化センター	汚泥処理施設撤去	水処理施設整備	水処理施設整備

### ●上水道配水管布設等の支援（環境規制課）

地下水汚染が確認された世帯に安全な飲料水を確保するため、上水道布設等の支援を行います。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
上水道配水管布設助成	1件（26年度事業量）	46件	46件
浄水器設置助成	20件（26年度事業量）	60件	60件

### ■生活排水処理の推進（収集業務課）

生活排水の適正な処理を推進するため、生活排水処理基本計画を策定するとともに、公共下水道が未整備の地域において、合併処理浄化槽の設置費用の一部に助成します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
生活排水処理基本計画の策定	策定方針の作成	策定	策定
合併処理浄化槽設置助成	3,431基	24基増	3,455基

### ■水環境保全対策の推進（環境保全課） 【再掲】

身近に親しめる良好な水辺環境の保全・再生のため、小学生との協働による水辺環境学習を行うとともに、水環境保全計画を改定します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
水辺環境学習の実施	7校	3校	10校
水環境保全計画の改定	—	計画見直し	改定

## 1-3-4 環境保全・創造活動の推進

### 施策の展開

- ✚ これまで、排出規制の強化など、環境保全の取組みを進めてきた結果、大気環境中の二酸化窒素の濃度が大幅に改善したほか、市民の一日あたりごみ排出量や再生利用率が改善するなどの成果をあげています。一方、市域の温室効果ガスの排出量や地下水汚染など、環境基準を一部未達成のものがあるため、引き続き、市民や事業者の理解と協力のもと、地域を挙げた取組みを進めます。
- ✚ また、本市には、谷津田や里山をはじめ、多様な自然や生物が多く残されています。自然と人が相互に良好な関係を保ち、ともに生存し続けるため、生物の多様性に配慮した自然環境の保全に向けた取組みを進めます。
- ✚ さらに、市民が地球温暖化対策や自然環境の保全などに対する理解を深め、日常生活において、環境に配慮した取組みにつながるよう、環境に関する教育・学習の推進や、環境保全活動の活性化を図ります。



環境学習モデル校の取組み

### 計画事業

#### ■環境学習・環境教育の推進（環境保全課）

環境問題に対する理解を深めるため、学校での環境教育を充実するとともに、市民団体との協働による学習会や環境学習講座を開催します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
環境学習モデル校の指定	小学校6校、中学校6校（26年度事業量）	小学校6校/年 中学校6校/年	小学校18校 中学校18校
環境学習講座	67講座	8講座/年	91講座

#### ■みどりの出張教室（緑政課）

環境保全に配慮した行動をとることができるこどもたちを育むため、小学校等を対象に「みどりの出張教室」を開催します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
みどりの出張教室の開催	2回	13回	15回

#### ■水環境保全対策の推進（環境保全課） 【再掲】

身近に親しめる良好な水辺環境の保全・再生のため、小学生との協働による水辺環境学習を行うとともに、水環境保全計画を改定します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
水辺環境学習の実施	7校	3校	10校
水環境保全計画の改定	—	計画見直し	改定

●谷津田の保全と活用の推進（環境保全課）  【再掲】

谷津田の自然を保全するため、谷津田保全区域の指定の拡大を行うとともに、保全団体等への活動支援を行います。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
谷津田保全協定の締結	48.6ha	9ha 拡大	57.6ha
NPO団体等への活動支援	3団体	1団体増	4団体

**参加と連携**

～市民のみなさんの参加やつながりが「まちづくりの底力」です。 

**1 環境学習・環境教育の推進**

小中学校の各6校を環境学習モデル校に指定し、自然体験活動や社会奉仕活動など様々な環境保全活動を通じて、環境保全活動に参加する意識等の育成を図ります。また、市民団体等と連携し、公民館等で環境学習講座を実施します。

☎環境保全課 (043-245-5199)



## 方向性2

支えあいがやすらぎを生む、  
あたたかなまちへ

### 施策体系

- 2-1 健康で活力に満ちた社会を創る
  - 2-1-1 健康づくりの推進
  - 2-1-2 医療体制の充実
  - 2-1-3 食の安全と環境衛生の推進
- 2-2 こどもを産み、育てやすい環境を創る
  - 2-2-1 子育て支援の充実
  - 2-2-2 こどもの健全育成の推進
- 2-3 ともに支えあう地域福祉社会を創る
  - 2-3-1 地域福祉の充実
- 2-4 高齢者が心豊かに暮らせる長寿社会を創る
  - 2-4-1 介護予防と生きがいづくりの促進
  - 2-4-2 地域生活支援の充実（高齢者）
  - 2-4-3 介護保険サービスの充実
- 2-5 障害のある人が自立して暮らせる共生社会を創る
  - 2-5-1 療育体制と相談支援の充実
  - 2-5-2 地域生活支援の充実（障害のある人）
  - 2-5-3 就労支援と社会参加の促進

## 2-1 健康で活力に満ちた社会を創る

### 2-1-1 健康づくりの推進

#### 施策の展開

- 全ての市民が支えあいながら、心豊かに暮らせる活力に満ちた社会を目指し、疾病の発生予防や重症化予防に重点を置いた健康づくりや、親子が健やかに暮らせる社会づくり、ライフステージに応じた健康づくりの取組みなどを推進しています。
- 市民の健康づくりを促進するため、市民、行政、関係機関・団体等が一体となって健康づくり等に取り組むための行動計画として策定した「健やか未来都市ちばプラン」に掲げる施策の推進状況や健康目標の達成度などの中間評価を行うとともに、必要な見直しを図ります。
- また、市民が主体的に健康づくりに取り組む環境を目指し、地域の自主運動グループの育成・継続支援や、健康づくりに取り組む団体へのインセンティブ制度などを行います。
- 疾病の予防や早期発見、早期治療を図るために、がん検診や特定健康診査の取組みを推進するとともに、胃がんリスク検査を実施するほか、疾病の重症化を予防するため、慢性閉塞性肺疾患（COPD）に関する普及啓発を行います。



ヘルスセミナー

#### 計画事業

##### ● 健やか未来都市ちばプランの中間評価（健康企画課）

市民の健康づくりを推進するため、「健やか未来都市ちばプラン」の中間評価・見直しを実施します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
中間評価・見直し	—	アンケート調査、中間評価・見直し	中間評価・見直し

##### ● 健康づくりの促進（健康支援課）

健康づくりを促進するため、地区組織や事業所、個人が運動習慣を身につけるための環境整備を行います。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
ポイント付与システム	地区組織 83 団体 事業所 9 事業所	37 団体増 91 事業所増	120 団体 100 事業所
運動イベント	—	モデル実施	モデル実施
ヘルスセミナー	72 回/年	3 回増/年	81 回/年
出前講座	48 回/年	48 回/年	48 回/年
個人向けメールマガジンの配信	—	実施	実施

### ●胃がんリスク検査の試行実施（健康支援課）【新規】

がんに対する意識の向上を図るため、胃がんリスク検査を試行的に実施します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
胃がんリスク検査	—	実施（試行）	実施（試行）

### ■慢性閉塞性肺疾患（COPD）の予防促進（健康支援課）

慢性閉塞性肺疾患の予防促進のため、普及啓発を拡充します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
講演会の開催	5回/年	1回/年増	6回/年

### ●特定健康診査の充実（健康保険課）

生活習慣病の予防を目的とした特定健康診査の実施率の向上を図るため、電話による受診勧奨を行います。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
電話による受診勧奨	40歳未受診者	40～65歳未受診者	40～65歳未受診者

### ■公園を活用した健康づくりの推進（花見川公園緑地事務所） 【再掲】

市民の健康づくりを促進するため、地域コミュニティと連携し、公園を活用した健康づくりプログラムを作成します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
健康づくりプログラムの作成	2か所	3か所	5か所

### ●若葉区ラジオ体操による健康づくり（若葉区健康課）

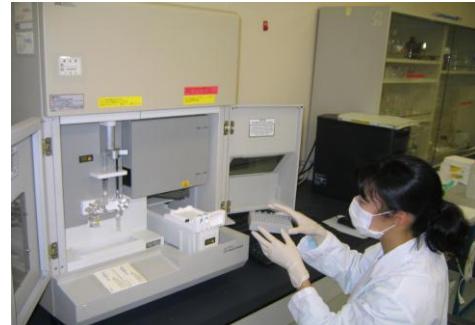
ラジオ体操を通じた健康づくりや世代間交流を図るため、実技講習会や情報交換会を開催します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
実技講習会・情報交換会	17小学校区	3小学校区	20小学校区

## 2-1-2 医療体制の充実

### 施策の展開

- ✚ 医療法の改正などにより医療提供体制の改革が進む中、救急医療をはじめ、青葉病院での血液疾患や身体合併症を有する精神疾患、海浜病院でのがん診療や小児・周産期医療など、市民に必要とされる医療を継続的に提供します。
- ✚ 青葉病院の救急機能の強化を図るため、救急棟を整備するとともに、救急救命士の臨床研修の実習施設として、救急ワークステーションを設置します。
- ✚ また、新型インフルエンザや新興の感染症などに迅速に対応する危機管理体制を整備するため、環境保健研究所の検査機器を更新します。



環境保健研究所の検査風景

### 計画事業

#### ●青葉病院救急棟の整備（青葉病院事務局）

救急医療体制を強化するため、青葉病院に救急棟を整備します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
青葉病院 救急棟の整備	工事	工事	供用開始

#### ■青葉病院救急ワークステーションの設置（救急課）

救急医療体制を強化するため、青葉病院救急棟に救急隊員の研修施設である救急ワークステーションを設置します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
救急ワークステーション の設置	—	設置	設置

#### ●市立病院医療機器の更新（青葉病院事務局、海浜病院事務局）

市民に必要とされる医療を継続的に提供するため、両市立病院の医療機器を更新します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
医療機器の更新 (青葉病院)	—	心血管用2方向撮影装置 磁気共鳴断層撮影装置等	心血管用2方向撮影装置 磁気共鳴断層撮影装置等
医療機器の更新 (海浜病院)	—	X線撮影システム 磁気共鳴断層撮影装置等	X線撮影システム 磁気共鳴断層撮影装置等

#### ●環境保健研究所の検査機器の整備（健康科学課）【新規】

感染症や食中毒の被害拡大を防止するため、迅速な検査結果が得られるよう遺伝子解析装置を更新します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
検査機器の整備	—	遺伝子解析装置 1台	遺伝子解析装置 1台

## 2-1-3 食の安全と環境衛生の推進

### 施策の展開

- ✚ 近年、食品の製造・加工技術、保存・流通システムの進歩とともに、輸入食品の増大など、食生活を取り巻く環境が著しく変化するなか、食品表示の偽装や輸入食品への薬物混入事件など、食の安全に対する関心は高まっています。
- ✚ 市民の食の安全を確保するため、食品衛生知識の普及・啓発を進めるとともに、関係機関と連携し、飲食店や食品製造施設などへの監視指導や流通食品の検査を行います。
- ✚ また、食中毒などの予防のため、食中毒の発生しやすい時期に、市民に広く周知・啓発を行うとともに、社会福祉施設や飲食店を対象とした講習会を行うほか、被害拡大の未然防止のため、迅速な検査結果が得られるよう、環境保健研究所の遺伝子解析装置を更新します。
- ✚ 市民の健康を守るため、住宅や理美容施設などにおける化学物質の測定や、害虫等の相談などに対し適切に対応を図ります。

### 計画事業

#### ●環境保健研究所の検査機器の整備（健康科学課）【新規】【再掲】

感染症や食中毒の被害拡大を防止するため、迅速な検査結果が得られるよう遺伝子解析装置を更新します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
検査機器の整備	—	遺伝子解析装置 1台	遺伝子解析装置 1台

#### ●地産地消の推進（農政課）【再掲】

市内産農畜産物の供給を促進するため、ホテル・レストラン等との交流会や産地見学会を行います。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
市内産農畜産物の供給促進	生産者出張授業・地産地消キャンペーン	ホテル・レストラン等との交流会・産地見学会 各3回 地産地消推進店の登録 20店	ホテル・レストラン等との交流会・産地見学会 各3回 地産地消推進店の登録 20店

## 2-2 こどもを産み、育てやすい環境を創る

### 2-2-1 子育て支援の充実

#### 施策の展開

- 安心してこどもを産み、育てられる環境を整備するため、妊娠期からこどもが自立するまでの期間にわたり、乳幼児の健康診査をはじめ、仕事と子育てを両立するための多様な保育サービスの提供や、ワークライフバランスの推進など、きめ細かな子育て支援施策を推進します。また、病児・病後児保育の設置を促進するため、小児科開業時に病児・病後児保育室を併設する事業者への助成制度の創設を検討します。
- 将来的な保育需要に対応し、待機児童ゼロを継続できるよう、子ども・子育て支援新制度への移行に伴う保育等の量的拡充の一環として、認定こども園や小規模保育事業の開設、保育所の定員変更などにより、受入枠の拡大を図ります。
- 子どもルームについては、新規ルームの設置や施設改善による受入枠の拡大を行ってきましたが、依然として待機児童が発生しています。今後も地域の状況等を勘案しながら整備方法を検討するとともに、待機児童の解消に向け、受入枠を拡大します。また、子ども・子育て支援新制度に対応し、高学年を受け入れるための環境整備を行います。



プレパパママ講座

#### 計画事業

##### 1 仕事と家庭の両立支援

###### ●子ども・子育て支援新制度給付対象施設の整備（保育支援課）

潜在的な保育需要に対応し、将来にわたり待機児童ゼロを継続するため、「子ども・子育て支援事業計画」に基づき、計画的に保育所等を整備します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
保育所の新設等	142か所	39か所増	181か所
認定こども園	2か所	36か所増	38か所
小規模保育事業の開設	13か所	47か所増	60か所

###### ●多様な保育需要への対応（保育運営課）

保護者の就労形態の多様化等に伴う保育ニーズに合わせ、保育メニューの拡充を行います。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
一時預かりの拡充	34か所	10か所増	44か所
病児・病後児保育の拡充	8か所（定員48人）	2か所増（定員8人増）	10か所（定員56人）
休日保育の拡充	5か所	2か所増	7か所
夜間保育の拡充	0か所	2か所増	2か所

### ●民間保育園の改築（保育支援課）

良好な保育環境の確保のため、民間保育園の施設改築に助成します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
民間保育園の改築	11か所	2か所	13か所

### ●公立保育所の改築・改修（保育支援課）

良好な保育環境の確保のため、改築や大規模改造・改修等により施設を改善します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
改築	1か所	2か所	3か所
大規模改造・改修	11か所	26か所	37か所

### ●保育士等の確保（保育運営課）

増大する保育ニーズに対応するため、保育士等の資格取得を支援します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
認可保育所保育資格取得の支援	—	31人	31人
認可外施設保育資格取得の支援	3人	4人/年	延べ15人
保育教諭確保資格取得の支援	5人	7人/年	延べ26人

### ●SMSによる保育情報の提供（保育運営課、業務改革推進課）【新規】

子育て支援の充実を図るため、保育所の利用者に対して、SMSを活用した緊急連絡や入所希望の情報発信に関する実証実験を行います。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
SMSによる保育所情報等の発信	—	実証実験	実証実験

### ●子どもルームの拡充（健全育成課）【再掲】

仕事と子育ての両立支援と放課後児童の健全育成を図るため、子どもルームの増設及び施設環境の改善を行います。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
増設	—(26年度事業量)	1か所	1か所
移転	4か所(26年度事業量)	7か所	7か所
子ども子育て支援新制度対応（増設）	28か所	24か所	52か所

## 2 子育て家庭への支援

### ■男性の子育て支援（健康支援課、保育支援課）

男性の子育てを支援するため、両親学級の土日開催を拡充とともに、男性の育児休業取得促進奨励金など、様々な取組みを実施します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
土日開催の両親学級	13回/年	2回/年増	15回/年
育児休業取得促進奨励金の助成	5件	15件	20件
プレパパママ講座等の開催	参加人数 208人	870人増	1,078人

### ●乳児家庭全戸訪問の推進（健康支援課）

支援の必要な家庭を早期に把握、支援するため、生後4か月までの乳児のいる全家庭を訪問し、子育て支援に関する情報の提供を行います。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
訪問員の拡充	非常勤助産師・保健師 18人	3人増	非常勤助産師・保健師 21人

## 2-2-2 子どもの健全育成の推進

### 施策の展開

- ⊕ 放課後家庭に保護者のいない児童の健全育成を図るため、遊びや生活の場を提供する子どもルームの整備を進めます。また、子ども・子育て支援新制度に対応し、子どもルームで高学年を受け入れるための環境整備を行います。
- ⊕ 社会的養護が必要なこどもへの対応については、より一般家庭に近い環境と安定した人間関係のもとで、個々の児童の状況に応じた、きめ細やかな支援が可能となるよう、里親制度・ファミリーホームの推進や、施設のケア単位の小規模化を推進します。
- ⊕ さらに、里親の担い手を確保するため、NPO団体等との協働により、里親や社会的養護に関する理解促進を図るなど、里親委託を推進します。

### 計画事業

#### 1 健全育成環境づくりの推進

##### ● 子どもルームの拡充（健全育成課）

仕事と子育ての両立の支援と放課後児童の健全育成を図るため、子どもルームの増設及び施設環境の改善を行います。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
増設	－（26年度事業量）	1か所	1か所
移転	4か所（26年度事業量）	7か所	7か所
子ども子育て支援新制度対応（増設）	28か所	24か所	52か所

##### ● 放課後の学習支援（健全育成課）【新規】

児童の学習意欲の向上やニーズに応じた学習環境等を整備するため、放課後の学校施設を活用し、民間事業者等による学習支援の提供事業を行います。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
学校施設を活用した学習支援の提供	－	4校	4校

##### ■ こどもカフェの運営（こども企画課）

信頼できる大人の見守りのもと、子どもに気軽な居場所を提供するため、こどもカフェを運営します。また、こどもカフェの機能の全市展開を図るため、公民館を活用した運営のあり方について検討を進めます。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
利用者数	2,500人/年	100人/年増	2,800人/年

### ■放課後子ども教室の推進（生涯学習振興課）【再掲】

放課後における児童の安全・安心な居場所を確保するため、地域住民などの参画により、様々な活動の機会を提供します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
参加児童数	参加率 12.8%	6,565人/年	参加率 13.0%

## 2 支援を必要とするこどもと家庭への支援

### ●家庭的養護の推進（健全育成課）

社会的養護を必要とする児童が、より家庭的な生活を送るため、NPO団体等と協働で里親委託を推進するとともに、ファミリーホームの増設や児童養護施設等の小規模化を行います。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
ファミリーホームの増設	3施設（定員18人）	1施設増（定員6人増）	4施設（定員24人）
地域小規模児童養護施設の増設	1施設（定員6人）	3施設増（定員18人増）	4施設（定員24人）
乳児院の養育単位の小規模化	20名×1グループ	5名×4グループ	5名×4グループ
里親委託の推進	里親等委託率 19.8%	NPO等との協働事業の実施	里親等委託率 25%

## 2-3

## ともに支えあう地域福祉社会を創る

## 2-3-1

## 地域福祉の充実

## 施策の展開

- + こどもから高齢者まで、障害の有無に関わらず、誰もが安心した地域生活を送るため、住民同士がお互いのコミュニケーションを深めるとともに、町内自治会や団体などが身近な生活支援をはじめ、地域全体で支えあい、助けあう仕組みづくりが必要です。
- + 「自助・共助・公助」の考え方のもと、地域福祉の課題に出来る限り、住民同士で解決するため、地域福祉計画に基づき支えあいや助けあいにより「地域力」を高める取組みを推進します。
- + また、生活保護に至る前の段階の自立支援策の強化を図るため、生活が困窮している方に対し自立相談支援や学習支援などを行います。
- + さらに、超高齢社会に対応するため、地域の一人暮らし高齢者の安全安心や生活支援など様々な課題に応じた、見守り支援のネットワークづくりを進めます。



生活自立・生活相談センター

## 計画事業

## ●生活困窮者自立支援の促進（保護課）

生活困窮者の自立支援のため、生活自立・仕事相談センターを設置するとともに、生活困窮家庭の子どもへの学習支援を実施します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
生活自立・仕事相談センター運営	モデル2か所	本格実施 3か所	本格実施 3か所

## ●ひきこもり地域支援センターの設置（精神保健福祉課）【新規】

ひきこもり状態にある方や家族に対する支援を行うため、ひきこもり地域支援センターを設置します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
ひきこもり地域支援センターの設置	—	設置・運営	設置・運営

## ■美浜区見守りネットワーク（美浜区地域振興課）

一人暮らし高齢者など地域の高齢者の安心を確保するため、安心カードを配布します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
安心カードの配布	4,300人	500人/年	5,800人

**2-4****高齢者が心豊かに暮らせる長寿社会を創る****2-4-1****介護予防と生きがいづくりの促進****施策の展開**

- ⊕ 高齢者が要支援・要介護状態になることを出来る限り予防し、健康でいきいきと自立した生活が続けられるよう、あんしんケアセンターや各区保健福祉センター等における介護予防に関する教室や相談を開催するなど、介護予防への取組みを進めます。
- ⊕ 高齢者へのケアマネジメント体制を強化するため、あんしんケアセンターにおいて、担当圏域ごとに地域ケア会議を開催し、個別の支援方針や地域課題への対応策の検討などを行います。
- ⊕ 高齢者が自らの知識や経験を活かし、いつまでも社会の一員として生きがいを感じながら社会参加できるよう、高齢者の多様な活動を促進するとともに、ボランティア活動などに支援します。



元気アップ教室

**計画事業****●あんしんケアセンターの充実（高齢福祉課・介護保険課）【再掲】**

地域における高齢者や家族の相談体制の充実を図るために、地域包括ケアシステムにおける中心的役割を担うあんしんケアセンターを増設するとともに、介護予防ケアプランの充実を図ります。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
あんしんケアセンターの増設	24か所	6か所増	30か所
介護予防ケアプランのチェック体制の整備	—	介護支援専門員1人	介護支援専門員1人

**●ケアマネジメントの充実（介護保険課、高齢福祉課）【再掲】**

高齢者へのケアマネジメント体制を強化するため、地域ケア会議の充実を図ります。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
地域ケア会議の充実	実施（困難事例等）	実施（要支援該当者）	実施（要支援該当者）
介護支援専門員への支援	—	スキルアップ研修 4回/年	スキルアップ研修 4回/年

**■介護支援ボランティア制度の充実（介護保険課）**

高齢者の健康増進や介護予防の促進を図るために、高齢者のボランティア活動による地域貢献・社会参加を支援します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
ボランティア登録の促進	1,150人	450人増	1,600人

● シニアリーダーの育成（高齢福祉課）【新規】



介護予防の促進を図るため、介護予防の知識と運動指導のノウハウの習得を図るシニアリーダー講座を開催します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
シニアリーダー講座の開催	—	各区2コース/年	各区2コース/年

● いきいきプラザの改修（高齢施設課）

安全で安心な施設利用を確保するため、老朽化した設備を改修します。

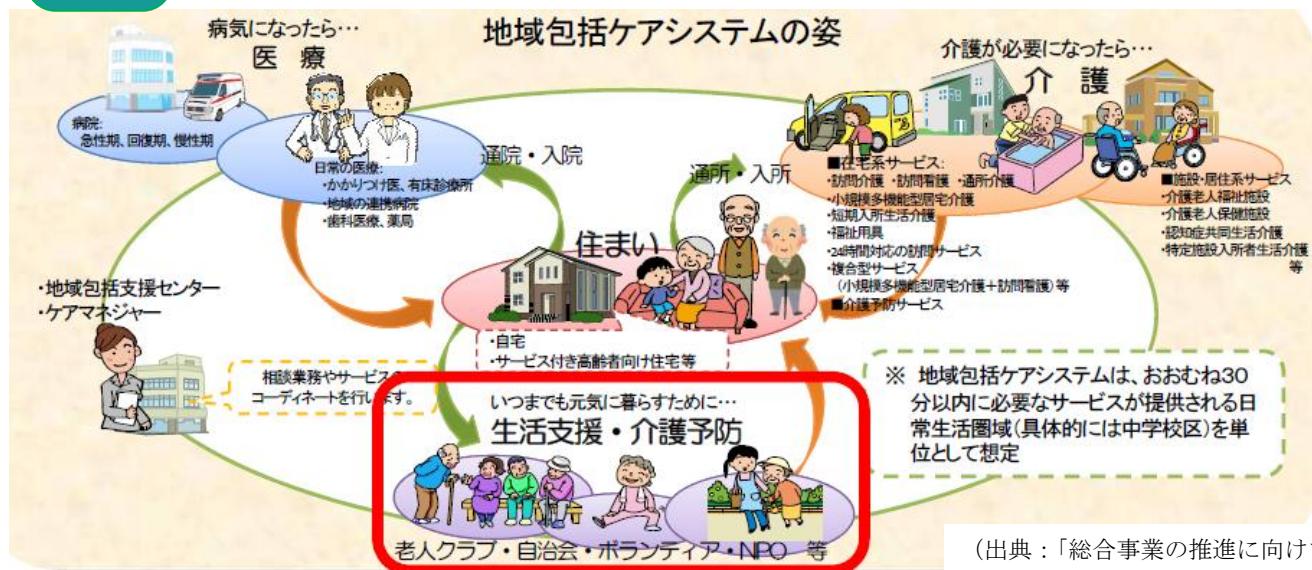
取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
稻毛いきいきプラザ 大規模改修	建物劣化度調査	実施設計、工事	完了
美浜いきいきプラザ 給湯配管改修	—	実施設計、工事	完了

## 2-4-2 地域生活支援の充実（高齢者）

### 施策の展開

- 本格的な超高齢社会を迎える中、本市の高齢者施策を効果的かつ計画的に進めるため、中長期的な展望に基づく高齢者施策の基本指針を策定します。
- 一人暮らしや認知症の高齢者などが可能な限り、住み慣れた地域で自立した生活が送れる仕組みとして、医療、介護、予防、住まい、生活支援サービスを切れ目なく提供する「地域包括ケアシステム」の構築・強化を図る必要があります。
- 地域包括ケアシステムにおいて重要な役割を担う、あんしんケアセンターについては、高齢者の相談体制を充実するため、高齢者人口の増加や分布に応じ、施設を増設するなど機能強化を図ります。
- 高齢者の在宅生活を支援するため、小規模多機能型居宅介護事業所の整備や24時間対応の介護対応が可能なサービスを提供するとともに、家族の介護力などに応じた適切な訪問診療や訪問看護、訪問介護などを受けることが出来るよう、多職種間における相互理解や情報共有の強化を図ります。このほか、在宅医療・介護連携支援のためのセンターの設置の検討を進めます。
- また、認知症の高齢者やその家族などの在宅生活を支援するため、認知症初期集中支援チームを設置するなど、早期発見・支援の仕組みづくりを行うとともに、認知症の方などが安心して過ごせる居場所として「認知症カフェ」の整備を行うほか、認知症に関する正しい理解・協力を深めるための啓発を行います。
- さらに、高齢者の生活支援の充実を図るため、地域密着型サービスや生活支援を行う団体の育成、地域コミュニティの活性化など、多様なサービスの提供に取り組みます。

図表 10 地域包括ケアシステムのイメージ



### 計画事業

#### ■ 中長期的な高齢者施策の指針の策定（高齢福祉課）【新規】

超高齢社会に的確に対応するため、中長期的な視点で、本市の高齢者施策の基本指針を策定します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
指針策定	—	調査、策定	策定

### ■三世代家族同居の支援（高齢福祉課）

高齢者の孤立防止や家族の絆の再生を図るため、三世代家族の同居などに要する費用の一部に助成します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
三世代同居等の助成	63件/年（26年度事業量）	63件/年	63件/年

## 1 地域包括ケアシステムの構築

### ●あんしんケアセンターの充実（高齢福祉課・介護保険課）

地域における高齢者や家族の相談体制の充実を図るため、地域包括ケアシステムにおける中心的役割を担うあんしんケアセンターを増設するとともに、ケアプランチェック体制を充実します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
あんしんケアセンターの増設	24か所	6か所増	30か所
介護予防ケアプランのチェック体制の整備	—	介護支援専門員1人	介護支援専門員1人

### ●ケアマネジメントの充実（介護保険課、高齢福祉課）

高齢者へのケアマネジメント体制を強化するため、地域ケア会議の充実を図るとともに、介護支援専門員のスキルアップのための研修を実施します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
地域ケア会議の充実	実施（困難事例等）	実施（要支援該当者）	実施（要支援該当者）
介護支援専門員への支援	—	スキルアップ研修 4回/年	スキルアップ研修 4回/年

### ●小規模多機能型居宅介護事業所の整備（高齢施設課）

高齢者の在宅生活の支援のため、「通い」や「訪問」、「泊まり」を組み合わせて介護サービスを提供する小規模多機能型居宅介護事業所等の整備に助成します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
小規模多機能型居宅介護事業所等の整備	14か所	10か所	24か所

### ●定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所の整備（高齢施設課）

高齢者の在宅生活の支援のため、24時間対応可能な介護サービスを提供する定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所の整備に助成します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所の整備	6か所	6か所	12か所

### ●認知症支援体制の強化（高齢福祉課）

認知症の早期発見・支援のため、看護師・作業療法士などで構成する認知症初期集中支援チームを設置するとともに、認知症疾患の保健医療水準の向上を図るため、認知症疾患医療センターの機能を強化します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
認知症初期集中支援チームの設置	モデル 1か所	本格実施 2か所	本格実施 2か所
認知症疾患医療センターの窓口体制の充実	相談員 1名配置	1名増	相談員 2名配置

### ●認知症患者への支援（高齢福祉課）【新規】

認知症患者や家族が安心して暮らし続けるため、認知症カフェの整備に助成します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
認知症カフェ整備助成	—	2か所	2か所

### ●在宅介護者支援の充実（高齢福祉課）【新規】

家族介護者の身体的・精神的負担を軽減するため、家族介護者の相談を専門的に行う機関を設置するとともに、介護技術の講習を行います。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
在宅家族介護者支援	—	家族介護者支援センター設置 家族介護者支援研修所設置	家族介護者支援センター設置 家族介護者支援研修所設置

### ●在宅医療・介護連携の推進（健康企画課）【新規】

医療と介護の連携によるサービス提供を実現するため、在宅医療介護連携研修や訪問診療に必要な知識やスキル等の習得を目的とした研修を実施します。また、市民への啓発のため、在宅医療介護シンポジウムを開催します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
在宅医療・介護連携に関する研修	多職種連携会議設置	各区 3メニュー/年	各区 3メニュー/年
訪問診療を行う医師の育成	—	同行実地研修（モデル・本格実施 2回）	同行実地研修（モデル・本格実施 2回）
市民への啓発活動	—	在宅医療介護シンポジウム	在宅医療介護シンポジウム

### ●生活支援サービスの充実（高齢福祉課）【新規】

高齢者の生活支援の基盤強化を図るため、生活支援コーディネーターを配置するとともに、地域における生活支援・介護予防のニーズを把握します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
生活支援コーディネーターの配置	—	各区 2人	各区 2人

### ●高齢者見守りネットワークの構築（高齢福祉課）



誰もが安心して暮らし続けられる体制を構築するため、見守りガイドブックを作成するとともに、見守りネットワーク連絡会を開催します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
見守りネットワークの構築	—	見守りガイドブック作成 見守りネットワーク連絡会 6回/年 全体会 1回/年	見守りガイドブック作成 見守りネットワーク連絡会 6回/年 全体会 1回/年

### ●美浜区認知症キッズサポーター養成（美浜区高齢障害支援課）

認知症への理解と見守り支援のため、小中学生向けに「認知症サポーター養成講座」を開催します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
認知症サポーター養成講座の実施	開催準備	小学校 19校 中学校 11校	小学校 19校 中学校 11校

### 参加と連携

～市民のみなさんの参加やつながりが「まちづくりの底力」です。



#### 1 地域見守り活動への支援

高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、高齢者世帯への定期的な訪問をはじめ、高齢者の見守りにつながる地域活動を新たに実施する団体に対し、活動拠点の設備費用の一部を助成しています。

(対象団体)

市内で活動する5人以上で組織された社会福祉法人、公益法人、特定非営利法人、町内自治会等の住民組織（規約等が整備されている団体）

➡ 高齢福祉課（043-245-5169）

## 2-4-3 介護保険サービスの充実

### 施策の展開

- ⊕ 本市の介護サービスの利用者数は増加の一途を辿っており、施設サービスについては、施設定員の関係から比較的緩やかな伸びとなっていますが、訪問介護や通所介護（デイサービス）など、居宅サービスの利用者数の割合が増加しています。
- ⊕ 介護サービス基盤の充実を図るため、入所希望者の多い特別養護老人ホームについて、地域バランスや介護保険料への影響などを勘案し、既存施設への増床などを含め、着実な整備を促進します。また、今後、ますます増大する介護ニーズに的確に対応し、質の高いサービスを提供するため、介護人材の確保・定着に向けた取組みを進めます。



特別養護老人ホーム

### 計画事業

#### ● 特別養護老人ホームの整備（高齢施設課）

要介護高齢者の増加に対応するため、特別養護老人ホームの整備に助成します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
特別養護老人ホーム整備	定員 3,139人	510人増	3,649人

#### ■ 介護人材の確保（介護保険課）

介護人材の確保・定着のため、介護職員初任者研修の受講費用に助成します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
介護職員初任者研修の助成	250人	450人	700人

## 2-5 障害のある人が自立して暮らせる共生社会を創る

### 2-5-1 療育体制と相談支援の充実

#### 施策の展開

- ✚ 療育センターにおける相談件数が急増しており、相談・検査・判定等を行う専門職員の不足や施設の狭隘化などの課題が生じています。
- ✚ 療育体制と相談支援の充実を図るために、学校跡施設を活用し、療育センターの相談スペース等を拡大するとともに、障害児通所支援事業所を整備します。
- ✚ また、発達障害の早期発見・早期療育を図るために、1歳6か月児健診等における職員配置を拡充するとともに、健診後の事後支援を行います。
- ✚ さらに、障害の多様化・重複化に対応するため、障害者相談センターやこころの健康センター、発達障害者支援センターなどにおける専門性の高い相談体制の充実を図るとともに、地域自立支援協議会を中心とした関係機関のネットワークの構築等を推進します。

#### 計画事業

##### ●療育支援体制の整備（障害企画課）

障害児への療育支援体制の充実を図るために、旧高浜第二小学校跡施設に療育センターの一部を移転するとともに、障害児通所支援事業所を整備します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
療育センターの一部移転	実施設計	改修工事	供用開始
障害児通所支援事業所の整備	実施設計	改修工事	供用開始

##### ●発達障害の早期発見・早期療育の推進（健康支援課）

発達障害の早期発見・早期療育のため、1歳6か月児健康診査における保育士配置を拡充するとともに、健診後の事後支援を実施します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
1歳6か月児健診への保育士配置	1人	1人増	2人
1歳6か月児健診事後支援	24回/年	12回/年増	36回/年

##### ●発達障害に関する巡回相談員の配置（障害者自立支援課）【新規】

発達障害の早期発見・早期療育のため、市内幼稚園や保育所を巡回する相談員を配置します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
巡回相談員の配置	—	2名	2名

## 2-5-2 地域生活支援の充実（障害のある人）

### 施策の展開

- ✚ 障害のある人もない人も、ともに地域社会で安心して暮らすことのできる社会を目指すため、障害のある人の社会参加を促進するとともに、自立への支援や地域生活における支援の充実を図ります。
- ✚ また、障害のある人が、福祉施設等から地域での自立した生活に移行することを促進するため、障害者グループホームや地域活動支援センターなどの設置・運営に対する支援を行い、障害のある人の生活や活動の場の確保を進めます。

### 計画事業

#### ●障害者グループホームの整備（障害企画課）

障害者の地域移行を促進するため、グループホームの開設及び運営に助成します。また、施設の安全利用のため、スプリンクラー等の整備に助成します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
グループホーム整備助成	新築2件、改修1件	新規6件、改修3件	新規6件、改修3件
開設準備・家賃助成	4件・27人分	12件・45人分	12件・45人分
スプリンクラー整備助成	6件	36件	36件
自動火災報知機整備助成	—	29件	29件

#### ●障害福祉サービス事業所の整備（障害企画課）

障害者の自立と社会参加を促進するため、旧真砂第一小学校跡施設に障害福祉サービス事業所を整備します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
障害者福祉サービス事業所の整備	改修工事	改修工事	供用開始

## 2-5-3 就労支援と社会参加の促進

### 施策の展開

- 福祉や教育、労働など関係機関の連携を強化し、障害のある人やその家族などからの就労相談や、企業からの障害者雇用に関する相談、障害者と企業の相互理解を深めるための実習などの充実を図ることにより、障害のある人の一般就労を促進し、職場定着への支援を進めます。
- さらに、障害の種別や特性により、企業での就労が困難な人に対する福祉的就労の支援として、作業所等の活動の場を確保するとともに、授産製品の販路の拡大、作業所等の経営指導や共同受注などへの支援を行い、障害のある人の工賃の向上を図ります。
- 障害の有無にかかわらず相互に個性を尊重し合うあたたかな共生社会を実現するため、障害及び障害のある人への正しい理解を普及するとともに、障害のある人とない人の交流の機会を充実するなど、より多くの障害のある人の社会参加を促進します。

### 計画事業

#### ■ 障害者職場実習の促進（障害者自立支援課）

障害者と企業の相互理解を深め、障害者の一般就労を促進するため、企業での職場実習を実施します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
障害者職場実習利用者数	12人（26年度事業量）	36人	36人



## 方向性3

### 豊かな心が育ち、 新たな価値が生まれるまちへ

## 施策体系

3-1 未来を担う人材を育成する

3-1-1 学校教育の振興

3-1-2 地域の教育力の向上

3-1-3 こどもの参画の推進

3-2 生涯を通じた学びとスポーツ活動を支える

3-2-1 生涯学習の推進

3-2-2 スポーツ・レクリエーション活動の推進

3-3 文化を守り、はぐくむ

3-3-1 文化・芸術の振興

3-3-2 文化的財産の保全と活用

3-4 多彩な交流・連携により新たな価値を創る

3-4-1 国際化の推進

3-4-2 大学・企業等との連携の推進

3-5 市民の力をまちづくりの力へ

3-5-1 市民参加・協働の推進

3-5-2 男女共同参画の推進

## 3-1 未来を担う人材を育成する

### 3-1-1 学校教育の振興

#### 施策の展開

- ⊕ 本市の目指すべき子どもの姿「夢と思いやりの心を持ち、チャレンジする子ども」や教育目標である「自ら考え、自ら学び、自ら行動できる力をはぐくむ」の達成に向けて、教育施策の基本指針となる第2次学校教育推進計画を策定します。
- ⊕ 確かな学力の育成に向けた「わかる授業」を推進するため、学力向上サポーターの配置の拡充をするとともに、教科の特性に応じ、学習集団の少人数化などきめ細かな指導を行います。
- ⊕ 将来、様々な国際舞台で活躍できる人材を育成するため、市立高等学校の特色ある教育活動の充実を目指します。
- ⊕ 教育環境の一層の充実を図るため、学校トイレの環境整備や音楽室等へのエアコン設置を進めるとともに、教育用の情報機器を導入し、子どもたち一人ひとりの能力や特性に応じた学習の充実を図ります。また、学校施設の長寿命化を図るため、計画的な保全改修を行うとともに、施設の安全確保のため、吊天井等の耐震対策を行うほか、より豊かな学校給食を提供するため、老朽化した給食センターを再整備します。
- ⊕ 公平な教育環境を整え、教育の質の向上を図るため、学校の統合などによる適正配置を進めます。
- ⊕ 学校・家庭・地域が一体となって子どもたちを育てるため、地域の教育力を活用した体制を整備します。



タブレット PC を活用した授業風景



図書館指導員による読み聞かせ

#### 計画事業

##### ● 第2次学校教育推進計画の策定（企画課）

本市の学校教育施策の基本指針となる、次期学校教育推進計画を策定します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
学校教育推進計画の策定	市民意見聴取	策定	策定

## ■総合教育会議の設置・運営（政策企画課）

本市の教育施策などについて協議・調整するため、総合教育会議を設置・運営します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
総合教育会議の設置	検討	設置	設置

## 1 確かな学力育成に向けた「わかる授業」の推進

### ●学力向上サポーターの拡充（指導課）

児童・生徒の基礎学力の定着を図るため、学力向上サポーターの配置を拡充します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
学力向上サポーターの拡充	25人	10人	35人

## 2 夢や希望をはぐくむ教育の推進

### ■市立高校のグローバルハイスクール化の推進（学事課）【新規】

グローバルな人材を育成するため、市立高校のスーパーグローバルハイスクール指定を目指します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
スーパーグローバルハイスクールの指定	検討	推進検討委員会設置 スーパーグローバルハイスクール指定	スーパーグローバルハイスクール指定

### ●学校図書館活性化の推進（指導課）

子どもの読書環境の充実を図るため、学校図書室の蔵書数を増やします。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
学校図書館蔵書の拡大	蔵書率100%未満の学校（小学校66校、中学校42校）	学校図書購入	学校図書購入

## 3 学校施設等の整備・充実

### ●情報教育機器の整備・充実（教育センター）

ICTを活用した授業や家庭学習等を通じて、教育の質の向上を図るため、教育用情報機器の充実を図ります。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
タブレットPCの整備	40台	195台	235台

### ●学校施設の環境整備（学校施設課）

学校施設の長寿命化を図るため、計画的な保全改修を行うとともに、施設環境・機能を改善するための整備を行います。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
計画保全（屋上防水、外壁、設備等改修）	小学校 17 校 中学校 3 校 特別支援学校 1 校 (26 年度事業量)	小学校 50 校 中学校 13 校	小学校 50 校 中学校 13 校
トイレ改造	—	小学校 20 校 中学校 6 校 特別支援学校 1 校	小学校 20 校 中学校 6 校 特別支援学校 1 校
音楽室等エアコン整備	—	小学校 30 校 中学校 54 校 特別支援学校 3 校	小学校 30 校 中学校 54 校 特別支援学校 3 校

### ●学校施設の安全確保（学校施設課）

児童生徒の安全確保や避難所としての機能強化を図るため、屋内運動場や校舎の天井落下防止対策などを行います。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
非構造部材等耐震対策（校舎）	—	小学校 13 校 中学校 4 校 特別支援学校 1 校	小学校 13 校 中学校 4 校 特別支援学校 1 校
非構造部材等耐震対策（屋内運動場）	小学校 11 校 中学校 12 校	小学校 18 校 中学校 11 校 高等学校 2 校 特別支援学校 1 校	小学校 29 校 中学校 23 校 高等学校 2 校 特別支援学校 1 校

### ■こてはし学校給食センターの整備（保健体育課）

安全安心で魅力ある学校給食を提供するため、老朽化した中学校給食センターの再整備を進めます。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
こてはし学校給食センターの再整備	事業者選定	基本・実施設計工事	供用開始

### ●新設特別支援学級等設備の充実（養護教育センター）

特別支援学級等の児童生徒の多様なニーズに対応した教育を充実するため、備品を整備します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
備品整備	小学校 78 校 中学校 33 校	小学校 15 校 中学校 3 校	小学校 93 校 中学校 36 校
貸出用備品整備	階段昇降機 6 台 FM補聴器 4 台	階段昇降機 3 台 FM補聴器 6 台 移動用軽量折り畳み式スロープ 6 台	階段昇降機 9 台 FM補聴器 10 台 移動用軽量折り畳み式スロープ 6 台

### ●学校防犯対策の推進（学事課）

子どもの安全を確保するため、小・中学校等に防犯カメラシステムを設置します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
学校防犯カメラシステムの設置	61 校	9 校	70 校

## 4 教育環境の改善と特色ある学校づくり

### ●学校適正配置の推進（小・中学校の統合等）（企画課）

児童生徒のよりよい教育環境を整備し、教育の質を充実させるため、新たな学校適正配置実施方針を策定します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
学校適正配置実施方針の見直し	—	学校適正配置検討委員会の開催、方針策定	方針策定

### ●学校適正配置に伴う施設改修（学校施設課）

児童生徒のよりよい教育環境を整備するため、学校適正配置により統合校となる小・中学校を改修します。また、跡施設については、利用方針に基づき改修します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
統合に伴う施設改修	実施設計 11 校 工事 8 校	4 校 6 校	15 校 14 校
跡施設利用に伴う解体・整備	1 校	4 校	5 校

## 5 学びの連続性を重視した教育の推進

### ■小中連携教育の推進（教育委員会事務局企画課）【新規】

小・中学校の円滑な接続や学力向上を図るため、小中一貫教育に取り組みます。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
小中一貫教育のモデル事業	調査研究	研究校の指定 小学校1校 中学校1校	研究校の指定 小学校1校 中学校1校

## 6 多様な教育的支援の充実

### ●特別支援教育指導員・介助員配置の拡充（養護教育センター）

障害のある児童生徒に対し幅広い支援を行うため、特別支援教育指導員及び介助員を配置します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
特別支援教育指導員配置	35人	5人	40人
介助員配置	—	15人	15人

### ●スクールソーシャルワーカーの拡充（指導課）

問題を抱えた児童・生徒を支援するため、スクールソーシャルワーカーの配置を拡充します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
スクールソーシャルワーカーの拡充	2人	2人	4人

## 7 学校・家庭・地域・行政の連携による取組み

### ●学校支援地域本部の推進（学事課）



学校教育の充実や地域コミュニティの活性化を図るため、学校支援地域本部を設置します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
学校支援地域本部の設置	2地区	3地区	5地区

### ■学校教育に関する広報・広聴の充実（教育委員会総務課）

広く市民に本市の学校教育の現状を知ってもらうため、授業の参観や市民と教育関係者との意見交換等を行う教育イベントを開催します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
学校教育に関するイベントの実施	モデル実施 1回	本格実施 1回/年	本格実施 1回/年

## 3-1-2 地域の教育力の向上

### 施策の展開

- ⊕ 子どもを中心に据えて学校と地域の連携を進めるためには、学校と地域が目標や課題を共有し、地域と一体となって子どもを育む開かれた学校づくりが求められています。学校、家庭、地域の相互理解と信頼関係のもと、地域の教育力を生かした学校運営に努め、学校支援ボランティアや放課後子ども教室など、地域連携の取組みを通して開かれた学校づくりを推進します。
- ⊕ 地域住民の地域活動の活性化及び生涯学習の振興を図るため、学校施設の開放を進めます。また、地域全体で家庭教育を支援する仕組みづくりを進めるため、公民館などにおいて、家庭教育に関する学習機会の提供や相談対応、親同士の仲間づくりなどを支援する取組みを進めます。
- ⊕ 地域の子どもを地域で守り育むためのセーフティ・ウォッチャーをはじめ、人材等の活用に向けた組織や内容を検討し、地域連携の一層の充実に取り組みます。



学校セーフティウォッチャー

### 計画事業

#### ■学校施設開放の推進（企画課）

地域活動や生涯学習などの場を提供するため、学校施設の開放を進めます。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
余裕教室等の開放	開放指針策定	運用	運用

#### ■放課後子ども教室の推進（生涯学習振興課）



放課後における児童の安全・安心な居場所を確保するため、地域住民などの参画により、様々な活動の機会を提供します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
参加児童数	参加率 12.8%	6,565人/年	参加率 13.0%

#### ■家庭教育支援の推進（生涯学習振興課）



家庭教育の支援や、子育ての不安や悩みを解消するため、公民館などで相談事業や学習講座を実施します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
家庭教育支援チームの増設	2チーム	2チーム増	4チーム
子育てサポーターの配置	33人	3人/年 増	42人
子育てママのおしゃべりタイムの拡充	公民館21館	7館増	28館

●学校支援地域本部の推進（学事課）【再掲】



学校教育の充実や地域コミュニティの活性化を図るため、学校支援地域本部を設置します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
学校支援地域本部の設置	2 地区	3 地区	5 地区

**参加と連携**

～市民のみなさんの参加やつながりが「まちづくりの底力」です。



**1 放課後子ども教室の推進**

放課後や週末の小学生の居場所として、全ての市立小学校で週1回程度、放課後子ども教室を実施しています。現在、町内自治会や老人会、P T A、保護者会や公民館のクラブ・サークル、地域の商店や企業、地元の大学生のみなさんの協力を得て、子どもの学習やスポーツ、文化芸術活動、地域との交流活動などを行っています。

➡生涯学習振興課（043-245-5957）



**2 家庭教育支援の推進**

地域におけるつながりの希薄化などを背景として家庭教育が困難になっているとの指摘がなされるなど、社会全体による家庭教育の支援の必要性が高まっています。こうした状況を踏まえ、現在、稻毛区の小中台地区と美浜区真砂地区で、地域の子育てや民生・児童委員等で構成する家庭教育支援チームを設置し、家庭教育に関する講座の開催や相談対応、地域の諸団体との連携・協働などの取組を行っています。

➡生涯学習振興課（043-245-5957）

## 3-1-3 こどもの参画の推進

### 施策の展開

- ⊕ 行政や保護者の視点からだけではなく、真に子どもが望み、子どもがみずから成長できるまちづくりを進めるため、「こどものまちCBT」などの取組みを引き続き推進するとともに、こどもの参画を担う子ども、若者の育成を図りながら、子ども、若者がまちに住む主体者の一人としての意識を高め、自分たちの住むまちについて考え、積極的に意見を発し、それを市政に反映する仕組みづくりを進めます。
- ⊕ また、こども・若者選挙をはじめ、子ども、若者の意見を市政やまちづくりに取り入れるこどもの参画の取組みを広く内外に発信することにより、子どもたちが本市で育ちたいと思えるまちのブランド確立に取り組みます。
- ⊕ さらに、子どもの自治意識を育てるため、小学校における模擬選挙や、学校の生徒会活動の活性化に向けた取組みを進めます。



こどもの参画の取組み

### 計画事業

#### ● こどもの参画の推進（こども企画課）

子どもの社会の一員としての自覚と自立を促し、こどもの参画によるまちづくりを実現するため、各種参画の取組みを実施するとともに、本市の取組みを広く発信します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
こども・若者日本サミットの開催	—	開催計画作成、サミット開催	サミット開催
こどものまちCBTの開催	3区	3区増	全区開催
こども・若者選挙の実施	2校	6校	8校

#### ● 美浜区高校生連携会議の推進（美浜区役所地域振興課） 【新規】

高校生による地域活動を促進するため、美浜区の高校生による連携会議を開催します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
高校生連携会議の開催	—	13回	13回
高校生アンケート調査	—	実施	実施

#### ■ 小学校の模擬選挙の推進（選挙管理委員会事務局）

将来を担う子どもたちに、社会の一員としての自覚を促し、選挙の意義の理解を促進するため、小学校の模擬選挙を推進します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
小学校の模擬選挙	16校	50校	66校

■ 稲毛区模擬投票イベントの実施（稲毛区役所地域振興課）  【再掲】

若者の社会参加を促進するため、稲毛区内の高校・大学の生徒・学生から区政の施策提案を募集するとともに、提案に係る模擬投票を行います。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
応募施策提案数	16件	7件/年	37件
模擬投票所設置	18校	10校/年	48校

参加と連携 ~市民のみなさんの参加やつながりが「まちづくりの底力」です。 

1 こども・若者の力（ちから）ワークショップ

小学校高学年から高校生を対象として、子どもを取り巻く様々な課題等について話し合い、本市や社会に対する考えを深め、その自立に寄与することを目的として、ワークショップを開催しています。

☎ こども企画課 (043-245-5673)



## 3-2 生涯を通じた学びとスポーツ活動を支える

### 3-2-1 生涯学習の推進

#### 施策の展開

- 市民が生涯にわたって、いつでもどこでも学ぶことができる環境づくりを進めるため、「生涯学習推進計画」を策定します。  
また、市民の生涯学習環境を改善するため、老朽化した公民館の改築・改修を行います。
- 市民の生活様式の変化やICTの進展等により、読書環境に関する市民ニーズが多様化しています。市民により良い読書環境を提供するため、花見川図書館分館やJR千葉駅周辺などへのサービスポイントの設置など、図書館サービスの拠点整備を進めるとともに、地区図書館の開館時間の拡大などを図ります。また、老朽化した図書館の施設や設備を改修します。
- 生涯にわたる読書活動の継続を推進するためには、幼少期から本に親しみ、読書習慣を形成していくことが重要です。親子のふれあいを通じた家庭での読書を推進するため、保育所や小学校を通じ、絵本や読書ノートを提供します。
- 科学技術に対する意欲がさらに高め、理数系の優れた人材を育成するため、科学に高い関心を持つ中高生を対象とした「未来の科学者育成プログラム」を充実します。



親子の読書習慣の形成

#### 計画事業

##### ■ 総合教育会議の設置・運営（政策企画課）【再掲】

本市の教育施策などについて協議・調整するため、総合教育会議を設置・運営します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
総合教育会議の設置	検討	設置	設置

#### 1 生涯学習環境等の推進

##### ■ 第5次生涯学習推進計画の策定（生涯学習振興課）

時代に即した生涯学習活動を促進するため、次期生涯学習推進計画を策定します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
第5次生涯学習推進計画の策定	市民意識調査の実施	策定	策定

### ●公民館の改築（生涯学習振興課）

市民の生涯学習環境を改善するため、老朽化した公民館の改築を行います。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
犠橋公民館・犠橋市民センターの改築	基本設計	工事	供用開始

### ●公民館の改修（生涯学習振興課）

市民の生涯学習環境を改善するため、老朽化した公民館の改修を行います。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
公民館改修	冷暖房 3館 屋上防水・屋根 3館 トイレ 1館	冷暖房 1館 屋上防水・屋根 6館	冷暖房 1館 屋上防水・屋根 6館

### ●真砂コミュニティセンターの再整備（市民総務課）【再掲】

コミュニティ活動の場としての利用環境を改善するため、真砂コミュニティセンターを旧真砂第一小学校跡施設に整備します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
再整備	工事	工事	供用開始

### ●蘇我コミュニティセンターの再整備（市民総務課、経済企画課）【再掲】

コミュニティ活動の場としての利用環境を改善するため、蘇我コミュニティセンターを再整備します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
再整備	実施設計	工事	供用開始

### ●コミュニティセンターの改修（市民総務課）【再掲】

コミュニティセンターの安全性の向上や機能回復を図るため、施設を改修します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
施設改修	外壁・屋上防水改修 工事 2館 空調・熱源改修 実施設計 1館 工事 1館	劣化度調査 2館 空調・熱源改修 — 工事 1館	劣化度調査 2館 空調・熱源改修 — 工事 1館

## 2 読書環境の充実

### ●花見川図書館分館の整備（中央図書館管理課）

図書館サービスの向上とより良い読書環境を市民に提供するため、花見川区役所の一部スペースを活用した図書館分館を整備します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
図書館分館の整備	—	実施設計、工事	供用開始

### ●図書館サービスポイントの設置（中央図書館管理課）

図書館利用者の利便性を高めるため、千葉駅周辺に図書の返却や予約資料の貸出しができるサービス拠点を設置します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
図書館サービスポイントの設置	設置場所の検討	1か所	1か所

### ●図書館の開館日・開館時間の拡大（中央図書館管理課）

よりよい読書環境を提供するため、地区図書館の時間延長や地区図書館分館の祝日開館を行います。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
地区図書館の開館時間の拡大	—	1館	1館
分館における祝日開館の実施	—	3館	3館

### ■子ども読書活動推進計画（第3次）の策定（中央図書館管理課）

子どもの自主的な読書活動を促進するため、「子ども読書活動推進計画（第3次）」を策定します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
子ども読書活動推進計画（第3次）の策定	—	策定	策定

### ■「ファミリー読書の日」の制定（中央図書館管理課）

家族で読書に親しむ機会を創出するため、「ファミリー読書の日」を制定します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
ファミリー読書の日制定	—	制定	制定

### ●読書ノートの配布（中央図書館管理課）

親子のふれあいや家庭での読書の推進を図るため、「まほうの読書ノート」を配布します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
「まほうの読書ノート」の配布	小学1~3年生に配布	就学前、小学4~6年生に配布	就学前、小学1~6年生に配布

### ●親子ふれあい本の提供（中央図書館管理課）【新規】

読み聞かせを通じた親子のふれあいを推進するため、市内保育所（園）及び幼稚園に絵本を貸し出します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
保育所等への絵本等の貸出し	—	全保育所（園）及び幼稚園に巡回配布	全保育所（園）及び幼稚園に巡回配布

### ●中央図書館・生涯学習センターの改修（生涯学習振興課）

利用者の安全と利便性を確保するため、老朽化した中央図書館・生涯学習センターを改修します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
設備改修	空調設備修繕、直流電源装置蓄電池更新	冷温水発生機電気部品等交換、セキュリティ用中央監視装置更新	冷温水発生機電気部品等交換、セキュリティ用中央監視装置更新

### ●地区図書館の改修（中央図書館管理課）

快適な読書環境を提供するため、稻毛図書館の屋上防水改修を行います。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
稻毛図書館屋上防水改修	実施設計	工事	完了

### ●南部青少年センター・みやこ図書館白旗分館の改修（生涯学習振興課）

利用者の安全で快適な利用環境を確保するため、トイレのバリアフリー化を行います。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
1階女子トイレバリアフリー化	—	実施設計、工事	完了

### ●図書館システムの再構築（中央図書館管理課）

社会の変化や利用者ニーズに合わせた、新しい図書館サービスの提供を図るため、図書館システムを再構築します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
図書館システムの再構築	現行システム稼働	新図書館システム構築	新システムの運用

### 3 科学・技術に気軽に親しめる環境づくり

#### ■科学教育の推進（生涯学習振興課）

科学・技術を身近に感じることができる環境を創出するため、未来の科学者育成プログラムを充実します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
未来の科学者育成プログラム	市立千葉高校スーパーサイエンスハイスクールコース設置	探究コース設置	探究コース開催

#### ●動物公園の教育・普及・研究活動の充実（動物公園）

動物公園の教育普及活動を推進するため、教育支援プログラムの充実などを図ります。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
教育・普及拠点の整備	動物科学館絵本購入	展示内容の見直し	展示内容の見直し
教育・普及プログラムの充実	教育向け講座の開催	教育普及用教材の作成	教育普及用教材の作成
調査・研究	世界動物園水族館協会等への加盟	動物園技術者研究会の開催	動物園技術者研究会の開催

#### 参加と連携 ~市民のみなさんの参加やつながりが「まちづくりの底力」です。

##### 1 地域活動の指導者養成

生涯学習センターや公民館では、地域課題の解決に向けたボランティア活動やサークル活動などを行っている市民のみなさんが、活動に役立つ実践的な内容を学ぶ機会を提供しています。

☎ 生涯学習振興課 (043-245-5954)

##### 2 科学フェスタ

市民が日常生活の中で科学・技術を感じることができる総合的な科学の祭典として、企業や大学、N P O、個人のグループ等が参加する「科学フェスタ」を開催しています。参加団体がブース出展などを行うメインのイベントに加え、公民館や参加団体が、市内各所で科学・技術関連の講座やイベントを開催しています。 ☎ 生涯学習振興課 (043-245-5933)

## 3-2-2 スポーツ・レクリエーション活動の推進

### 施策の展開

- スポーツ・レクリエーションの振興を通じ、競技力向上や健康づくり、地域活性化など、活気あるまちづくりを進めるため、次期スポーツ推進計画を策定します。
- 本市には千葉ロッテマリーンズやジェフユナイテッド千葉の2つプロスポーツチームがあり、ホームゲームには全国から多くの観客が訪れるほか、様々な全国規模のスポーツイベントが開催されており、今後もスポーツを核とした市民活力の向上や、一体感の醸成につながる取組みを進めます。
- 本市はスポーツ大会等を招致するうえで、成田空港と羽田空港の中間に位置するなど立地上の優位性や、幕張メッセや千葉ポートアリーナなどの会場や宿泊施設も充実しています。スポーツ振興や地域活性化を図るため、スポーツ大会やイベントの誘致及び開催支援を行います。
- スポーツを通じた、障害のある人の社会参加を促進するため、障害者スポーツを支える人材育成を行うとともに、車椅子スポーツの大会支援や施設整備、積極的広報を進め、市民の観戦機会の創出を図ります。
- 市民生活にスポーツ文化が根付くよう、本市にゆかりのあるトップスポーツチームやアスリートによる社会貢献活動について、チームと市民ニーズのコーディネイトを行います。
- 千葉公園におけるスポーツ施設の再整備について、競輪事業の廃止に伴う用地の取扱いを含め、検討を進めます。

### 計画事業

#### 1 スポーツ・レクリエーション環境の推進

##### ■ 次期スポーツ推進計画の策定（スポーツ振興課）

スポーツ・レクリエーションの振興を通じ、活気に満ちたまちづくりを目指すため、次期スポーツ推進計画を策定します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
次期スポーツ推進計画の策定	調査	策定	策定

##### ■ スポーツ大会・イベントの誘致の推進（スポーツ振興課）

スポーツ振興や地域活性化を図るため、スポーツ大会やイベントの誘致及び開催支援を行います。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
スポーツ大会の誘致及び開催支援	—	2件	2件

## ■ トップスポーツとの連携の推進（スポーツ振興課）



市内のトップスポーツチームやトップアスリートによる社会貢献活動を推進するため、チーム等と市民ニーズのコーディネイトを推進します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
地域貢献活動のコーディネイト	2件(26年度事業量)	2件/年	6件
連携協定の締結	1チーム	1チーム/年	4チーム

## 2 スポーツ・レクリエーション施設の充実

### ● 磯辺スポーツ広場の整備（スポーツ振興課）

身近なスポーツ・レクリエーション活動の場を提供するため、磯辺第二中学校跡地にスポーツ施設を整備します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
磯辺スポーツ広場の整備	基本計画策定	基本・実施設計、工事	供用開始

### ● 高洲市民プールの再整備（スポーツ振興課）

市民に安全でより良いスポーツ環境を提供するため、高洲市民プールの再整備を行います。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
高洲市民プール・体育館の再整備	実施設計	工事	供用開始

### ● QVCマリンフィールドの充実（施設の充実）（公園管理課）【再掲】

QVCマリンフィールドの来場者の安全性や快適性の向上のため、施設の改修を行います。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
施設更新、修繕	中央監視装置・音響システムの改修、観客用トイレ改修	身障者席増設 設計、スコアボード改修、バックネット交換、夜間フィールド照明灯改修 設計 中継モニター交換	身障者席増設 設計、スコアボード改修、バックネット交換、夜間フィールド照明灯改修 設計 中継モニター交換

### ● フクダ電子アリーナの充実（公園施設の充実）（公園管理課）【再掲】

フクダ電子アリーナの競技環境を改善するため、フィールドの芝生の張替えの準備を行います。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
施設改修	—	フィールド芝の圃場づくり	フィールド芝の圃場づくり

### 3 障害者スポーツの振興

#### ●障害者スポーツの推進（スポーツ振興課）



障害者スポーツを推進するため、障害者スポーツ指導員の資格取得の支援などを行います。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
資格取得支援	100人	100人	200人
障害者アスリートによる出前授業	—	2回/年	2回/年
車椅子スポーツ予選会の開催支援	—	2大会	2大会

## 3-3 文化を守り、はぐくむ

### 3-3-1 文化・芸術の振興

#### 施策の展開

- 文化・芸術は人々の感受性を豊かにし、ゆとりと潤いを実感できる生活を実現するうえで、大きな役割を担っています。地域の特性を生かした特徴ある文化・芸術活動を促進するため、新たな文化芸術振興計画を策定します。
- また、将来の文化・芸術を担う子どもや若者を中心に、誰でも気軽に映像メディアに親しみ、自在に使いこなすことができるような環境を整え、映像芸術の促進を通じた市民主体の新しい千葉文化の創造に向け取り組みます
- 市美術館における企画展やベイサイドジャズ千葉、芸術文化新人賞などの各種文化施策を推進するとともに、様々な媒体を活用した情報発信などを通じ、市民が文化・芸術に身近に触れられる機会の充実を図ります。
- 地域住民の文化・芸術の発表の場や、優れた舞台芸術を鑑賞することのできる文化施設について、計画的な改修を進めます。



#### 計画事業

##### ● 次期文化芸術振興計画の策定（文化振興課）

本市ならではの特色ある文化施策を推進するため、新たな文化芸術振興計画を策定します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
次期文化芸術振興計画の策定	市民意識調査	策定	策定

##### ● 文化施設の再構築（文化振興課）【新規】

市民の文化芸術活動を促進するため、文化施設の再構築に向けた基礎調査等を行います。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
文化施設の再構築	—	基礎調査	基礎調査・方針決定

##### ● メディア芸術振興の推進（文化振興課）

個性豊かな新しい千葉文化の創造を図るため、映像メディアを中心としたメディア芸術のイベントやワークショップを開催します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
映像イベント等	1回	8回	9回

**●文化施設の保全（文化振興課）**

施設利用者の安全確保と利便性の向上を図るため、老朽化した文化施設を改修します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
市民会館	—	壁面タイル落下防止改修	壁面タイル落下防止改修

## 3-3-2 文化的財産の保全と活用

### 施策の展開

- 本市には、加曾利貝塚や市民ギャラリー・いなげ旧神谷伝兵衛稻毛別荘など多くの文化財を有するとともに、千葉氏を初め、多くの歴史の舞台となった土地ですが、高度経済成長期に転入してきた市民が多いなど、地域の歴史や伝統に対する認識や理解が育ちにくい環境にあります。
- 本市の文化財について、適切な保護・保存方法により後世に引き継ぐとともに、地域住民や関係機関等と連携し、観光的な視点を取り入れた活用や、ふるさと意識の醸成を図ります。
- 加曾利貝塚については、国特別史跡の指定を目指し、関係機関との協議・調整を行うとともに、史跡内の環境整備などを進めます。



加曾利貝塚

### 計画事業

#### ●加曾利貝塚の特別史跡指定（生涯学習振興課）

加曾利貝塚の国特別史跡指定に向けた取組みを推進します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
出土資料の総括報告書の刊行	出土資料の再整理	出土資料の再整理 総括報告書の刊行	総括報告書の刊行
史跡保存管理計画の策定	—	策定	策定
広報活動	キャンペーン活動	キャンペーン活動 イベント・企画展	キャンペーン活動 イベント・企画展

#### ●歴史文化基本構想の策定（生涯学習振興課）

市の歴史文化を活かした魅力あるまちづくりを推進するため、歴史文化基本構想策定を進めます。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
歴史文化基本構想の策定	検討	骨子作成	骨子作成

#### ●文化財の保存・活用の推進（生涯学習振興課）

歴史的建造物の保存・活用を推進するため、建造物の改修を行います。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
ゆかりの家・いなげの改修	—	外壁等腐食箇所修繕、電気設備工事	外壁等腐食箇所修繕、電気設備工事
旧検見川無線送信所の修繕	—	屋上及び外壁補修工事	屋上及び外壁補修工事

●市民ギャラリー・いなげ旧神谷伝兵衛稻毛別荘の改修（文化振興課）

歴史的建造物の保存、活用を推進するため、保存活用計画に基づき施設を改修します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
施設の改修	保存活用計画の策定	耐震改修、屋根防水改修	耐震改修、屋根防水改修

## 3-4 多彩な交流・連携により新たな価値を創る

### 3-4-1 國際化の推進

#### 施策の展開

- ✚ 経済や文化など、多様な分野でグローバル化が進展する中、本市がさらに活性化するためには都市の国際性の向上を図り、国内のみならず海外からもビジネスや生活の場として選ばれることが重要です。本市在住の外国人市民との共生や海外都市との交流など、国際化施策の指針となる、次期国際化推進プランを策定します。
- ✚ 姉妹・友好都市との交流について、これまで培ってきた信頼関係を基礎として、双方にメリットをもたらす交流を推進します。また、海外諸都市との交流について、表敬訪問等の機会を活用し、本市の魅力・強みなどを積極的にPRするとともに、関係機関と連携を図り、双方が活性化のパートナーとなる発展的交流に取組みます。
- ✚ さらに、2020年東京オリンピック・パラリンピックを契機として、国際交流活動に参加する市民のすそ野が広がるよう、未来を担う青少年に海外への興味を喚起し、より国際的な視点を育成するとともに、来葉者受け入れ態勢の強化のため、国際交流ボランティアリーダーの発掘・育成を進めます。



外国人市民懇談会



青少年交流事業（モントルー市青少年による表敬訪問）

#### 計画事業

##### ■ 次期国際化推進プランの策定（国際交流課）

本市における国際化施策を総合的に推進するため、次期国際化推進プランを策定します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
次期国際化推進プランの策定	—	策定	策定

### ■姉妹・友好都市との交流推進（国際交流課）



姉妹・友好都市と経済・観光・文化などの分野において、より発展的な関係を築くため、交流事業を行います。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
姉妹・友好都市交流	1市(26年度事業量)	7市	7市
青少年交流	3市(26年度事業量)	3市	3市

### ●国際交流ボランティアリーダーの育成（国際交流課）



【新規】

本市の国際化を推進するため、国際交流ボランティアリーダーを発掘・育成します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
国際交流ボランティアリーダー会議の開催	—	3回/年	3回/年
国際交流ボランティア講座の開催	—	1コース/年	1コース/年

### ■市立高校のグローバルスクール化の推進（学事課）【新規】【再掲】

グローバルな人材を育成するため、市立高校のスーパーグローバルハイスクール指定を目指します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
スーパーグローバルハイスクールの指定	検討	推進検討委員会設置 スーパーグローバルハイスクール指定	スーパーグローバルハイスクール指定

## 3-4-2 大学・企業等との連携の推進

### 施策の展開

- 大学や企業は、高度な専門性や人的資源を有するなど、まちづくりを進めるうえで重要なパートナーです。複雑化・多様化するまちづくりの課題に的確に対応し、市民サービスの向上や地域経済の活性化を図るため、本市の行政課題に応じた大学との共同研究を進めるとともに、大学や企業等と包括協定を締結するなど、まちづくりにおける連携の強化を図ります。
- また、学生の就業意識の醸成や職に対する視野を広げ、雇用のミスマッチを防ぐため、市内企業による大学生のインターンシップ受入れを支援するとともに、企業情報の発信を行います。

### 計画事業

#### ●産業人材の育成（経済企画課）【再掲】

若者を中心とした産業人材の育成を図るため、市内企業と大学生のインターンシップのマッチングを行います。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
大学生の市内企業への雇用促進	合同企業説明会、企業見学バスツアー 参加学生 100人/年	インターンシップ支援 参加企業 60社/年	インターンシップ支援 参加企業 60社/年

#### ■雇用対策の推進（経済企画課）【再掲】

雇用のミスマッチを解消するため、市内の魅力ある中小企業等の情報を大学等の新卒者などに提供します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
各大学への市内企業データの提供	—	提供	提供

#### ■ごみ減量のための「ちばルール」の推進（廃棄物対策課） 【再掲】

循環型社会を構築するため、食品トレイ等の店頭回収、レジ袋削減、簡易包装の推進等を展開する「ちばルール」の協定店の増加を図ります。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
商店会等との協定締結	66事業者	9事業者	75事業者

#### ■地域防犯ネットワークの促進（市民サービス課） 【再掲】

安全で安心なまちづくりを推進するため、市民、事業者、警察及び市が連携して地域防犯に取り組むネットワークを構築します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
防犯への協力に関する覚書締結	58団体	3団体	61団体

**参加と連携**

～市民のみなさんの参加やつながりが「まちづくりの底力」です。



### 1 企業や大学等と本市の包括・相互連携協定の締結内容 ( ) 内は協定の締結年月。

#### ①大学

- ・**国立大学法人千葉大学**（平成22年〔2010年〕2月）

千葉大学の地域貢献に関することや、市の施策の推進や地域の課題解決のための知的資源、人的資源及び物的資源の活用、人材育成に関することなど。



- ・**淑徳大学**（平成22年〔2010年〕5月）

淑徳大学の福祉、看護、地域政策等の専門性を生かした地域貢献活動や商店街活性化事業など。

- ・**東京情報大学**（平成25年〔2013年〕7月）

創業・新事業創出支援やアントレプレナーシップ教育など、地域経済活性化に関することなど。

- ・**植草学園・千葉経済・千葉明徳短期大学**（平成26年〔2014年〕6月）

地域の子ども・子育て環境の向上を図るため、保育人材の育成・研修などに関することなど。

#### ②企業等

- ・**公益社団法人こども環境学会**（平成22年〔2010年〕12月）

こども環境学会の地域貢献に関すること、市の施策の推進や地域の課題解決のための知的資源、人的資源及び物的資源の活用など。

- ・**独立行政法人放射線医学総合研究所**（平成23年〔2011年〕3月）

科学技術交流及び国際交流に関することや、産学官連携、相互の知的資源の活用、本市の推進する科学都市戦略の実現に関することなど。

- ・**イオン株式会社**（平成23年〔2011年〕5月）

地域WAONカードの活用、企業立地支援、商業・観光の振興、地産地消の推進・市產品の販売促進など13項目の取組について推進。

- ・**独立行政法人都市再生機構**（平成23年〔2011年〕8月）

既成市街地における拠点機能の整備・向上や都市防災機能の向上と災害時における対応、賃貸住宅ストック等の再生・活用、高齢者・子育て世帯等に配慮したまちづくりの推進など。

- ・**株式会社千葉銀行**（平成23年〔2011年〕11月）

国際経済交流の推進や企業立地支援、創業・新事業創出支援、地産地消・農商工連携の推進、観光振興など8項目について推進。

- ・**全国健康保険協会千葉支部**（平成26年〔2014年〕5月）

- ・**株式会社セブン-イレブン・ジャパン**（平成26年〔2014年〕9月）

地産地消の推進や市產品の販売促進、高齢者の見守り活動に関することなど。高齢者見守りネットワーク活動に関する覚書を締結。

- ・**新日本建設株式会社**（平成26年〔2014年〕10月）

既成市街地における拠点機能の整備・向上や都市防災機能の向上と災害時における対応、ICTを活用したまちづくりの推進に関することなど。

## 3-5 市民の力をまちづくりの力へ

### 3-5-1 市民参加・協働の推進

#### 施策の展開

- ⊕ 広く市民がまちづくりの目的や情報を共有し、連携して考え、課題解決に向けて取り組むことができる仕組みを構築するため、区役所など市全体の広聴機能を充実し、市民との相互理解を深めるとともに、オープンデータの推進をはじめ、様々な媒体を通じ、市民への市政情報の積極的な発信を進めます。また、ICTを活用して、市民との協働により地域課題の解決に取り組む仕組みづくりを進めます。
- ⊕ 本市を取り巻く社会経済情勢の変化や多様な市民ニーズを踏まえ、適切にまちづくりを進めるため、市民の持つ知識や経験を最大限引き出し、活用するとともに、市民自らまちづくりに参加する仕組みとして、市民シンクタンクを設置します。
- ⊕ 市民主体のまちづくりを推進するため、市民に身近な区役所の地域づくりなどの役割をさらに高めるとともに、地域運営委員会の設置などを通じ、市民や団体など様々な主体がまちづくりに参画、連携することができる仕組みを構築します。
- ⊕ また、公園の維持管理や防犯・防災の分野など、市民との協働によるまちづくりが進んでおり、引き続き、協働事業提案制度をはじめとした、市民の創意をまちづくりに活かす取組みを推進します。
- ⊕ さらに、大規模自然災害時など、地域コミュニティの役割の重要性が再認識されています。まちづくりの担い手として、町内自治会の育成や加入促進を進めるとともに、地域の身近な課題を発見し、解決する市民団体などの活動を支援することにより、市民の自治意識や地域力の向上を図ります。



ちば市民協働レポート（ちばレポ）



千葉市まちづくり未来研究所（市民シンクタンクモデル事業）の活動風景

#### 計画事業

##### ●市民シンクタンクの設置（政策企画課）



市民の知見を活かしたまちづくりを推進するため、市民シンクタンクを設置します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
市民シンクタンクの設置	モデル事業	本格実施	本格実施

## 1 地域のまちづくり活動への支援

### ●地域運営委員会の設置の促進（市民自治推進課）

住民同士の助けあい、支えあいによる地域運営を推進するため、地域運営委員会の設置を促進します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
地域運営委員会の設置	1地区	19地区	20地区
地域運営交付金の交付	制度創設	16地区	16地区

### ■まちづくりポイント付与システムの構築（市民自治推進課）

地域活動やボランティア活動を促進するため、楽しくまちづくりに参加できるポイント付与システムを構築します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
団体向けシステム	—	制度設計、構築	運用開始
個人向けシステム	—	制度設計、構築	運用開始

### ●まちづくり活動団体への助成（各区役所地域振興課）

市民主体のまちづくりを推進するため、地域課題の解決などに取り組む団体に対し、助成するとともに、地域のまちづくりのリーダー的人材の育成や、フォローアップ研修を行います。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
中央区地域リーダー養成研修	4回	2回/年	10回
緑区フォローアップ研修	—	4回/年	12回
美浜区フォローアップ研修	—	1回/年	3回

### ■稻毛区模擬投票イベントの実施（稻毛区役所地域振興課）

若者の社会参加を促進するため、稻毛区内の高校・大学の生徒・学生から区政の施策提案を募集するとともに、提案に係る模擬投票を行います。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
応募施策提案数	16件	7件/年	37件
模擬投票所設置	18校	10校/年	48校

### ●若葉区まちづくり支援（若葉区役所地域振興課）

区民一人ひとりのまちづくりへの参加意識を高めるため、地域ごとの将来像を示すシステムの充実を図るとともに、啓発と支援を行います。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
まちづくり支援システムの更新	システムの稼働	システムの更新	システムの更新
支えあい活動説明会の開催	120団体	30団体/年	210団体

## 2 地域コミュニティの活性化

### ●真砂コミュニティセンターの再整備（市民総務課）

コミュニティ活動の場としての利用環境を改善するため、真砂コミュニティセンターを旧真砂第一小学校跡施設に整備します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
再整備	工事	工事	供用開始

### ●蘇我コミュニティセンターの再整備（市民総務課、経済企画課）

コミュニティ活動の場としての利用環境を改善するため、蘇我コミュニティセンターを再整備します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
再整備	実施設計	工事	供用開始

### ●コミュニティセンターの改修（市民総務課）

コミュニティセンターの安全性の向上や機能回復を図るため、施設を改修します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
施設改修	外壁・屋上防水改修 工事2館 空調・熱源改修 実施設計1館 工事1館	劣化度調査 2館 空調・熱源改修 — 工事1館	劣化度調査 2館 空調・熱源改修 — 工事1館

## 参加と連携 ~市民のみなさんの参加やつながりが「まちづくりの底力」です。

### 1 協働事業提案制度

市民のみなさんの豊富な経験や知識を、市が実施している事業の改善や、市民サービスの向上などにつなげていくため、市民団体や企業等からの提案をもとに市と協働で事業を行っています。

➡市民自治推進課 (043-245-5663)

### 2 区のまちづくりにおける市民参加

各区役所では、地域の課題解決や地域の活性化を図るため、まちづくり活動を行う団体への助成などをはじめ、市民のみなさんとの協働によるまちづくりを行っています。

➡各区役所地域振興課地域づくり支援室 中央区 (043-221-2105)、花見川区 (043-275-6203)、稻毛区 (043-284-6105)、若葉区 (043-233-8122)、緑区 (043-292-8105)、美浜区 (043-270-3122)

## 3-5-2 男女共同参画の推進

### 施策の展開

- 家庭や職場、学校、地域など社会のあらゆる場面で、すべての人が性別に関わりなく尊重され、一人ひとりが個性と能力を発揮することができる男女共同参画社会を実現するため、「ちば男女共同参画基本計画」を策定します。
- また、事業活動における男女共同参画の推進や、仕事と家庭の両立支援に向けた職場環境の整備の促進のほか、男女共同参画社会の形成に向けた各種取組みを進めます。
- 性暴力被害の予防や被害者への支援のため、相談体制の拡充や拠点施設への支援を行います。
- 性的少数者に対する理解を深めるため、男女共同参画センターに性同一性障害などに関する専門相談窓口を開設するとともに、市民を対象とした講座をはじめ、広く情報提供などを行います。

### 計画事業

#### ● ちば男女共同参画基本計画の策定（男女共同参画課）

男女共同参画社会の実現のため、「ちば男女共同参画基本計画」を策定します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
ちば男女共同参画基本計画の策定	—	策定	策定

#### ■ 男女共同参画社会の推進（男女共同参画課）

男女共同参画社会の実現のため、男女共同参画に取り組む事業者を支援するとともに、性暴力被害等の相談体制を拡充します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
性暴力被害相談	相談受付	専門カウンセラーモデル配置	専門カウンセラーモデル配置
男女共同参画推進事業者登録制度の推進	75事業者	15事業者/年 増	120事業者
セクシュアルマイノリティ専用相談窓口の設置	—	設置	設置
公的証明書における性別欄の廃止	4件	4件	8件

#### ● 性暴力被害者支援センター助成（男女共同参画課）【新規】

性暴力被害の予防と被害者への支援のため、千葉性暴力被害支援センターの運営に助成します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
運営助成	—	助成	助成



## 方向性4

ひと・モノ・情報がつながる  
生活基盤の充実した  
安全で快適なまちへ

### 施策体系

#### 4-1 市民の安全・安心を守る

- 4-1-1 防災対策の推進
- 4-1-2 防災体制の充実
- 4-1-3 消防・救急体制の充実
- 4-1-4 交通安全の推進
- 4-1-5 防犯対策の推進
- 4-1-6 消費生活の安定・向上

#### 4-2 快適な暮らしの基盤をつくる

- 4-2-1 市街地の整備
- 4-2-2 計画的な土地利用の推進
- 4-2-3 良好な都市景観の形成
- 4-2-4 住宅・住環境の充実
- 4-2-5 生活基盤の充実

#### 4-3 ひと・モノ・情報がつながる基盤をつくる

- 4-3-1 公共交通ネットワークの形成
- 4-3-2 道路ネットワークの形成
- 4-3-3 人にやさしい移動環境の創出
- 4-3-4 I C Tを活かした利便性の向上

## 4-1 市民の安全・安心を守る

### 4-1-1 防災対策の推進

#### 施策の展開

- 被害を最小限に抑える減災のまちづくりを進めるため、建物の倒壊や火災などによる被害の軽減、公共施設など市有建築物の耐震化を進めるとともに、緊急時の避難や復旧活動などが遅れる交通の寸断を防止するため、電線共同溝の整備や橋梁、鉄道駅、下水道施設の耐震化などを推進します。
- 雨水対策については、緊急的に対策が必要な地区について、雨水管渠や河川及び排水路の整備を進めるとともに、地域の特性に応じ、公共施設への貯留浸透施設の設置など、早期に効果が得られる取組みを進めます。また、局所的に発生する集中豪雨に対し、下水道などの公的施設の整備では浸水被害の防止に限界があるため、市民の自助を促す支援策の充実を図ります。
- 東日本大震災による地盤の液状化により著しい被害を受けた地域について、再度の災害の発生を抑制するため、道路・下水道等の公共施設と隣接宅地等との一体的な液状化対策を推進します。



柏井橋の架替（左は既設橋、右は迂回橋）

#### 計画事業

##### 1 地震等に強いまちづくり

###### ● 公共施設の吊天井の補強（各所管課）

公共施設の安全を確保するため、吊天井の補強工事を行います。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
吊天井の補強	設計 2 か所	設計 5 か所 工事 14 か所	工事 14 か所

###### ● 下水道施設の耐震化（下水道再整備課、下水道施設建設課）

地震発生時の下水道の流下機能を確保するため、管渠や処理場・ポンプ場の耐震化を推進します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
管渠の耐震化	15km(26年度事業量)	49.2km	49.2km
処理場の耐震化	2 か所	2 か所	2 か所
ポンプ場の耐震化	18 か所	1 か所(減災工事)	1 か所(減災工事)

### ●送・配水管の耐震化（水道事業事務所）

安定給水を図るため、送・配水管の耐震化を行います。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
送水管の耐震化、送水管布設	1,816m	1,369m	3,185m

### ●鉄道駅の耐震補強（交通政策課）

災害時における拠点機能の確保及び利用者の安全性の向上を図るため、鉄道駅における耐震補強を促進します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
耐震補強（橋脚）	242本	5本	完了（247本）

### ●橋梁の耐震化（維持管理課）

緊急時の輸送路や避難時の通行の安全を確保するため、橋梁の耐震補強を行います。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
耐震補強	107橋	20橋	127橋

### ●市道三角町柏井町線（柏井橋）の橋梁架替（道路建設課）

橋梁長寿命化修繕計画に基づき、高齢化している柏井橋を架け替えるため、橋梁を整備します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
橋梁架替	迂回道路供用 既設橋撤去	既設橋撤去 橋梁下部工・護岸工事	橋梁下部工完了

### ●主要地方道穴川天戸線（亥鼻橋）の橋梁架替（道路建設課）

橋梁長寿命化修繕計画に基づき、高齢化している亥鼻橋を架け替えるため、橋梁を整備します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
橋梁架替	仮橋架設	迂回道路整備、既設橋撤去、 橋梁下部工・護岸工事	橋梁下部工工事

### ●道路施設の長寿命化（維持管理課）【再掲】

道路施設の安全性を確保するため、長寿命化計画に基づき、道路施設の計画的な補修を行います。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
橋梁の補修	122橋	78橋	200橋
横断歩道橋の補修	13橋	20橋	33橋

### ●学校施設の安全確保（学校施設課）【再掲】

児童生徒の安全確保や避難所としての機能強化を図るため、屋内運動場や校舎の天井落下防止対策などを行います。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
非構造部材等耐震対策 (校舎)	—	小学校 13 校 中学校 4 校 特別支援学校 1 校	小学校 13 校 中学校 4 校 特別支援学校 1 校
非構造部材等耐震対策 (屋内運動場)	小学校 11 校 中学校 12 校	小学校 18 校、 中学校 11 校 高等学校 2 校 特別支援学校 1 校	小学校 19 校、 中学校 23 校 高等学校 2 校 特別支援学校 1 校

### ●緊急輸送道路沿道の建築物耐震診断費用の助成（建築指導課）

緊急輸送道路沿道建築物の耐震診断を行うため、診断費用の一部に助成します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
耐震診断費用の助成	1 件	3 件	4 件

### ●マンホールトイレの整備（防災対策課・下水道建設課）

災害時におけるし尿処理体制の強化を図るため、避難所で使用可能なマンホールトイレを整備します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
マンホールトイレの整備	34 か所	23 か所	57 か所

### ●防災拠点への再生可能エネルギー導入の推進（環境保全課）【再掲】

環境負荷の低減や災害に強いまちづくりを推進するため、防災拠点への再生可能エネルギー設備の設置を推進します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
防災拠点への再生可能エネルギー等設備の設置	—	22 か所	22 か所

## 2 水害対策の推進

### ●排水施設の整備（都市河川課）

浸水被害を軽減するため、排水路を整備します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
排水路の整備	幹線 65.4km 一般 296.4km	幹線 0.6km 一般 1.6km	幹線 66.0km 一般 298.0km

### ●河川の改修（都市河川課）

流域内の浸水被害を軽減するため、勝田川や坂月川等を改修します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
一級河川勝田川	河道築造 3,470m	宇那谷橋横断部 暫定整備	河道築造 3,470m 宇那谷橋横断部 暫定整備
二級河川坂月川	河道築造 1,580m	河道築造 1,346m	河道築造 2,926m
二級河川支川都川	河道築造 1/1.7 暫定改修済	河道築造 (1/10 改修) 基本・実施設計	河道築造 (1/10 改修) 基本・実施設計
二級河川生実川	護岸築造 179m	102m	281m

### ●都市下水路の整備（都市河川課）

市民の安全安心のため、老朽化の著しい芦太下水路を改修します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
芦太下水路の改修	—	63m	63m

### ●雨水貯留施設の整備（都市河川課）

浸水被害を軽減するため、学校の校庭に整備した、雨水貯留施設整備の事後評価を行います。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
事後評価	—	実施	実施

### ●浸水の防除（下水道計画課、下水道建設課、下水道営業課）

浸水被害を軽減するため、雨水管渠や雨水浸透施設等を整備するとともに、市民による防水板等の設置費用の一部を助成します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
雨水管渠整備	2.3km (26年度事業量)	6.6km	6.6km
雨水浸透施設の整備	浸透樹 3,371 個 浸透トレーナー 10,840m	209 個 1,023m	3,580 個 11,863m
雨水貯留施設等の設置助成	3,064 件	535 基	3,599 基
防水板設置助成	21 件	21 件	42 件

### 3 災害による被害の抑制

#### ●市街地液状化対策の推進（市街地整備課）

大規模地震による液状化被害を抑制するため、市街地液状化対策を推進します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
市街地液状化対策	モデル地区 1 地区 設計 新規地区 —	工事 1 地区 調査 1 地区	工事 1 地区完了 調査 1 地区

#### ●電線共同溝の整備（維持管理課）

安全で快適な歩行空間の確保及び防災機能の向上を図るため、電線類の地中化を行います。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
電線共同溝整備	49.0km	1.3km	50.3km

#### ●急傾斜地崩壊防止工事の推進（都市河川課）

市民の生命を保護するため、崩壊の危険性が高い崖地を急傾斜地崩壊危険区域に指定し、崩壊防止工事を進めます。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
崩壊防止工事（市事業）	1,313m	403m	1,716m
崩壊防止工事（県事業）	3,294m	240m	3,534m

#### ●密集住宅市街地の環境整備（住宅政策課）【再掲】

安全で安心な住環境の形成を図るため、地震時等に大規模な火災の発生の可能性のある密集市街地に耐震性貯水槽を整備します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
耐震性貯水槽の整備	地質調査	1基	1基

#### ●公園緑地の整備（公園建設課）【再掲】

本市のスポーツ・レクリエーション及び広域的な防災の拠点とするため、蘇我スポーツ公園の整備を進めます。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
蘇我スポーツ公園	供用 30.7ha 用地取得 22.8ha	施設整備（第4工区） 4.6ha	供用 36.9ha 27.4ha

## 4-1-2 防災体制の充実

### 施策の展開

- ✚ 東日本大震災においては自治体そのものが被災し、被災地域における初動態勢において、行政のきめ細かな対応には限界があり、市民一人ひとりが自らの命を守る「自助」の姿勢や、自分たちのまちは自分たちで守る「共助」による地域の防災力向上や、人と人とのつながりの重要性が再認識されました。
- ✚ 首都直下地震の発生の可能性が高まるなか、実効性のある防災対策を推進するため、国及び千葉県の新たな被害想定を受け、本市としての地震災害の被害想定の調査等を行います。また、大規模災害発生時の災害応急対策を強化するため、他の地方公共団体等からの応援を円滑に受けるため体制づくりを進めます。
- ✚ 災害発生時に地域住民が率先して消火や救助・救出、避難支援等を行ったり、避難所運営を行うことが、被害の拡大を防ぎ、円滑に防災・減災活動を進めるうえで重要であるため、地域住民の連帯意識に基づく自主防災組織の結成促進や、避難行動要支援者の支援体制の強化、避難所運営体制の整備などを図ります。
- ✚ 市民一人ひとりが、日頃より非常時の備蓄や避難経路等を確認するなど、防災意識の向上を図る取組みを推進します。



地域主体型防災訓練

### 計画事業

#### ● 地震被害想定の見直し（危機管理課）【新規】

防災対策を推進するため、地震災害の被害想定調査を実施します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
地震被害想定調査	—	調査	調査
地震ハザードマップ改定	—	改定	改定

#### ● 災害時受援計画（地震対策編）の策定（危機管理課）【新規】

大規模災害発生時に、他の地方公共団体等からの応援を円滑に受けるため、災害時受援計画（地震対策編）を策定します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
災害時受援計画（地震対策編）の策定	—	策定	策定

### ■避難所運営体制の整備（防災対策課）

災害時に迅速かつ円滑に避難所の開設・運営を行うため、市民が主体となった避難所運営委員会の設立を促進します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
避難所運営委員会の設立	200 か所	83 か所	完了

### ■避難行動要支援者の支援体制の強化（防災対策課）

災害時の避難行動要支援者の支援体制を強化するため、避難行動要支援者名簿を町内自治会や自主防災組織等に提供します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
避難行動要支援者名簿の提供	100 団体	300 団体	400 団体

### ●自主防災組織の結成促進（防災対策課）

地域の防災力の向上を図るため、自主防災組織の結成を促進するとともに、防災資器材の再助成を行います。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
自主防災組織の結成	997 組織	150 組織増	1,147 組織
資器材購入・賃借再助成	—	制度創設	助成

### ●地域の防災力の向上（各区役所地域振興課）

地域の防災力の向上を図るため、町内自治会との協働により自主防災マップの作成などを行うとともに、地域主体による防災訓練や避難所運営を支援します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
中央区くらし安心・自主防災マップ	17 団体/年	4 団体/年増	4 団体/年増
花見川区地域主体型防災訓練	6 地区	2 地区/年	12 地区
稻毛区地域における防災訓練促進	—	23 団体	23 団体
若葉区自主防災組織結成促進（個別説明会）	—	10 回/年	10 回/年
緑区災害対応合同訓練	—	1 地区/年	3 地区
美浜区避難所体験教室	—	2 回/年	6 回
避難所運営委員会研修	—	4 回/年	12 回

### ● 地域防災無線の外部アンテナ（非常固定空中線）設置（防災対策課）

災害発生時の緊急情報の伝達手段を確保するため、地域防災無線機の外部アンテナ（非常固定空中線）を整備します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
外部アンテナ（非常固定空中線）の設置	10台(26年度事業量)	実施設計 15か所 整備工事 25か所	完了

### ■ 防災リーダーの育成（防災対策課）



地域の防災力向上のため、防災ライセンス取得者の養成を進めます。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
防災ライセンス講座の開催	3回/年（ライセンス取得者 262名）	6回/年	6回/年（ライセンス取得者 982名）

### ● 新庁舎の整備（管財課）【再掲】

老朽化や防災面などの課題に対応するため、新庁舎の整備を進めます。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
新庁舎整備	基本構想策定、基本計画案作成	事業手法等検討調査、執務室配置検討調査、基本設計、実施設計	実施設計

### ● 備蓄品の整備（防災対策課・危機管理課）

災害時の支援体制を強化するため、備蓄品を拡充するとともに、避難所への備蓄倉庫の設置などを推進します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
避難所用			
備蓄品の拡充	避難者 1日分	2日分増	避難者 3日分
備蓄倉庫の設置	30か所	90か所増	120か所
LED投光器の設置	—	373台	373台
帰宅困難者用			
備蓄品の拡充	2,000人分	500人分増	2,500人分

**参加と連携** ~市民のみなさんの参加やつながりが「まちづくりの底力」です。**1 自主防災組織の結成**

「自主防災組織」とは、地域のみなさんが大地震などによる災害に備え、自分たちの地域は自分たちで守るという「共助」の考え方のもと、自治会などの単位ごとに結成する組織であり、防災訓練、防災マップの作成や情報伝達体制づくりなどを行います。

本市では、地域における防災・減災力の向上を図るため、自主防災組織の結成を促進するとともに、下記の助成などによる活動支援を行っています。

**【支援メニュー】**

- ・自主防災組織の結成（加入世帯数に応じた額の防災資機材と防災旗を支給します。）
- ・訓練を行ったとき（自主防災組織が行う防災訓練に対し、年度1回、助成金を交付〔助成金額は、訓練に参加した人数に80円を乗じた額〕。）
- ・活動に必要な資機材の購入時（自主防災組織が資機材を購入または賃借した場合、助成限度額の範囲内で、かかった費用の1／2を年度1回助成します。）

➡防災対策課（043-245-5113）

**2 地域の防災力の向上（各区役所）**

地域の防災力を向上するため、中央区では町内自治会と協力して、震災時の避難経路や危険箇所をマップとしてまとめる取組みを、花見川区や稻毛区では地域による防災訓練を促進する取組みを、若葉区では個別説明会による自主防災組織結成を促進する取組みを、緑区及び美浜区では小学校において親子を対象とした防災体験を行います。

➡各区役所地域振興課くらし安心室 中央区（043-221-2169）、花見川区（043-275-6224）、  
稻毛区（043-284-6107）、若葉区（043-233-8124）、緑区（043-292-8117）、美浜区（043-270-3124）

**3 避難所運営体制の整備**

市民が主体となった避難所運営委員会を設立し、災害発生時に住民ニーズに即した避難所の開設や運営ができるように取り組みます。➡防災対策課（043-245-5113）

**4 避難行動要支援者名簿の提供**

高齢者や障害者などのうち、災害時の避難行動に特に支援を要する方の名簿「避難行動要支援者名簿」を、市と協定を締結した町内自治会、自主防災組織等に提供し、災害時の地域における支援体制の構築を促進します。

## 4-1-3 消防・救急体制の充実

### 施策の展開

- ✚ 複雑化・多様化する各種災害に対応するため、消防活動拠点である消防署・所の整備や、地域における防災活動の要となる消防団の器具置場の建替を行うなど、消防力の強化を図ります。
- ✚ 救急体制の充実を図るため、青葉病院救急棟の整備に併せ、救急隊員のスキルアップを図る研修施設である救急ワークステーションを整備します。また、救急救命士の養成を図ります。
- ✚ 火災予防対策については、町内自治会での防火講話をはじめ、幼少期から高齢者まで各年代で必要とされる防火知識の普及啓発を行います。また、火災発生や火災に伴う人命の危険を排除するため、立入検査等による消防法令違反事業所に対する是正指導を行います。

### 計画事業

#### ● 消防署・所の整備（消防局施設課）

複雑多様化する各種災害に対応するため、消防活動拠点である消防庁舎の新設・建替えを行います。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
宮崎出張所の建替	実施設計	工事	供用開始
あすみが丘出張所の新設	—	地質調査、基本設計、実施設計	地質調査、基本設計、実施設計

#### ● ICT を活用した救急業務の推進（救急課）

医療機関への収容時間の短縮や救命率の向上及び後遺症の軽減を図るため、救急情報共有システムを整備します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
救急情報共有システムの整備	実証実験	救急情報共有端末設置・システムの運用	運用

#### ● 航空消防防災体制の充実（航空課）

市民の安全安心を確保するため、消防ヘリコプターの法定10年点検を行います。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
ヘリコプター法定10年点検	—	点検	完了

### ●消防庁舎の機能改善（消防局施設課）

複雑多様化する各種災害に対応するため、老朽化の著しい消防庁舎の機能改善を推進します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
空調設備改修	実施設計 1か所	工事 1か所	工事完了 1か所
屋上防水等改修	—	実施設計、工事 2か所	工事完了 2か所

### ●消防団活動体制の充実（消防局総務課）



地域における消防防災力の向上を図るため、消防団活動体制の充実を図ります。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
消防団器具置場の整備	1棟（26年度事業量）	4棟	5棟
消防団装備の充実強化	デジタル無線機92台	デジタル無線機19台 救命胴衣840着	デジタル無線機111台 救命胴衣840着

### ■青葉病院救急ワークステーションの設置（救急課）【再掲】

救急医療体制を強化するため、青葉病院救急棟に救急隊員の研修施設である救急ワークステーションを設置します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
救急ワークステーションの設置	—	設置	設置

### ■救急救命士の養成（救急課）

救急体制の充実を図るため、救急救命士の養成とともに、高度な救命処置を行うことのできる救急救命士を育成します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
救急救命士新規養成	160人	4人/年	172人
気管挿管認定救急救命士の養成	79人	2人/年	85人
薬剤投与認定救急救命士の養成	98人	2人/年	104人
ビデオ喉頭鏡認定救急救命士の養成	59人	4人/年	71人

### ■応急手当の普及啓発（救急課）



救命率の向上を図るため、救命講習会を開催するとともに、市民ボランティアによる応急手当インストラクターやジュニアインストラクターを養成し、市民と協働した応急手当の普及啓発を推進します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
救命講習会等開催	500回/年（年間受講者数28,000人）	500回/年（年間受講者数28,000人）	500回/年（年間受講者数28,000人）
応急手当普及協力事業所の認定	436件	90件	526件

## ■住宅防火対策の推進（予防課）

火災予防体制の充実を図るため、幼少年から高齢者まで各世代で必要とされる防火知識を普及啓発します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
幼少年向け住宅防火教育	30回	300回	330回
住宅防火講話	350回	1,081回	1,432回

### 参加と連携

～市民のみなさんの参加やつながりが「まちづくりの底力」です。 

#### 1 消防団活動体制の整備

消防団は、火災予防の広報や警戒警備のほか、火災や地震などの発生時に、災害現場に駆けつけ、消防職員と協力して災害現場活動を行っています。市内6方面（区）の18分団・72部に分かれて、災害に強いまちづくりを目指して活動しています。

18歳以上の市内在住、在勤または在学の方の入団を募集しています。 ☎ 消防局総務課（043-202-1635）

#### 2 応急手当の普及・啓発

救急車が到着するまでの間、けがや病気など、生命の危機に瀕する恐れのある人に対し速やかな応急手当を行えば、救命率が向上する場合があります。市では、市民のみなさんが応急手当の方法を学ぶ場として、心肺蘇生法や止血法などの知識・実践のための救命講習会を開催しています。

また、市民と一緒に応急手当普及啓発を実践するために、応急手当普及員の資格を取得された方を対象に『スキルアップ講習』を定期的に開催しています。 ☎ 消防局救急課（043-202-1657）



## 4-1-4 交通安全の推進

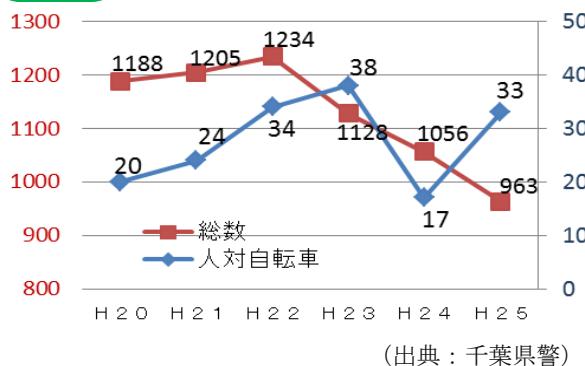
### 施策の展開

- ⊕ 近年、本市の交通事故発生件数は減少傾向にありますが、市民が安全・安心に通行できるよう、歩道の整備や交差点の改良、夜間交通の安全を図る道路照明灯など交通安全施設の設置などを、引き続き進めます。
- ⊕ 自転車に係る交通事故の減少など、安全で快適な自転車走行環境を創出するため、自転車レーン等の整備を推進します。また、自転車のルールやマナー遵守を徹底するため、警察等関係機関と連携し、交通安全教育の普及・啓発を進めます。
- ⊕ 鉄道駅周辺などの放置自転車は、自転車駐車場の整備や放置自転車の撤去などを進めてきた結果、平成26年（2014年）には約2千台となるなど、着実に減少しています。放置自転車を減らすため、自転車等の駐車対策総合計画を見直し、取組みを推進するとともに、買い物による短時間の駐輪など、利用特性に応じた駐輪スペースの確保を進めます。



自転車走行ルールの実技講習

図表 11 本市の自転車に係る交通事故



自転車レーン（自転車専用通行帯）

### 計画事業

#### 1 歩行者等の安全確保と交通の円滑化

##### ●歩道の整備（道路計画課、道路建設課）

歩行者の安全性を確保するため、歩道を整備します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
調査・設計	設計 1路線 (26年度事業量)	4路線	4路線
用地取得	用地取得 2路線 (26年度事業量)	3路線	3路線
整備	整備 3路線 (26年度事業量)	2路線	2路線

### ● 交差点の改良（道路計画課、道路建設課）

交通事故の減少及び渋滞の緩和を図るため、交差点を改良します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
調査・設計	3か所(26年度事業量)	11か所	11か所
用地取得	1か所(26年度事業量)	7か所	7か所
整備	2か所(26年度事業量)	7か所	7か所(供用開始7か所)

### ● 交通安全施設の充実（維持管理課）

道路利用者の安全性・快適性の向上及び交通の円滑化を図るため、道路照明灯や道路案内標識等の設置とともに、通学路の交通安全対策を行います。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
道路案内標識	626基	9基	635基
地点名標識	460か所	11か所	471か所
道路照明灯	19,000基	34基	19,034基
通学路の安全対策	合同点検及び対策 (2巡目着手)	合同点検及び対策 (2巡目完了、3巡目着手)	合同点検及び対策 (2巡目完了、3巡目着手)

### ● 踏切道の安全対策（維持管理課）

踏切事故防止のため、踏切内に歩道を設置します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
踏切道の改良	1か所(26年度事業量)	1か所	1か所

### ● 生活道路の整備（道路計画課、道路建設課）【再掲】

生活道路の安全性・利便性の向上を図るため、道路を整備します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
調査・設計	7か所(26年度事業量)	12か所	12か所
用地取得	3か所(26年度事業量)	8か所	8か所
道路整備	4か所(26年度事業量)	7か所	7か所(供用開始7か所)

## 2 安全で快適な自転車利用環境の創出

### ● 自転車走行環境の整備（自転車対策課）

安全で快適な自転車走行環境を創出するため、自転車レーン等を整備します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
自転車レーン等の整備	13.9km	23.8km	37.7km

### ●放置自転車対策の推進（自転車対策課）

放置自転車を減らすため、自転車等の駐車対策総合計画を見直すとともに、電磁ロック式自転車ラックや監視カメラの設置を進めます。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
自転車等の駐車対策に関する総合計画の見直し	—	見直し	見直し
電磁ロック式自転車ラックの導入	117台	724台	841台
監視カメラ設置	18基	91基	109基

### ■自転車安全利用の促進（市民サービス課）

自転車の交通ルールの順守やマナー向上を図るため、スクエアード・ストレイト教育技法を取り入れた交通安全教室を実施します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
交通安全教室の実施	2回/年	1回/年増	3回/年

### ●自転車によるまちづくりの推進（政策企画課）

安全で快適な走行環境や新たなまちづくりなど、自転車によるまちづくりを総合的に推進するため、市民や団体、企業等と連携し、自転車まちづくり基本方針や自転車まちづくり条例を制定します。

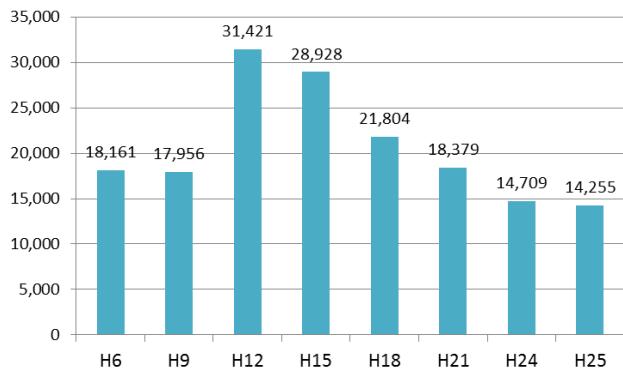
取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
自転車まちづくり基本方針の策定	素案作成	策定	策定
自転車まちづくり条例の制定	—	制定	制定

## 4-1-5 防犯対策の推進

### 施策の展開

- 市内の犯罪発生件数は、近年、減少傾向にありますが、自転車や自動車の盗難、車上ねらいなど市民生活に身近な場所で発生する、いわゆる街頭犯罪が多数発生しています。
- 市民が治安のよさを実感することができるよう、地域における防犯パトロールなど、市民主体の防犯活動を支援するとともに、犯罪行為等を発見したときの通報や防犯啓発活動など、事業者や警察と協力し、犯罪抑止のネットワークの構築などの取組みを進めます。
- また、自転車駐車場における自転車の盗難を防止するため、監視カメラを設置します。
- 防犯街灯について、適切な明るさを確保したうえで、設置費や電気料金などのコスト抑制を図るため、LED化を推進します。

図表 12 市内の刑法犯認知件数の推移



### 計画事業

#### ●中央区ご近所防犯（中央区役所地域振興課）



安全で安心なまちづくりを推進するため、町内自治会による防犯活動に対し物品を支援します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
防犯活動団体への物品支援（防犯ステッカー、防犯パトロール支援物品）	4団体/年	3団体/年増	3団体/年増

#### ■花見川区地域防犯対策（花見川区役所地域振興課）



地域防犯対策等の強化を図るため、区内の各事業所・福祉施設等を防犯ステーションとして登録するとともに、人材の育成・確保及び防犯意識の普及啓発などに取り組みます。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
防犯ウォーキングボランティアの登録	2,600人	1,100人	3,700人
防犯ステーションの登録	36か所	20か所/年	96か所

### ■美浜区地域防犯力の向上（美浜区役所地域振興課）



地域の防犯体制を強化するため、町内自治会や警察と連携した合同パトロールなどを推進します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
美浜区安全会議	2回	2回/年	8回
合同防犯パトロール	—	11回	11回
振り込め詐欺防止啓発	—	16回/年	48回

### ■地域防犯ネットワークの促進（市民サービス課）



安全で安心なまちづくりを推進するため、市民、事業者、警察及び市が連携して地域防犯に取り組むネットワークを構築します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
防犯への協力に関する覚書 締結	58団体	3団体	61団体

### ●学校防犯対策の推進（学事課）【再掲】

子どもの安全を確保するため、小・中学校等に防犯カメラシステムを設置します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
学校防犯カメラシステム の設置	61校	9校	70校

### ●放置自転車対策の推進（自転車対策課）【再掲】

自転車盗難の未然防止のため、自転車駐車場に監視カメラを設置します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
監視カメラ設置	18基	91基	109基

### ●防犯街灯のLED化（市民サービス課）

環境への配慮及び経費節減のため、従来の水銀灯の全灯LED化を推進します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
防犯街灯のLED化	方針決定	51,000灯	完了

**参加と連携**

～市民のみなさんの参加やつながりが「まちづくりの底力」です。

**1 防犯パトロール活動**

「自分たちのまちは自分たちで守る」という自主防犯意識のもと、720団体以上の防犯パトロール隊が、地域の防犯活動を行っています。市では、地域で防犯活動を行う団体に対し、防犯パトロールに必要な物品を配布する支援を行っています。

➡市民サービス課（043-245-5264）

**2 地域防犯への協力に関する覚書の締結**

市では、犯罪の未然防止などを図るため、事業者との間で「千葉市内の防犯への協力に関する覚書」を締結しています。事業者の皆さんのが、業務中に犯罪や事故、犯罪被害者を発見した場合には、速やかに警察等に通報してもらうほか、防犯ステッカーを車両などに張り、防犯に関する啓発活動を行っています。➡市民サービス課（043-245-5264）



防犯ステッカー

## 4-1-6 消費生活の安定・向上

### 施策の展開

- ✚ 高度情報通信社会の進展などにより、市民の消費生活をめぐる環境は大きく変化しており、携帯電話やパソコンを使った架空請求やインターネットを介した海外の者との取引によるトラブルなどをはじめ、相談内容が複雑化・多様化し、被害も深刻化しています。
- ✚ 市民が消費者として安全・安心に生活ができるよう、消費生活講座など普及啓発を行うとともに、悪質商法や詐欺などによる被害の未然防止のため、くらしの巡回講座を実施するほか、消費者教育を行う事業者や団体との協働による取組みを推進します。
- ✚ また、被害に遭った市民に対し、消費生活相談員による助言・あっせんを行います。
- ✚ さらに、被害を受けやすい若者や高齢者への対策として、民生委員や市内大学などとの連携を強化するとともに、被害防止のための啓発活動などを推進します。

### 計画事業

#### ■ 消費者教育の推進（消費生活センター）

市民の安全・安心を確保するため、事業者、団体、市民等と協働により、消費者教育を推進します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
ちばし消費者応援団の普及啓発（ステッカー配布等）	50 団体 —	30 団体/年増 個人 120 人/年 増	140 団体 360 人

## 4-2 快適な暮らしの基盤をつくる

### 4-2-1 市街地の整備

#### 施策の展開

- ⊕ JR千葉駅西口地区について、千葉駅東口に集中する交通機能の分散と臨海部への玄関口としてのふさわしい街並み形成のため、商業・業務機能の集積を図る再開発ビルの建設や、道路・交通広場等の公共施設を整備してきました。引き続き、土地の合理的かつ健全な高度利用を図るために、総合病院を中心として多世代の人々が集うにぎわいの創出を図るとともに、周辺公共施設の整備を行います。
- ⊕ また、JR千葉駅東口の細分化された街区の一体利用により、土地の合理的かつ健全な高度利用と、商業・業務機能の更新を図るため、民間による再開発事業を促進します。
- ⊕ JR稻毛駅周辺などの生活機能拠点について、新たな状況に対応した魅力ある市街地形成に向けた取組みに対し、連携・支援などを行うとともに、検見川・稻毛地区や寒川第一地区など、土地区画整理事業による健全な市街地の形成を図ります。
- ⊕ JR幕張駅は、総武線沿線では唯一、駅前広場が未整備であることや、幕張本郷駅が幕張新都心へのアクセス駅として慢性的に渋滞しているため、市民生活に必要な都市基盤施設の整備やバス等の交通結節性の向上を図るなど、生活機能拠点として育成を推進します。

#### 計画事業

### 1 既成市街地・市街化進行地域の整備

#### ●千葉駅西口地区第二種市街地再開発（B工区）（まちづくり推進課）

千葉都心の土地の高度利用と建築物の機能更新のため、医療などの機能を駅前に導入するとともに、新たな賑わいを創出する再開発ビルの整備を進めます。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
再開発ビルB棟の整備	都市計画変更協議	工事	供用開始
公共施設整備	公共施設管理者との協議	Eデッキ橋製作、下水道工事、新千葉公園整備工事	供用開始

### ●千葉駅東口地区第一種市街地再開発（まちづくり推進課）

千葉都心の土地の高度利用と建築物の機能更新のため、千葉駅東口地区の第一種市街地再開発を促進します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
再開発ビル整備助成	関係者協議	整備助成	整備助成
公共施設整備（駅前広場改修など）	関係者協議	駅前広場改修	駅前広場改修

### ●検見川・稻毛土地区画整理（検見川稻毛土地区画整理事務所、政策企画課）

良好な居住環境を有する市街地の形成を図るため、建物移転や幹線道路整備等により公共施設の整備・改善を行います。また、事業区域内未利用地の有効活用の検討を進めます。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
建物移転	194戸	12戸	206戸
道路築造	12,700m	70m	12,770m
宅地造成	293,600 m <sup>2</sup>	1,750 m <sup>2</sup>	295,350 m <sup>2</sup>

### ●寒川第一土地区画整理（寒川土地区画整理事務所）

都市計画道路及び下水道施設を優先的に整備するため、関連する建物移転を推進し、公共施設の整備・改善を行います。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
建物移転	318戸	11戸	329戸
道路整備	2,029m	225m	2,254m
下水道整備	3,305m	792m	4,097m

## 2 生活機能拠点の整備

### ●東幕張土地区画整理（東幕張土地区画整理事務所）

良好な居住環境の形成を図るため、駅前広場を含む幹線道路等の早期完成に向け、公共施設の整備・改善を行います。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
建物移転	153戸	72戸	225戸
道路築造	2,270m	810m	3,080m
宅地造成	25,700 m <sup>2</sup>	19,100 m <sup>2</sup>	44,800 m <sup>2</sup>

## 4-2-2 計画的な土地利用の推進

### 施策の展開

- 本市は近い将来、人口減少を迎えるとともに、少子超高齢化が進展しており、市民の安全で快適な生活と効率的な都市経営との両立を図る都市づくりを進める必要があります。集約型都市構造への転換を見据えた、本市の都市づくりの将来像や方向性を明らかにする都市計画マスタープランを策定します。
- また、都市計画は土地利用のルールや都市基盤施設の立地等を定めるなど、市民生活と密接な関わりを持つため、福祉や安全・安心など市民の関心の高い地域課題やニーズに対応しながら、地域の将来像を市民が共有し、自主的に地区計画や建築協定などまちづくりのルールづくりを行う取組みを支援します。

### 計画事業

#### ● 都市計画マスタープランの見直し（都市計画課）

社会情勢の変化に対応した都市づくりを進めるため、集約型都市構造への転換を見据えた都市計画マスタープランを策定します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
都市計画マスタープラン策定	計画案作成	策定	策定

#### ■ 「やってみようよまちづくり」支援（まちづくり推進課）



参加と協働によるまちづくりを推進するため、地区計画や建築協定などを活用したまちづくりの知識・情報の習得を支援します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
公開講座の開催	6回	6回	12回
アドバイザー派遣	21回	24回	45回
活動支援	1団体	3団体	4団体

#### 参加と連携 ~市民のみなさんの参加やつながりが「まちづくりの底力」です。



##### 1 やってみようよまちづくり

市民のみなさんが、自分たちのまちづくりを考えたり、まちづくり活動を進めるにあたり、市では、様々なメニューでみなさんを支援しています。

(支援メニュー) まちづくり公開講座、まちづくり出前講座、まちづくりアドバイザー派遣、まちづくり活動支援

☎ まちづくり推進課 (043-245-5311)

## 4-2-3 良好な都市景観の形成

### 施策の展開

- ⊕ 本市の景観は、都市の発展に基づく土地利用の変遷により、埋立てによる海際の市街地と内陸部の市街地、さらに市街化調整区域に広がる里山や谷津などの田園の大きく3つのゾーンに区分することができますが、近年、都市空間が画一化しており、地域の特性が見えにくくなっています。
- ⊕ 身近な生活環境を大切にしたい、都市にうるおいやゆとりを回復したいといった市民意識の変化や、にぎわいのある都市空間への期待など、社会情勢や市民の景観形成に対するニーズに対応するため、積極的かつ効果的な都市景観の形成を進めます。
- ⊕ また、より魅力ある景観の形成を推進するため、本市が目指すべき景観形成の目標を掲げるとともに、市民や事業者と協働で魅力ある千葉らしさの感じられる景観づくりを進めます。

#### 本市の景観形成のテーマ

「うみ・まち・さとの魅力を活かした ちばの景観づくり」



「うみ」（幕張新都心）



「まち」（千葉都心）



「さと」（下泉町の谷津田）

### 計画事業

#### ■ 景観形成の推進（都市計画課）

地域の特性を活かした魅力的なまちづくりを推進するため、景観形成推進地区の指定等を行います。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
景観形成推進地区の指定	1地区	1地区	2地区

#### ● 谷津田の保全と活用の推進（環境保全課） 【再掲】

谷津田の自然を保全するため、谷津田保全区域の指定の拡大を行うとともに、保全団体等への活動支援を行います。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
谷津田保全協定の締結	48.6ha	9ha 拡大	57.6ha
NPO団体等への活動支援	3団体	1団体増	4団体

**■里山の保全（農業経営支援課）【再掲】**

里山地区の保全管理活動を促進するため、市民参加によるイベント等を開催します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
市民参加によるイベント等の開催	1地区	1地区増	2地区

**■中心市街地の緑化の推進（緑政課）【再掲】**

中心市街地の緑化を推進するため、建物屋上や壁面の緑化に助成します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
屋上・壁面緑化への助成	7件	5件/年 増	22件

## 4-2-4 住宅・住環境の充実

### 施策の展開

- 本市では、65歳以上の高齢者のいる世帯数が増加しており、特に高齢者の単独世帯や夫婦のみの世帯が増加しています。高齢者等が支援や介護が必要となっても、住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、住宅のバリアフリー化や、安否確認、身近な生活相談など、福祉施策と連携したサービスを提供する住宅の供給を促進します。
- また、民間の賃貸住宅において、入居を敬遠されがちな高齢者の単独世帯などが、安心して住宅を借りるための支援を進めます。
- 本市の住宅ストックをみると、高度経済成長期に建設された住宅が多く、新耐震基準（昭和56年〔1981年〕）以前に建築された住宅が、全体のおよそ3割となっています。良質な住宅ストックを形成するため、耐震基準を満たさない住宅の耐震化を促進します。
- 市営住宅については、老朽化や入居者に占める高齢単独世帯の増加、市域における区別の戸数の不均衡などが生じています。既存ストックの活用を基本とし、今後の住宅需要や立地、費用対効果などを考慮したうえで、建替えなどを進めます。
- 管理不全の状態の空き家等について周辺住民が不安を感じ、多くの相談が寄せられています。生活環境の保全や犯罪の未然防止のため、空き家等の適正管理に関する条例に基づき、適正な管理を促進します。また、良質な空き家等については、地域コミュニティの活性化を目指し、有効活用の検討を進めます。



桜木町団地建替え（イメージ）

### 計画事業

#### 1 高齢者等への居住支援

##### ■ サービス付き高齢者向け住宅供給の促進（住宅政策課）

高齢者が安心して暮らせる住宅の供給を促進するため、サービス付き高齢者向け住宅の適正管理を促進します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
立入検査	16件	36件	52件

##### ● 民間賃貸住宅の入居支援（住宅政策課）

民間賃貸住宅への入居機会と居住安定確保を図るため、住宅の確保が困難な高齢者等に対し、入居を拒まない民間賃貸住宅の情報提供及び居住支援を行います。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
保証委託料の助成	14件	15件	29件

## 2 安全で安心な住まいづくりへの支援

### ●密集住宅市街地の環境整備（住宅政策課）

安全で安心な住環境の形成を図るため、地震時等に大規模な火災の発生の可能性のある密集市街地に耐震性貯水槽を整備します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
耐震性貯水槽の整備	地質調査	1基	1基

### ●耐震診断・耐震改修の助成（住宅政策課）

地震発生時の住宅の安全性向上を図るため、木造住宅や分譲マンションの耐震診断及び耐震改修に助成します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
耐震診断			
木造住宅	496戸	120戸	616戸
分譲マンション	667戸	3棟	823戸
耐震改修			
木造住宅	302戸	120戸	422戸
分譲マンション	設計163戸	設計3棟、工事3棟	設計319戸、工事156戸

## 3 市営住宅の整備

### ●市営住宅の整備（市営住宅の建替え）（住宅整備課）

市営住宅を計画的・効率的に再整備するため、老朽化した市営住宅の建替え等を行います。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
桜木町団地	実施設計	建築工事、道路整備	完了
宮野木町第2団地	基本設計	実施設計、建築・設備工事	完了
小倉台団地	基本計画	基本・実施設計、建築・設備工事	建築・設備工事
園生町第2団地	－	基本・実施設計	実施設計

### ●市営住宅の整備（市営住宅の改善）（住宅整備課）

市営住宅を長く使うため、「市営住宅長寿命化・再整備計画」に基づき、改善を行います。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
長寿命化型改善	外壁 4 団地	5 団地	9 団地
	屋上防水 5 团地	3 团地	8 团地
	給水設備 3 团地	3 团地	6 团地
	屋外排水升 一	3 团地	3 团地
福祉対応型改善	住戸改善 19 戸	24 戸	43 戸
	住宅内手摺 407 戸	630 戸	1,037 戸

## 4 住宅・住環境の充実

### ●地域再生支援（住宅政策課）

地域の居住環境の向上及び地域コミュニティの再生を図るため、一定の要件を満たす分譲マンションの建替えを行う管理組合等に対し、計画策定・設計・工事に要する経費の一部に助成します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
マンション管理組合等への助成	—	計画策定 1 件 第1期工事 1 件	第1期工事 1 件

### ●空き家対策の推進（住宅政策課）

多世代共生型の地域社会の構築を目指すため、居住者の高齢化の著しい団地などの空き家に若年世帯の流入を促進します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
地域コミュニティ活性化のための空き家有効活用支援	調査・研究	モデル事業 1 件	モデル事業 1 件

### ●太陽光発電設備等設置助成の推進（環境保全課）【再掲】

再生可能エネルギーの導入を支援し、環境にやさしいまちづくりを推進するため、住宅用太陽光発電設備や太陽熱利用給湯システム等の設置に助成します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
太陽光発電設備 (戸建)	2,699 件	2,100 件	4,799 件
(分譲マンション)	—	3 件	3 件
太陽熱利用給湯システム (住宅用)	34 件	30 件	64 件
(事業用)	—	3 件	3 件
家庭用燃料電池システム	245 件	900 件	1,145 件

## 4-2-5 生活基盤の充実

### 施策の展開

- ⊕ 通勤や通学、買い物など、市民生活を支える生活道路について、通行の安全性を確保するため、改良を進めます。
- ⊕ 汚水の排水処理については、今後、更新の時期を迎える污水管が急速に増加する見込みであり、老朽化による劣化や不具合に起因する道路陥没、これに伴う流下阻害を防止するため、ライフサイクルコストの観点を踏まえた適切な改築・更新を行います。
- ⊕ 市民の墓地需要に対応するため、平和公園の拡張整備を進めるとともに、斎場周辺の環境整備を行います。
- ⊕ 本市の保有する資産について、中長期的な視点に立ち、資産の利用状況を踏まえた複合化や集約化などの効率的な利用を進めるとともに、施設の保全について、施設の長寿命化や改修費用の縮減などの最適化を図ります。
- ⊕ また、人口構成や社会ニーズなど将来的な変化に適切に対応する市政運営の拠点として、防災拠点などの機能を併せ持つ、新庁舎整備を進めます。

### 計画事業

#### 1 生活道路等の整備

##### ●生活道路の整備（道路計画課、道路建設課）

生活道路の安全性・利便性の向上を図るため、道路を整備します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
調査・設計	7か所(26年度事業量)	12か所	12か所
用地取得	3か所(26年度事業量)	8か所	8か所
道路整備	4か所(26年度事業量)	7か所	7か所(供用開始7か所)

##### ●市道横戸町23号線の整備（道路建設課）

歩行者等の安全確保及び交通の円滑化を図るため、道路を整備します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
用地取得	2,524 m <sup>2</sup>	780 m <sup>2</sup>	
道路整備	—	440m	供用開始

##### ●狭あい道路の拡幅（建築指導課、維持管理課）

安全で良好な住環境の形成を図るため、寄付される道路後退用地内の壁の撤去費などの一部に助成するとともに道路を整備します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
狭あい道路の整備	13.3km	1.5km	14.8km

### ●舗装の新設（維持管理課）

生活道路の安全で快適な利用を図るため、舗装を新設します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
舗装の新設	1.1km (26年度事業量)	3.6km	3.6km

### ●舗装の改良（維持管理課）

道路の安全で快適な利用を図るため、舗装を改良します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
舗装の改良	12.7km (26年度事業量)	35.8km	35.8km

### ●側溝の新設（維持管理課）

雨天時の排水機能の確保と生活環境の向上のため、側溝を新設します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
側溝の新設	2.2km (26年度事業量)	4.7km	4.7km

### ●側溝の改良（維持管理課）

老朽化等による排水機能低下の防止や道路空間の有効活用のため、側溝を改良します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
側溝の改良	7.3km (26年度事業量)	19.1km	19.1km

### ●私道の整備助成（維持管理課）

道路利用者等の生活環境の向上を図るため、私道の舗装や排水施設の整備費の一部に助成します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
舗装及び排水施設整備助成	3件 (26年度事業量)	5件/年	15件

### ●都市計画道路新港横戸町線の関連道路整備（街路建設課）

地域の連携を支える地域高規格道路の整備に伴う環境保全を図るため、周辺の生活道路等を整備します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
用地取得	取得率 89%	28m <sup>2</sup>	28m <sup>2</sup>
道路整備	—	205m	205m

### ●都市計画道路美浜長作町線の関連道路整備（街路建設課）

都市計画道路美浜長作町線関連道路の安全性・利便性の向上を図るため、道路を整備します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
用地取得	取得率 56%	397m <sup>2</sup>	完了

## 2 下水道施設の整備

### ●汚水の排除（污水管渠の整備）（下水道建設課）

衛生的で快適な生活環境を整えるため、污水管渠の整備を推進します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
污水管渠の整備	12,262ha	20ha	12,282ha

### ●老朽化下水道施設の改築・更新（下水道再整備課、下水道施設建設課）

下水道施設の機能を適正に維持するため、老朽化した管渠及び処理場・ポンプ場を改築・更新します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
管渠	3km（26年度事業量）	32.7km	32.7km
処理場（機械・電気設備）	更新工事2か所 (26年度事業量)	2か所	2か所
ポンプ場（機械・電気設備）	更新工事8か所 (26年度事業量)	10か所	10か所

### ●下水道施設の適正な維持管理（施設の点検・補修）（下水道維持課）

良好な生活環境を守り、安定的な下水道サービスを市民に提供するため、下水道施設の調査・点検を推進します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
カメラ調査・点検	—	600km	600km
人孔蓋更新	—	420か所	420か所
草野水のみち護岸改良	1,363m	450m	1,813m

### ●下水道施設の耐震化（下水道再整備課、下水道施設建設課）【再掲】

地震発生時の下水道の流下機能を確保するため、管渠や処理場・ポンプ場の耐震化を推進します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
管渠の耐震化	15km（26年度事業量）	49.2km	49.2km
処理場の耐震化	2か所	2か所	2か所
ポンプ場の耐震化	18か所	1か所（減災工事）	1か所（減災工事）

### ● 浸水の防除（下水道計画課、下水道建設課、下水道営業課）【再掲】

浸水被害を軽減するため、雨水管渠や雨水浸透施設等を整備するとともに、市民による防水板等の設置費用の一部を助成します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
雨水管渠整備	2.3km (26年度事業量)	6.6km	6.6km
雨水浸透施設の整備	浸透枠 3,371個 浸透トレンチ 10,840m	209個 1,023m	3,580個 11,863m
雨水貯留施設等の設置助成	3,064件	535基	3,599基
防水板設置助成	21件	21件	42件

## 3 市営水道の整備等

### ● 水道事業の第3次拡張（水道事業事務所）

未給水区域の解消を図るため、配水管布設などを行います。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
配水管整備	1,360m	4,200m	5,560m

### ● 净水場の設備の更新（水道事業事務所）

安定給水を図るため、浄水場等の電気・機械設備を更新します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
平川浄水場電気・機械設備更新	電気・機械設備機能診断調査一式	長寿命化計画策定 実施設計、電気機械設備（受変電設備）	電気機械設備更新

### ● 上下水道料金の徴収一元化（下水道営業課）

上下水道料金の徴収一元化に向け、関係機関と協議し、システム開発を進めます。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
システム開発	仕様作成	システム開発、データ移行	料金徴収一元化

## 4 墓地・斎園環境の整備

### ● 平和公園の拡張・整備（生活衛生課）

墓地を安定的に供給するため、平和公園を拡張整備します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
A地区整備	立木伐採	立木伐採、基本設計見直し、実施設計	実施設計

### ●斎園周辺（斎場・平和公園）環境の整備（生活衛生課）

斎場及び平和公園周辺の良好な環境を整備するため、道路の整備・親水広場の整備や雑草除去を実施するとともに、公園緑地の整備の検討を進めます。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
道路整備	5路線供用	用地取得 3路線 道路整備 1路線 排水路整備 1路線	用地取得 3路線 道路整備 1路線 排水路整備 1路線
親水広場整備	用地取得	用地取得	用地取得

## 5 適正な資産経営等の推進

### ■公共施設等の総合的管理の推進（資産経営課）

公共施設等の管理を総合的かつ計画的に行うため、公共施設等の施設管理の基本的な考え方などを示す「公共施設等総合管理計画」を策定します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
公共施設等総合管理計画の策定	計画案の作成	策定	策定

### ●区役所の改修（市民サービス課）

安全で安心な市民利用を確保するため、区役所を改修します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
稻毛区役所空調熱源改修	設計	工事	工事
中央区役所・美術館消防用設備修繕	—	工事	工事

### ●新庁舎の整備（管財課）

老朽化や防災面などの課題に対応するため、新庁舎の整備を進めます。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
新庁舎整備	基本構想策定、基本計画案作成	事業手法等検討調査、執務室配置検討調査、基本設計、実施設計	実施設計

### ●道路施設の長寿命化（維持管理課）

道路施設の安全性を確保するため、長寿命化計画に基づき、道路施設の計画的な補修を行います。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
橋梁の補修	122橋	78橋	200橋
横断歩道橋の補修	13橋	20橋	33橋

### ●橋梁の耐震化（維持管理課）【再掲】

緊急時の輸送路や避難時の通行の安全を確保するため、橋梁の耐震補強を行います。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
耐震補強	107 橋	20 橋	127 橋

### ●市道三角町柏井町線（柏井橋）の橋梁架替（道路建設課）【再掲】

橋梁長寿命化修繕計画に基づき、高齢化している柏井橋を架け替えるため、橋梁を整備します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
橋梁架替	迂回道路供用 既設橋撤去	既設橋撤去 橋梁下部工、護岸工事	橋梁下部工完了

### ●主要地方道穴川天戸線（亥鼻橋）の橋梁架替（道路建設課）【再掲】

橋梁長寿命化修繕計画に基づき、高齢化している亥鼻橋を架け替えるため、橋梁を整備します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
橋梁架替	仮橋架設	迂回道路整備、既設橋撤去、橋梁下部工、護岸工事	橋梁下部工 工事

## 4-3 ひと・モノ・情報がつながる基盤をつくる

### 4-3-1 公共交通ネットワークの形成

#### 施策の展開

- ⊕ 本市の公共交通は、主に広域の移動を担うJR及び京成電鉄各線、モノレール及び複数の民間事業者によるバスが運行されています。これらの公共交通の利用者数は増加していますが、郊外部において利用者が減少している地域があり、減便や撤退が発生しています。一方、子どもや妊産婦、高齢者などの移動手段として公共交通への期待が高まっています。
- ⊕ 郊外部の交通不便地域における公共交通の維持・確保のため、地域参画型コミュニティバス等の導入支援を行うとともに、公共交通の利用促進とバス利用者の利便性向上のため、バスロケーションシステムなどの導入を促進します。
- ⊕ また、広域な鉄道ネットワークの接続改善により、東京都心などへのアクセス性の向上を図るために、鉄道事業者等と協議を行い、京葉線とりんかい線の相互直通運転の試行運行の実現を促進します。
- ⊕ さらに、鉄道駅から離れた郊外部の交通アクセス改善のため、パーク＆ライド方式の社会実験を行います。

#### 計画事業

##### ●バス活性化システムの整備（交通政策課）

公共交通の利便性を高めるため、バスロケーションシステムの導入を促進するとともに、バスロケーションシステム間の連携システムをバス事業者と共同で整備します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
バスロケーションシステム導入助成	1社	3社	4社
バスナビシステム整備	—	システム開発	システム運用

##### ●地域参画型コミュニティバス等導入の推進（交通政策課）

公共交通が不便な地域での移動手段を確保するため、地域主体によるコミュニティバス等の導入を促進します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
地域参画型コミュニティバス	—	モデル運行 1地区 (山王町)	モデル運行 1地区 (山王町)
パーク＆ライド社会実験	—	社会実験 (花見川区)	社会実験 (花見川区)

### ● JR京葉線・りんかい線の相互直通運転の促進（交通政策課）

鉄道交通の利便性の向上を図るため、JR京葉線と東京臨海高速鉄道りんかい線の相互直通運転の促進を図ります。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
相互直通運転の促進	協議会設置 利用実態調査	相互直通運転に向けた調査、試行運転	試行運転

### ● JR千葉駅建替えの促進（まちづくり推進課）【再掲】

千葉駅周辺の魅力向上と利便性の向上を図るため、JRとモノレールを連絡する通路などを整備します。また、千葉駅西口広場とJR千葉駅の駅ビルを接続するデッキの整備を促進します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
モノレール駅連絡通路の整備	モノレール駅舎設備改修設計	工事	供用開始
北部階段の整備	ボーリング工事	工事	供用開始
接続デッキの整備	工事（JR）	工事（JR）	供用開始

### ● モノレール千葉駅舎の改修（交通政策課）【再掲】

千葉駅利用者の利便性と快適性の向上を図るため、モノレール千葉駅舎の改修等を行います。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
モノレール千葉駅舎の改修	—	実施設計、工事	工事

### ● 鉄道駅の耐震補強（交通政策課）【再掲】

災害時における拠点機能の確保及び利用者の安全性の向上を図るため、鉄道駅における耐震補強を促進します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
耐震補強（橋脚）	242本	5本	完了（247本）

### ● モノレール施設の設備更新（交通政策課）

モノレールの安全な運行及び利便性の向上のため、モノレール施設の設備更新を行います。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
インフラ外施設	正電車線、自動火災報知機	正電車線、直流電源バッテリー	正電車線、直流電源バッテリー

**参加と連携** ~市民のみなさんの参加やつながりが「まちづくりの底力」です。 

#### 1 地域参画型コミュニティバス等

一部地域においては、地域住民の参画により、経費負担のあり方も含めたコミュニティバス等の運行が検討されています。公共交通の維持が困難な地域への対応は、本市の交通政策にとって重要な課題であることから、地域住民や交通事業者との連携・協働や、地域住民等の経費負担のあり方を検討していきます。➡交通政策課（043-245-5352）

## 4-3-2 道路ネットワークの形成

### 施策の展開

- ⊕ 本市の幹線道路網は、千葉都心部を中心とした放射環状道路で構成されていますが、いまだ未整備区間が多く、ネットワーク化が不十分であることから、交通渋滞が発生し、都市活動に影響を及ぼしています。
- ⊕ このため、交通の整流化や地域間の連携強化を図るとともに、地域のまちづくりの観点から、広域ネットワーク及び市内ネットワークの形成を図る道路整備を進めます。
- ⊕ 都市計画道路の整備率は約70%となっていますが、都市計画決定から長期にわたって未整備のままとなっている都市計画道路が存在します。時代の変遷とともに、その役割が変化していることから、都市交通のあり方を検討し、都市計画道路の見直しを進めます。



主要地方道千葉鎌ヶ谷松戸線

### 計画事業

#### 1 広域道路ネットワークの整備

##### ● 国道の整備（国道直轄事業負担金）（道路計画課）

道路の渋滞緩和や安全対策を図るために、国が管理する市内の国道の整備（国道357号湾岸千葉地区改良など）を促進します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
国道357号湾岸千葉地区改良	地下立体化及び平面改良工事	地下立体本線及び平面改良工事	供用開始
〃（蘇我地区）	調査	調査	調査
国道51号北千葉拡幅	一部供用	調査・設計、用地取得、工事	工事
国道51号バイパス木更津アクセスマ	調査	調査	調査

##### ● 主要地方道浜野四街道長沼線（大井戸工区）の整備（道路建設課）

交通の円滑化や地域間の連絡強化を図るとともに、震災時の緊急輸送を確保するため、バイパス道路を整備します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
道路整備	470m	下田大橋上部工工事 530m	供用開始

●都市計画道路塩田町誉田町線（誉田町）の整備（街路建設課）

地域間の連絡強化及び交通の円滑化を図るため、道路の整備を行います。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
用地取得	取得率 38%	1,089 m <sup>2</sup>	取得率 41%

●主要地方道千葉鎌ヶ谷松戸線の整備（街路建設課）

幕張新都心や武石インターチェンジへのアクセス強化を図るとともに、震災時の緊急輸送を確保するため、道路を整備します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
用地取得	取得率 94%	619 m <sup>2</sup>	供用開始
道路整備	470m	390m	

●都市計画道路村田町線沿道地区の整備（街路建設課）

周辺都市との連絡強化等を図るため、道路を整備します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
村田町線	用地取得率 82%	用地取得 1,839 m <sup>2</sup>	取得率 92%
関連道路	用地取得率 18% 道路整備 一	384 m <sup>2</sup> 310m	取得率 83% 310m

●都市計画道路幕張町弁天町線（弥生地区）の整備（街路建設課）

快適で利便性の高い道路交通体系を確立するため、道路を整備します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
道路整備	1,400m	220m 擁壁築造	1,620m

## 2 環状道路の整備

●都市計画道路磯辺茂呂町線（園生町）の整備（街路建設課）

千葉都心部への通過交通の流入抑制による交通渋滞の緩和を図るため、環状道路を整備します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
用地取得	取得率 24%	6,070 m <sup>2</sup>	取得率 64%
道路整備	一	橋梁上部工架設工事	橋梁整備

●都市計画道路塩田町誉田町線（塩田町）の整備（街路建設課）

蘇我副都心と千葉東南部とのアクセス強化とともに千葉都心部への通過交通の流入抑制による交通渋滞の緩和を図るため、地域高規格道路を整備します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
用地取得	取得率 24%	7,088 m <sup>2</sup>	取得率 45%

### 3 都市内幹線道路ネットワークの整備

#### ●都市計画道路大膳野町誉田町線の整備（街路建設課）

千葉東南部や周辺都市との連絡強化を図るため、道路を整備します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
用地取得	取得率 95%	484 m <sup>2</sup>	供用開始
道路整備	192m	240m	

#### ●市道誉田町平山町線の整備（道路建設課）

大宮インターチェンジへのアクセス強化や歩行者の安全確保を図るため、道路を整備します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
用地取得	5,080 m <sup>2</sup>	430 m <sup>2</sup>	供用開始
道路整備	340m	760m	

#### ●都市計画道路南町宮崎町線沿道地区の整備（街路建設課）

地域間の連絡強化及び交通の円滑化を図るため、道路を整備します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
用地取得	取得率 91%	897 m <sup>2</sup>	完了
道路整備	200m	220m	420m

#### ●都市計画道路中央赤井町線（鶴の森町）の整備（道路計画課）

国道16号との接続による道路ネットワークの形成を図るとともに、地域交通の利便性と安全性を確保するため、道路を整備します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
調査・設計	—	調査・設計	調査・設計

#### ●市道横戸町23号線の整備（道路建設課）【再掲】

歩行者等の安全確保及び交通の円滑化を図るため、道路を整備します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
用地取得	2,524 m <sup>2</sup>	780 m <sup>2</sup>	供用開始
道路整備	—	440m	

### 4 拠点アクセス道路の整備

#### ●都市計画道路美浜長作町線（県事業負担金）の整備（街路建設課）

周辺都市との連絡強化及び交通の円滑化を図るため、道路の整備を促進します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
道路整備	用地取得	用地取得、道路整備	道路整備

### ●都市計画道路誉田駅前線の整備（街路建設課）

J R 誉田駅へのアクセス強化や歩行者の安全確保を図るため、道路を整備します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
用地取得	取得率 17%	1,520 m <sup>2</sup>	取得率 32%

### ●市道平川町30号線の整備（道路建設課）

地域間の連絡強化及び交通の円滑化を図るため、道路を整備します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
調査・設計	—	調査・設計	調査・設計完了

### ●市道川戸町54号線の整備（道路建設課）

地域間の連絡強化及び交通の円滑化を図るため、道路を整備します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
調査・設計	—	調査・設計	調査・設計

### ●市道若松町金親町線（千城台東工区）の整備（道路建設課）【新規】

地域間の連絡強化及び交通の円滑化を図るため、道路を整備します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
調査・設計	—	調査・設計	調査・設計完了
用地取得	—	1,700 m <sup>2</sup>	1,700 m <sup>2</sup>

## 5 ボトルネックの改善

### ●県道幕張八千代線（実粋4号踏切）の整備（県事業負担金）（街路建設課）

地域交通の利便性と安全性を確保するため、踏切の除却（立体交差化）を促進します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
道路整備	道路整備	道路整備	2車線暫定供用

### ●主要地方道千葉大網線（土気駅北口）の整備（道路建設課）【再掲】

歩行者の安全確保及び慢性的な渋滞緩和を図るため、歩道の整備及び交差点の改良を行います。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
用地取得	600 m <sup>2</sup>	1,080 m <sup>2</sup>	1,680 m <sup>2</sup> (取得率 73%)

### ●都市計画道路中央星久喜町線（亥鼻）の整備（道路計画課）

交通の円滑化と歩行者の安全確保を図るため、道路を整備します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
道路整備（旭橋交差点～郷土博物館入口交差点）	調査・設計	調査・設計 用地取得 269 m <sup>2</sup>	調査・設計完了 用地取得 269 m <sup>2</sup> (取得率 40%)
道路整備（郷土博物館入口交差点～西千葉稻荷町線）	—	調査・設計	道路線形の決定

### ●市道幕張町215号線（花立踏切）の整備（街路建設課）

地域交通の利便性と安全性を確保するため、踏切を除却するための道路を整備します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
道路整備	詳細設計	関係機関等との調整 立体交差化工事	立体交差化工事

### ●交差点の改良（道路計画課、道路建設課）【再掲】

交通事故の減少及び渋滞の緩和を図るため、交差点を改良します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
調査・設計	3か所(26年度事業量)	11か所	11か所
用地取得	1か所(26年度事業量)	7か所	7か所
整備	2か所(26年度事業量)	7か所	7か所(供用開始7か所)

## 6 道路ネットワークの再構築

### ■都市計画道路の見直し（都市計画課）

社会情勢の変化等を踏まえた都市計画とするため、都市計画道路の長期未整備路線の見直しを行います。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
都市計画道路の見直し	都市計画変更手続き	都市計画変更	都市計画変更

### ●道路交通実態の調査（道路計画課）

渋滞箇所など道路交通の実態をデータで把握し、渋滞対策などの計画立案に活用するため、道路交通情報管理システムを管理・運用します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
道路交通情報管理システムの運用・管理	運用及び保守・管理	運用及び保守・管理	運用及び保守・管理

## 4-3-3 人にやさしい移動環境の創出

### 施策の展開

- 超高齢社会を迎えるにあたり、市民生活のあらゆる場面、特に公共・公益施設のバリアフリー化に対するニーズが一層高まっています。
- 高齢者や障害のある人など、すべての人の移動の円滑化を図るために、鉄道駅から主要施設までの経路など、まちなかの連続的なバリアフリー化や歩道の整備を進めるとともに、駅構内や建物のバリアフリー化を図るなど、すべての人々にやさしい、一体的で連続的な移動空間の形成を図ります。

### 計画事業

#### ● 鉄道駅バリアフリー化の推進（交通政策課）

鉄道駅の利用を円滑にするため、エレベータ等の設置を促進します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
京成電鉄の駅（利用客 3～5千人/日）のバリアフリー化	8駅	2駅	完了

#### ● 多機能トイレの整備（モノレール）（交通政策課）

モノレール駅のバリアフリー化を進めるため、多機能トイレ等を整備します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
モノレール駅多機能トイレ	2駅	3駅	5駅

#### ● 歩道の改良（維持管理課）

歩行者等の安全確保を図るために、歩道の段差解消など、歩道のバリアフリー化を行います。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
歩道の段差解消	14,815か所	193か所	15,008か所
視覚障害者誘導用ブロック	68.5km	54.7km	123.2km

#### ● 市道天戸町横戸町線の整備（道路建設課）

歩行者等の安全確保を図るために、道路を整備します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
用地取得	69m <sup>2</sup>	4,019m <sup>2</sup>	完了
設計	—	980m	980m

#### ● 主要地方道千葉大網線（土気駅北口）の整備（道路建設課）

歩行者の安全確保及び慢性的な渋滞緩和を図るために、歩道の整備及び交差点の改良を行います。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
用地取得	600m <sup>2</sup>	1,080m <sup>2</sup>	1,680m <sup>2</sup> （取得率73%）

### ●蘇我駅周辺地区の整備（まちづくり推進課）【再掲】

蘇我副都心の交通結節機能を高めるため、蘇我駅東口駅前広場の整備を推進します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
東口駅前広場整備	基本設計	道路・交差点予備設計他	道路・交差点予備設計他

### ●生活道路の整備（道路計画課、道路建設課）【再掲】

生活道路の安全性・利便性の向上を図るため、道路を整備します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
調査・設計	7か所(26年度事業量)	12か所	12か所
用地取得	3か所(26年度事業量)	8か所	8か所
道路整備	4か所(26年度事業量)	7か所	7か所(供用開始7か所)

### ●踏切道の安全対策（維持管理課）【再掲】

踏切事故防止のため、踏切内に歩道を設置します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
踏切道の改良	1か所(26年度事業量)	1か所	1か所

### ●電線共同溝の整備（維持管理課）【再掲】

安全で快適な歩行空間の確保及び防災機能の向上を図るため、電線類の地中化を行います。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
電線共同溝整備	49.0km	1.3km	50.3km

### ●自転車走行環境の整備（自転車対策課）【再掲】

安全で快適な自転車走行環境を創出するため、自転車レーン等を整備します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
自転車レーン等の整備	13.9km	23.8km	37.7km

### ●放置自転車対策の推進（自転車対策課）【再掲】

放置自転車を減らすため、自転車等の駐車対策総合計画を見直すとともに、電磁ロック式自転車ラックや監視カメラの設置を進めます。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
自転車等の駐車対策に関する総合計画の見直し	—	見直し	見直し
電磁ロック式自転車ラックの導入	117台	724台	841台
監視カメラ設置	18基	91基	109基

**●自転車によるまちづくりの推進（政策企画課）【再掲】**

安全で快適な走行環境や新たなまちづくりなど、自転車によるまちづくりを総合的に推進するため、市民や団体、企業等と連携し、自転車まちづくり基本方針や自転車まちづくり条例を制定します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
自転車まちづくり基本方針の策定	素案作成	策定	策定
自転車まちづくり条例の制定	—	制定	制定

## 4-3-4 ICTを活かした利便性の向上

### 施策の展開

- ⊕ 人口減少や少子超高齢社会など人口構造の変化や、厳しい財政見通しのもと、多様化・複雑化する市民ニーズに的確に対応し、市民サービスの向上や行政の効率化を図るために、ICTを活用した行政情報化や業務の見直しが必要不可欠となっています
- ⊕ ICTによる市民サービスの向上を図るために、滞在時間が最少の区役所、来庁せずとも手続が完了する区役所を目指す窓口改革や、証明書のコンビニ交付などを進めるとともに、保有するビッグデータの分析や社会保障・税番号制度などの仕組みを活用し、市民の利便性の向上や新たな価値の創造を実現する取組みを推進します。また、行政サービスの受給漏れなどを防ぐため、市のホームページ等を確認しなくても、自分が希望する制度やイベントをお知らせするプッシュ型サービスを導入します。
- ⊕ ICTによる業務効率化と行政コスト縮減を図るために、全体最適の視点から個々の業務を見直す業務プロセス改革を推進するとともに、庶務事務等について最少のコストと人員による効率的な執行を目指すシステムを導入するほか、情報システム基盤についてクラウドコンピューティングなどを活用するなど、財政負担の少ないシステムへの転換を図ります。
- ⊕ これらの取組みを推進することにより、市民にとって最適な手續ができる、市民と最適なコミュニケーションを図ることができる市役所像を作るとともに、その成果を、行政サービスの新しいあり方として全国に積極的に発信していきます。

### 計画事業

#### 1 ICT活用による市民サービスの向上

##### ●区役所窓口改革の推進（業務改革推進課）

区役所における窓口手続の改善や行政コストの縮減を図るために、区役所にワンストップ窓口を設置します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
区役所窓口改革の推進	システム開発基本計画策定	システム開発・運用、総合窓口設置	総合窓口 運用開始

##### ●証明書のコンビニ交付及び自動交付機の整備（市民サービス課）

市民の利便性向上と窓口業務の効率化を図るために、証明書のコンビニ交付を開始するとともに、各区役所に自動交付機を設置します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
コンビニ交付システムの導入	－	システム整備・運用	運用開始
自動交付機の設置	－	設置	運用開始

### ●公共施設予約システムの整備（業務改革推進課）

公共施設の利用者の利便性の向上を図るため、公共施設予約システムを更新するとともに導入施設を拡大します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
公共施設予約システム導入 施設の拡大	69 施設導入	51 施設増	120 施設導入
公共施設予約システムの更新	—	システム更新・運用	運用

### ●電子申請システムの整備（業務改革推進課）

市民の利便性の向上を図るため、電子申請システムを更新します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
電子申請システムの更新	—	システム更新・運用	システム運用

### ●社会保障・税番号制度導入に伴うサービスの実施（業務改革推進課）

市民の利便性向上及び行政運営の効率化を図るため、社会保障・税番号制度の個人番号カードを活用した新たなサービスを提供します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
個人番号カードの活用	サービス内容の検討	実現可能性調査	サービスの選定

### ●オープンデータの推進・ビッグデータの活用（業務改革推進課）

市民サービスの向上及び新たなサービス創出を図るため、公共データを一般公開するオープンデータを推進するとともに、ビッグデータを活用します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
オープンデータ活用事例の創出	8件	30件	38件
税額明示と使用用途の公開 サービス及び行政コストの可視化サービス	検討・調査	開発・運用	運用
ビッグデータの活用	分析（試行）	分析結果を活用した市民サービスの実施	市民サービスの実施

### ■「あなたにお知らせサービス」の導入（業務改革推進課）

ICTを活用した市民サービスの向上を図るため、希望する市政情報等をメール配信する「あなたにお知らせサービス」を開始します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
「あなたにお知らせサービス」の導入	サービス仕様検討	システム開発・運用	運用開始

### ●図書館システムの改修（中央図書館管理課）【再掲】

社会の変化や利用者ニーズに合わせた、新しい図書館サービスの提供を図るため、図書館システムを再構築します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
図書館システムの改修	現行システム稼働	新システム構築・運用	新システムの運用

### ●ICTを活用した救急業務の推進（救急課）【再掲】

医療機関への収容時間の短縮や救命率の向上及び後遺症の軽減を図るため、救急情報共有システムを整備します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
救急情報共有システムの整備	実証実験	救急情報共有端末設置・システムの運用	運用

## 2 システム運用の効率化とコスト縮減

### ●業務プロセス改革の推進（内部管理システムの導入）（情報システム課）

内部事務に係る効率化と意思決定の迅速化を図るため、財務会計・文書管理システムを再構築とともに、他システムからも利用可能な電子決裁基盤を導入します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
財務会計・文書管理システムの再構築、電子決裁基盤の導入	開発基本計画策定	システム開発・運用	運用

### ●庶務事務改革の推進（給与課）

市の業務効率化を図るため、庶務事務システム導入により、庶務業務のあり方・進め方を見直します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
庶務事務システムの開発・運用	新業務フロー検討、開発基本計画の作成	システム開発	システム運用

### ●住民情報系システムの再構築（情報システム課）

財政負担の少ないシステムへの転換を図るため、住民情報系システムの再構築を行います。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
第1期（業務共通・介護保険、税務）システム	業務共通及び介護保険システム 運用 税務システム開発	税務システム開発	運用
第2期（福祉）システム	開発	開発	運用
第3期（住民記録、国民健康保険）システム	開発基本計画策定	開発	運用

### ●情報システムの最適化（業務改革推進課）

情報システムの最適化計画に基づき、庁内情報システムの統合サーバへの集約及びクラウドサービスの活用を進めます。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
統合サーバの更新	—	更新実施計画策定	更新実施計画策定
統合サーバ集約	23システム	22システム	45システム
クラウドサービス活用	8システム	1システム	9システム

### ●庁内ネットワークシステムの更新（情報システム課）

ICTを活用した行政事務の効率化と市民サービスの向上を図るため、庁内の情報通信基盤を更新します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
新システム構築	—	構築計画策定	構築計画策定

### ●選挙事務のIT化（投票管理システムの導入）（選挙管理委員会事務局）【新規】

投票事務の効率化を図るため、投票管理システムを導入します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
投票管理システムの導入	—	導入	導入

## 方向性5

ひとが集い働く、  
魅力と活力にあふれるまちへ



### 施策体系

#### 5-1 都市の魅力を高める

- 5-1-1 3都心などの魅力向上
- 5-1-2 都市の国際性の向上
- 5-1-3 観光の振興と魅力の創出・発信

#### 5-2 地域経済を活性化する

- 5-2-1 産業の振興
- 5-2-2 新事業の創出
- 5-2-3 商業・サービス産業の振興
- 5-2-4 物流・港湾機能の強化
- 5-2-5 勤労者の支援と雇用の創出

#### 5-3 都市農林業を振興する

- 5-3-1 新鮮で安全・安心な農畜産物の安定供給
- 5-3-2 安定した農業経営体の育成
- 5-3-3 農村と森林の持つ多面的機能の活用

## 5-1 都市の魅力を高める

### 5-1-1 3都心などの魅力向上

#### 施策の展開

- 千葉都心については、JR千葉駅や駅ビルの建替えが進んでおり、県都の玄関口にふさわしい魅力ある空間の創出や、地域経済の活性化、雇用の創出などが期待されています。
- 千葉都心全体の将来像や方向性を示すグランドデザインに基づき、活性化施策を推進するとともに、千葉駅西口に新たな賑わいを創出するため民間活力による再開発を進めるほか、千葉駅東口駅前の民間再開発を促進するなど、一層の機能充実や魅力の向上を図ります。
- また、千葉駅周辺の活性化にとどまらず、歴史的資産を生かした特色あるまちづくりや中心市街地の回遊性の向上などを通じ、魅力ある千葉都心の形成を図ります。
- 幕張新都心については、幕張メッセをはじめ、業務研究ビルや教育・研究施設、ホテル・商業施設及び住宅整備など、「職・遊・学・住」の複合機能の集積が進み、就業者・居住者・就学者及び新都心への来訪者を合わせると、日々約26万人が活動するまちとなっています。幕張新都心の魅力を高め、交流人口の増加を図るため、公共空間を活用した民間活力による賑わいの向上や国際性豊かな住宅開発を促進するとともに、海辺も含めた新都心全体の回遊性の向上を図る取組みを進めます。
- 蘇我副都心については、民間による事業などの誘導などにより、整備された土地の有効活用を図るとともに、フクダ電子アリーナやジェフユナイテッド市原・千葉などのスポーツをテーマとした効果的なまちづくりを進めます。



千葉駅モノレール連絡通路

#### 計画事業

##### 1 千葉都心の育成・整備

###### ●千葉駅周辺の活性化の推進（まちづくり推進課）

千葉都心全体の将来像や取組みの方向性を示すため、千葉駅周辺の活性化グランドデザインを策定するとともに、グランドデザインに基づき、まちづくりを推進します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
グランドデザインに基づく取組み	グランドデザイン (案)の作成	グランドデザイン策定 西銀座地区等の整備 基本構想	グランドデザイン策定 西銀座地区等の整備 基本構想
中央公園・通町公園の見直し・拡充	—	整備検討	整備検討

### ● JR千葉駅建替えの促進（まちづくり推進課）

千葉駅周辺の魅力向上と利便性の向上を図るため、JRとモノレールを連絡する通路などを整備します。また、千葉駅西口広場とJR千葉駅の駅ビルを接続するデッキの整備を促進します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
モノレール駅連絡通路の整備	モノレール駅舎設備改修設計	工事	供用開始
北部階段の整備	ボーリング調査	工事	供用開始
接続デッキの整備	工事（JR）	工事（JR）	供用開始

### ● モノレール千葉駅舎の改修（交通政策課）【新規】

千葉駅利用者の利便性と快適性の向上を図るため、モノレール千葉駅舎の改修等を行います。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
モノレール千葉駅舎の改修	—	実施設計、工事	工事

### ● 千葉駅西口地区第二種市街地再開発（B工区）（まちづくり推進課）【再掲】

千葉都心の土地の高度利用と建築物の機能更新のため、医療などの機能を駅前に導入するとともに、新たな賑わいを創出する再開発ビルの整備を進めます。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
再開発ビルB棟の整備	都市計画変更協議	工事	供用開始
公共施設整備	公共施設管理者との協議	Eデッキ桁製作、下水道工事、新千葉公園整備工事	供用開始

### ● 千葉駅東口地区第一種市街地再開発（まちづくり推進課）【再掲】

千葉都心の土地の高度利用と建築物の機能更新のため、千葉駅東口地区の第一種市街地再開発を促進します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
再開発ビル整備助成	関係者協議	整備助成	整備助成
公共施設整備（駅前広場改修など）	関係者協議	駅前広場改修	駅前広場改修

### ● 中心市街地活性化の推進（まちづくり推進課）

中心市街地の活性化を図るため、主要公共施設や観光施設などに関する分かりやすい案内板を設置します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
案内板整備	34基	5基	39基

### ●千葉中央港地区まちづくりの推進（まちづくり推進課）【再掲】

都心の機能強化や海を活かしたまちづくりを推進するため、旅客船さん橋等を整備するとともに、旅客船の運航実験を行います。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
旅客船ふ頭の整備	埋立（第1期）	桟橋1基整備、港びらき 港湾整備（第2期）	一部供用開始
公園緑地整備	実施設計	工事	一部供用開始
旅客船の運航実験	27回	9回	36回

## 2 幕張新都心の整備

### ●幕張新都心賑わいの向上（政策企画課）【新規】

幕張新都心の魅力を高め、交流人口の増加を図るため、「幕張新都心都市再生整備計画」を策定し、民間活力による賑わい向上に取り組みます。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
都市再生整備計画の策定	—	策定	策定
賑わい向上の取組み	—	実施	実施

### ■幕張新都心における住宅整備促進（政策企画課）

「職・住・学・遊」の複合機能が集積した、国際性豊かなまちづくりを推進するため、若葉住宅地区等の土地分譲を促進します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
若葉住宅地区の整備促進	土地分譲事業者決定	土地分譲	土地分譲
幕張ベイタウンの整備促進	9,092戸	308戸	9,400戸

### ●QVCマリンフィールドの充実（施設の充実）（公園管理課）

QVCマリンフィールドの来場者の安全性や快適性の向上のため、施設の改修を行います。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
施設更新	中央監視装置・音響 システムの改修、 観客用トイレ改修	身障者席増設 実施設計、スコアボード改修、 バックネット交換、 夜間フィールド照明灯 改修 実施設計 中継モニター交換	身障者席増設 実施設計、スコアボード改修、 バックネット交換、 夜間フィールド照明灯 改修 実施設計 中継モニター交換

### ●幕張新都心コミュニティサイクルの社会実験（政策企画課）

幕張新都心の回遊性などの向上のため、「コミュニティサイクル」に関する調査を行います。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
コミュニティサイクルに関する調査	社会実験	調査	調査

### ●海辺の活性化（海浜公園及び人工海浜）（緑政課、美浜公園緑地事務所）【再掲】

海辺の活性化を推進するため、イベントを開催するとともに、回遊性向上のため、自転車走行案内板を設置します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
幕張海浜公園の活性化	防風林再生 調査	イベント開催 防風林再生 実証実験	イベント開催 防風林再生 実証実験
回遊性の向上	—	自転車走行案内板設置	自転車走行案内板設置

## 3 蘇我副都心の整備

### ●蘇我駅周辺地区の整備（まちづくり推進課）

蘇我副都心の交通結節機能を高めるため、蘇我駅東口駅前広場の整備を推進します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
東口駅前広場整備	基本設計	道路・交差点予備設計他	道路・交差点予備設計他

### ●公園緑地の整備（公園建設課）【再掲】

本市のスポーツ・レクリエーション及び広域的な防災の拠点とするため、蘇我スポーツ公園の整備を進めます。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
蘇我スポーツ公園	供用 30.7ha 用地取得 22.8ha	施設整備（第4工区） 4.6ha	供用 36.9ha 27.4ha

### ●フクダ電子アリーナの充実（公園施設の充実）（公園管理課）

フクダ電子アリーナの競技環境を改善するため、フィールドの芝生の張替えの準備を行います。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
施設改修	—	フィールド芝の圃場づくり	フィールド芝の圃場づくり

**参加と連携** ~市民のみなさんの参加やつながりが「まちづくりの底力」です。



#### 1 中心市街地活性化の推進

中心市街地に賑わいを創出するため、中心市街地まちづくり協議会（商工会議所）などとともに、地元主導による各種イベント開催を支援します。

☎産業支援課（043-245-5277）

## 5-1-2 都市の国際性の向上

### 施策の展開

- 本市は、人口や経済の集積規模において、東京を中心とした大都市圏に位置し、成田国際空港に近い立地特性や、幕張メッセなど国際コンベンション機能を有する強みがあります。
- こうした圏域としての魅力や特色を最大限活用し、新たな需要や雇用を生み出す産業を育成するなど、国内のみならず、海外からもビジネスや生活の場として選ばれ、グローバルに業務を展開する企業活動を可能とする環境整備を進めます。
- MICE誘致については、MICE開催地としての魅力や誘致競争力の向上を図るため、国際会議に加えコンベンションを開催する主催者に対し助成するとともに、来訪者の快適な滞在環境を整備します。

### 計画事業

#### ● MICEの推進（集客観光課）

地域経済の活性化や幕張新都心の賑わいの創出を図るため、国際会議やコンベンション開催に助成するとともに、イベント開催に伴う観光PRや来訪者へのおもてなし環境を整備します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
国際会議助成	3件	7件	10件
コンベンション等助成	助成制度改正	10件	10件
来訪者の滞在環境の整備	公衆無線LAN環境整備 2か所	来訪者おもてなし環境の整備	来訪者おもてなし環境の整備
レッドブル・エアレース千葉 2015 開催に合わせた観光PR	—	実施	実施

#### ■ 次期国際化推進プランの策定（国際交流課）【再掲】

本市における国際化施策を総合的に推進するため、次期国際化推進プランを策定します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
次期国際化推進プランの策定	—	策定	策定

#### ■ 姉妹・友好都市との交流推進（国際交流課） 【再掲】

姉妹・友好都市と経済・観光・文化などの分野において、より発展的な関係を築くため、交流事業を行います。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
姉妹・友好都市交流	1市(26年度事業量)	7市	7市
青少年交流	3市(26年度事業量)	3市	3市

●国際交流ボランティアリーダーの育成（国際交流課）  【新規】【再掲】

本市の国際化を推進するため、国際交流ボランティアリーダーを発掘・育成します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
国際交流ボランティアリーダー会議の開催	—	3回/年	3回/年
国際交流ボランティア講座の開催	—	1コース/年	1コース/年

## 5-1-3 観光の振興と魅力の創出・発信

### 施策の展開

- ⊕ 人口の東京都心回帰や都市間競争が活発化する中、本市に住んでみたい・訪れてみたいと感じてもらうためには、本市の魅力を最大限引き出し、東京とは異なる価値観を提示できる都市づくりを進める必要があります。そのため、東京と房総半島の中間に位置するとともに、都市部と田園部の両面を持ち、自然や歴史・文化など、様々な魅力を有する本市固有の都市イメージの基礎となる「都市アイデンティティ（千葉市らしさ）」を確立するとともに、中長期的な視点で戦略的な施策展開を図ります。
- ⊕ 集客観光の推進については、メディアを活用して、ターゲットを意識したより訴求性の高い情報発信や旅行商品の開発を進めるとともに、本市が成田、羽田両空港から近距離にあることやMICE開催地としての幕張新都心などの受入れ環境を生かし、主に東南アジアからの観光客を対象とした観光資源の開発やセールス活動を進めます。
- ⊕ 2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて、オールジャパンの一員として大会成功への積極的な連携・協力と、スポーツ文化の普及・発展、市内への集客・宿泊の最大化、本市の知名度の向上など、本市のより一層の発展につなげる観点から、取組みを推進します。



### 計画事業

#### 1 都市アイデンティティの確立と魅力づくり

##### ●都市アイデンティティの確立（政策調整課）

住んでみたい・訪れてみたいと感じてもらえる都市を目指し、本市固有の都市アイデンティティを確立するとともに、本市の魅力向上につながる効果的なプロモーションを行います。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
都市アイデンティティの確立	調査	戦略プラン策定、広報・プロモーション	戦略プラン策定、広報・プロモーション

### ●千葉中央港地区まちづくりの推進（まちづくり推進課）【再掲】

都心の機能強化や海を活かしたまちづくりを推進するため、旅客船さん橋等を整備するとともに、旅客船の運航実験を行います。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
旅客船ふ頭の整備	埋立（第1期）	桟橋1基整備、港びらき 港湾整備（第2期）	一部供用開始
公園緑地整備	実施設計	工事	一部供用開始
旅客船の運航実験	27回	9回	36回

### ●稲毛海浜公園の再整備（緑政課、公園管理課、美浜公園緑地事務所、公園建設課）【再掲】

海辺の活性化を推進するため、活性化グランドデザインを策定するとともに、稲毛海浜公園の再整備を進めます。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
海辺の活性化グランドデザインの策定	案作成	策定	策定
再整備	基本計画（案）作成	基本計画策定、基本設計（全体）、実施設計・工事（一部エリア）	工事（一部エリア）
施設改修	—	施設長寿命化計画策定	施設長寿命化計画策定

### ●海辺の活性化（海浜公園及び人工海浜）（緑政課、美浜公園緑地事務所）【再掲】

海辺の活性化を推進するため、イベントを開催するとともに、回遊性向上のため、自転車走行案内板を設置します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
幕張海浜公園の活性化	防風林再生 調査	イベント開催 防風林再生 実証実験	イベント開催 防風林再生 実証実験
回遊性の向上	—	自転車走行案内板設置	自転車走行案内板設置

### ●動物公園の展示のリニューアル（動物公園）【再掲】

市民に身近な集客観光施設として、動物公園の再生を図るため、ゾーニングの見直しや動物の再配置・新規導入等を進めます。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
子どもゾーンの整備	基本・実施設計	工事	供用開始
平原ゾーンの整備	ライオン等展示場 実施設計 チーター等展示場 —	工事 実施設計	供用開始 実施設計
ウェルカム動物展示場の整備	—	実施設計（正門）	実施設計（正門）

### ■サイクルツーリズムの推進（集客観光課）

自転車を通じた観光振興を図るため、サイクルツーリズムを推進します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
サイクルツーリズムの推進	推進計画策定	ルート設定、サイクリスト受入体制の構築、県サイクルツーリズム広域連携事業への参加	サイクリングコースの公表

### ●若葉区若年世代定住化の促進（若葉区役所地域振興課）【新規】

若年世代の定住化を促進するため、若葉区の自然や農業を活かした子育て支援の調査と普及啓発を推進します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
若葉区子育てサポート支援	－	活動紹介・普及啓発 自然と農を活かした子育て支援マッチング調査、サポート活動立上げ支援 2団体	サポート活動立上げ支援 2団体

## 2 集客プロモーションの推進

### ●集客プロモーションの推進（集客観光課）

新たな観光需要の創出など、集客観光を推進するため、メディアを通じた情報発信や旅行商品の開発を進めます。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
情報発信機能の充実強化	観光情報サイトリニューアル、観光PR大使の活用	観光情報サイトの充実、観光PR大使の活用	観光情報サイトの充実、観光PR大使の活用
インバウンドの推進	海外セールス	海外セールス	海外セールス
市内旅行商品の開発	体験型ツアー	商品開発、集客キャンペーン	商品開発、集客キャンペーン

### ●若葉区の魅力発信（若葉区役所地域振興課）



豊かな自然環境や歴史・文化、農業など若葉区の地域資源の魅力を区民一人ひとりにPRするため、区民参加による情報発信を進めます。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
中学生が作るホームページ	中学校 4校	4校	8校

### ● 美浜区の魅力発信（美浜区役所地域振興課）

効果的に美浜区の魅力を発信するため、人財バンクを活用したスクールの開催や、区ホームページの活用による地域資源の情報発信を行います。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
人財バンクを活用したスクールの開催	3回/年	3回/年	3回/年

### ● MICEの推進（集客観光課）【再掲】

地域経済の活性化や幕張新都心の賑わいの創出を図るため、イベント開催に伴う観光PRや来訪者へのおもてなし環境を整備します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
来訪者の滞在環境の整備	公衆無線LAN環境整備 2か所	来訪者おもてなし環境の整備	来訪者おもてなし環境の整備
レッドブル・エアレース千葉 2015 開催に合わせた観光PR	—	実施	実施

## 3 東京オリンピック・パラリンピック開催に向けた取組み

### ● 事前キャンプ誘致の推進（政策調整課）【新規】

事前キャンプ誘致に向けて、本市の施設等を国内外へ効果的にアピールします。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
事前キャンプ誘致の推進	—	パンフレット・ホームページ作成、誘致PR活動	パンフレット・ホームページ作成、誘致PR活動

### ● 国際交流ボランティアリーダーの育成（国際交流課） 【新規】【再掲】

本市の国際化を推進するため、国際交流ボランティアリーダーを発掘・育成します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
国際交流ボランティアリーダー会議の開催	—	3回/年	3回/年
国際交流ボランティア講座の開催	—	1コース/年	1コース/年

●障害者スポーツの推進（スポーツ振興課）【再掲】

障害者スポーツを推進するため、障害者スポーツ指導員の資格取得の支援などを行います。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
資格取得支援	100人	100人	200人
障害者アスリートによる出前授業	—	2回/年	2回/年
車椅子スポーツ予選会の新規開催支援	—	2大会	2大会

## 5-2 地域経済を活性化する

### 5-2-1 産業の振興

#### 施策の展開

- + 本市では、雇用力の大きい製造業及び成長が見込まれる先端技術産業等を中心に企業誘致を進めており、製造業など一定の集積が進んでいます。
- + 今後、さらに税源の涵養や雇用の創出を図るため、医療、福祉、健康関連など、今後の成長が期待される産業分野の集積を促進するとともに、新たな産業用地の確保に向けた取組みを進めるほか、市内企業の追加投資や本市への拠点集約をさらに促進するなど、立地支援の一層の拡充を図ります。
- + また、本市は東京近郊にあって比較的安い地価や、豊富な大学など安定的な人材供給力を有しています。市ビジネス支援センターや千葉大亥鼻イノベーションプラザなどを有効活用し、チャレンジ精神に富む人材や企業の輩出、成長期にある企業を育成する商品開発や販路開拓を支援するなど、新しいビジネスや次世代をリードする新事業、新産業の創出に積極的に取り組みます。
- + さらに、市民生活を支える持続性の高い地域経済を構築するため、中小企業や小規模事業者の継続的な成長の支援や、市内産品等の高付加価値化を図るとともに、中小企業を取り巻く厳しい経営環境を踏まえ、中小企業の資金繰りを支援します。
- + このほか、海外への販路拡大など海外競争力の強化を図る市内企業を支援するとともに、税源の涵養や雇用の創出などを図るため、外国企業の企業の市内進出を促進します。



新港・中央港地区



商品アドバイス会

## 計画事業

### ●企業立地の促進（産業支援課、道路計画課）

地域経済の活性化や市民の雇用創出を図るため、事業所の新規立地などに助成するとともに、産業用地の確保に向けた検討を行います。また、工業団地等へのアクセス改善を図るため、道路改良を行います。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
企業立地促進助成	制度拡充	所有型 14件、賃貸型 31件、累積投資型 3件	所有型 14件、賃貸型 31件、累積投資型 3件
産業用地の確保	事業規模の確定	事業可能性調査、基本構想策定、候補用地選定	候補用地の選定
千葉外房有料道路（大木戸 I C）の改良	調査・設計	用地取得、工事	供用開始
市道東寺山町山王町線等の整備	調査	設計、用地取得 4,800 m <sup>2</sup>	設計完了 用地取得完了

### ●スタートアップ支援の強化（産業支援課）

スタートアップ期にある事業者を支援するため、経営知識等の習得や販路開拓の支援を行います。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
創業者研修	1講座/年	3講座/年増	4講座/年
販路開拓支援	マッチングイベント 1回	トライアル認定事業創設 10件	トライアル認定事業創設 10件

### ●成長期にある企業の育成支援（産業支援課）

新事業の創出を図るため、成長期にある企業の育成のための商品開発及び販路開拓支援を行います。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
商品開発・販路開拓支援	新規市場開拓支援、 合同商談会、海外展開支援	オープンイノベーション製品開発助成 2件、 新商品・新技術開発助成 2件 販路開拓支援対象企業 (海外 2社)	オープンイノベーション製品開発助成 2件、 新商品・新技術開発助成 2件 販路開拓支援対象企業 (海外 2社)

### ●市内産品の競争力強化（経済企画課）

市内産品の付加価値を高め競争力強化を図るため、商品アドバイス会やプロモーション活動を行います。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
高付加価値品の販路開拓	—	2店	2店
普及品の販路開拓	—	6店	6店

## 5-2-2 新事業の創出

### 施策の展開

- ✚ 経済のグローバル化や都市間競争の激化など、本市の経済を取り巻く環境は厳しい状況にあります。社会経済環境の変化に的確に対応し、ビジネスを行ううえで魅力的な都市として発展するためには、市内企業の成長を促進するとともに、新たな企業の立地や起業家精神にあふれる人材を育成するなど、イノベーションの創出や産業の新陳代謝を促す取組みを進める必要があります。
- ✚ 起業を促進するため、引き続き、創業者研修による知識習得や資金調達支援、コーディネーターによる相談体制の確立などの支援を行うとともに、スタートアップ期にある事業者の成長を促進するため、販路拡大などのフォローアップ支援を行います。
- ✚ また、将来の産業人材の育成に向け、市内企業と大学生のインターンシップのマッチングを行うとともに、関係機関や企業経営者等と連携し、創業者を支援する体制の整備を進めるほか、次代を担う子どもたちの起業家精神を喚起・涵養するための取組みを進めます。



大学生向け合同企業説明会

### 計画事業

#### ●産業人材の育成（経済企画課）



若者を中心とした産業人材の育成を図るため、児童・生徒を対象に起業塾を実施するとともに、市内企業と大学生のインターンシップのマッチングを行います。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
キッズアントレプレナーシップの拡充	540人/年（4事業）	20人/年増	560人/年
大学生の市内企業への雇用促進	合同企業説明会、企業見学バスツアー 参加学生 100人/年	インターンシップ支援 参加企業 60社/年	インターンシップ支援 参加企業 60社/年

#### ●スタートアップ支援の強化（産業支援課）【再掲】

スタートアップ期にある事業者を支援するため、経営知識等の習得や販路開拓の支援を行います。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
創業者研修	1講座/年	3講座/年増	4講座/年
販路開拓支援	マッチングイベント 1回	トライアル認定事業創設 10件	トライアル認定事業創設 10件

●成長期にある企業の育成支援（産業支援課）【再掲】

新事業の創出を図るため、成長期にある企業の育成のための商品開発及び販路開拓支援を行います。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
商品開発・販路開拓支援	新規市場開拓支援、合同商談会、海外展開支援	オープンイノベーション製品開発助成2件、新商品・新技術開発助成2件 販路開拓支援対象企業（海外2社）	オープンイノベーション製品開発助成2件、新商品・新技術開発助成2件 販路開拓支援対象企業（海外2社）

参加と連携

～市民のみなさんの参加やつながりが「まちづくりの底力」です。



1 子ども起業塾

次世代を担う子どもの起業家精神を喚起し、涵養するため、大学・企業と連携し、地域の商店・ボランティアの協力のもと、経済・金融の仕組みやものづくりの楽しさに触れることのできる、子ども起業塾を毎年、開催しています。

☎ 経済企画課 (043-245-5275)

## 5-2-3 商業・サービス産業の振興

### 施策の展開

- ⊕ 本市は、JR千葉駅周辺をはじめとする商業集積や、交通の結節点である立地の優位性を背景に県内で最大の商圈人口を有していますが、市内店舗数は減少傾向にあり商業環境は厳しさを増しています。
- ⊕ 多様な消費者ニーズに的確に対応し、市内商業の活性化を図るため、商店街の環境整備などを支援します。

### 計画事業

#### ● 地域商業者の魅力向上支援（産業支援課）

地域経済の活性化や市民の雇用創出を図るため、魅力ある商店街エリアの環境整備に助成します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
共同施設整備助成	5件(26年度事業量)	5件/年	5件/年
高度化助成	2件(26年度事業量)	1件	3件

### 参加と連携

～市民のみなさんの参加やつながりが「まちづくりの底力」です。



#### 1 コミュニティビジネスの支援

地域の課題をビジネスの手法を用いて解決する「コミュニティビジネス」を促進するため、市民を対象にコミュニティビジネスの活性化について考えるシンポジウムを開催します。

また、コミュニティビジネスによる創業を目指す方に対して、市コミュニティビジネス推進協議会のネットワークを活用した相談を受け付けます。

☎ 産業支援課 (043-245-5277)

## 5-2-4 物流・港湾機能の強化

### 施策の展開

- ✚ 近年、長引く景気の低迷や、流通経路の多元化に伴う市場経由率の低下などにより、卸売市場における取扱数量の減少が続いている。市場間競争に対応するため、「市場経営展望」に基づき、将来的な市場のあり方の検討を進めます。また、施設の供用開始から30年余りが経過し、建物や設備が老朽化していることから、施設の改修を進めます。
- ✚ 千葉港は、京葉臨海工業地帯の基盤的な港湾として、全国有数の貨物取扱量を誇り、鉄鋼業や石油業をはじめ、地元に立地する企業にとって必要不可欠な港湾となっています。また、首都圏経済の発展等を支える重要な役割を担っているため、老朽化した岸壁など港湾施設の適切な維持・強化を促進します。

### 計画事業

#### ● 市場施設の改修（地方卸売市場）

安全安心な市場機能を維持するため、冷蔵冷凍設備を改修します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
設備改修	エネルギー棟耐震補強及び外壁・屋上防水改修	水産物部冷蔵庫棟 冷凍設備改修 青果部定温庫棟 冷蔵設備改修	水産物部冷蔵庫棟 冷凍設備改修 青果部定温庫棟 冷蔵設備改修

#### ● 魅力ある千葉港づくりの推進（まちづくり推進課）

港湾物流機能の充実を図るため、千葉港公共ふ頭の改良や蘇我寒川緑地の整備などを行います。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
千葉港整備（県事業負担金）	中央ふ頭基礎工 70m	千葉中央地区 岸壁、物揚場改良、波除堤防 千葉南部地区 寒川緑地護岸工	千葉中央地区 岸壁改修、物揚場改良、波除堤防完成 千葉南部地区 寒川緑地護岸整備

## 5-2-5 勤労者の支援と雇用の創出

### 施策の展開

- ⊕ 就業支援の拠点である千葉市ふるさとハローワーク（稻毛・緑区役所内）において、就労・生活支援や職業相談を行うなど、国や県と連携を深めながら、切れ目のないきめ細やかな相談体制の実現を図ります。
- ⊕ 若者の就職環境は厳しい状況にあるとともに、大学卒業後3年以内の離職率が約3割と高い状況にあります。
- ⊕ 就職活動前のカウンセリングや職業紹介、また、相談を通じて企業が望むスキル習得のための職業訓練へ誘導することにより、雇用のミスマッチの解消を図るとともに、早い段階での職業観の醸成や将来の就職活動がスムーズにいくことを目的に、大学1・2年生と市内中小企業を対象とした合同企業説明会を開催します。
- ⊕ また、本市には大学等への外国人留学生が約1,400人いますが、卒業後に市内事業所等に就職せず帰国する留学生が多いため、就業機会の拡大を図ります。



ふるさとハローワーク（稻毛区役所内）

### 計画事業

#### ■雇用対策の推進（経済企画課）

雇用のミスマッチを解消するため、市内の魅力ある中小企業等の情報を大学等の新卒者などに提供します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
各大学への市内企業データの提供	—	提供	提供

## 5-3 都市農林業を振興する

### 5-3-1 新鮮で安全・安心な農畜産物の安定供給

#### 施策の展開

- ✚ 近年、農産物価格は、生鮮野菜を含む輸入農産物の増加により低迷しており、農業をめぐる環境は厳しい状況となっています。こうしたなか、農業の担い手を確保するためには、他の産業と遜色のない所得を農家が得られるような環境整備が必要です。
- ✚ 生産性の向上を図るために、農業経営の安定と生産意欲の維持・向上を図る取組みを進めるとともに、営農指導や技術開発の推進、農作業の省力化や効率化などの改善に取り組みます。
- ✚ また、本市の特色ある都市農業を活かし市内産の農産物を市民に供給し、消費者と生産者がより身近で信頼される関係づくりを目指すため、市内農家とレストラン等との交流会や地場産品レストラン認定制度を創設するなど、地産地消を推進します。
- ✚ さらに、市産品のブランド化や新たな流通支援を進めることにより、本市の加工食品や一次産品の付加価値を高め、食品関連産業や市内農業等の競争力強化を図ります。

#### 計画事業

##### ● 営農指導の充実（農業生産振興課）

農業者の生産性の向上のため、専任アドバイザーを活用した営農指導を行います。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
専任アドバイザーの配置	－	1人	1人

##### ● 農産物の栽培技術の向上（農業生産振興課）

農産物の生産性向上を図るため、農政センターの組織培養部門の一部研究委託を行います。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
培養技術の充実	－	培養技術研究の委託 種苗供給用機器の導入 1台	培養技術研究の委託 種苗供給用機器の導入 1台

##### ● 銀農経営体の育成（農業生産振興課）

乳牛の生乳生産性の向上を図るため、優良後継牛の確保に向け、性別別精液や受精卵の購入に助成します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
性別別精液及び受精卵購入助成	－	120戸	120戸

### ●農業の6次産業化の推進（農政課）

農家所得の向上を図るため、6次産業化を目指す農業者に対し、支援します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
6次産業化支援	—	1 経営体	1 経営体

### ●地産地消の推進（農政課）

市内産農畜産物の供給を促進するため、ホテル・レストラン等との交流会や産地見学会を行います。また、地産地消を推進するため、地場産品レストランの認定制度を創設します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
市内産農畜産物の供給促進	生産者出張授業・地産地消キャンペーン	ホテル・レストラン等との交流会・産地見学会 各3回 地産地消推進店の登録 20店	ホテル・レストラン等との交流会・産地見学会 各3回 地産地消推進店の登録 20店
地場産品レストランの認定制度の創設	調査	制度創設	認定2件

### ●市内産品の競争力強化（経済企画課）【再掲】

市内産品の付加価値を高め競争力強化を図るため、商品アドバイス会やプロモーション活動を行います。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
高付加価値品の販路開拓	—	2店	2店
普及品の販路開拓	—	6店	6店

## 5-3-2 安定した農業経営体の育成

### 施策の展開

- ⊕ 本市の農業を取り巻く環境は、耕作放棄地の増大や農業従事者の高齢化、担い手不足など厳しい状況にあり、安全で安心できる農畜産物の安定供給と安定した農業経営体の確保・育成を図る必要があります。
- ⊕ 優良農地の確保を図るために、農業生産基盤の整備を進めるとともに、耕作放棄地対策を推進します。
- ⊕ 意欲ある農業の担い手を確保・育成するため、新規就農希望者や定年帰農者等に対し研修を行い、就農を促進します。また、地域農業の活性化を図るために、「人・農地プラン」に基づき、今後の地域農業の中心となる経営体を位置付けるとともに、「人・農地プラン」の細分化を行い、農地中間管理機構の交付金を活用するなど、意欲ある農業者への農地集積・集約を促進します。



新規就農者研修

### 計画事業

#### 1 優良農地の確保と有効利用

##### ● 耕作放棄地対策の推進（農業生産振興課）

耕作放棄地の未然防止を図るために、貸し出し用の大型草刈機を導入します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
大型草刈機の導入	—	1台	1台

##### ● 緑農住区開発関連土地基盤整備の推進（農業環境整備課）

都市近郊農業の生産基盤と一体的に良好な住宅用地の創出を図るために、道路の整備を行います。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
道路整備等	309m	470m	779m

##### ● 北総中央用水の利活用の推進（県営事業）（農業生産振興課、農業環境整備課）

北総中央用水の利活用による安定的な農業生産基盤を確保するため、農業用水設備を整備します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
農業用水設備の整備	—	基本設計、実施設計、工事	工事

## 2 意欲ある担い手の確保・育成

### ●農業の担い手育成（農業経営支援課）

農業の担い手を確保・育成するため、農業知識の習得や技術の向上を図れるよう、新規就農希望者研修を行います。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
新規就農希望者研修	修了 20人	10人	30人

### ●「人・農地プラン」による地域農業の活性化（農業経営支援課）

農業の担い手不足など、人と農地の問題を解決するため、地域の中心となる経営体の追加やモデル地域の選定など、「人・農地プラン」の更新を行います。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
「人・農地プラン」細分化	—	10地区	10地区
「人・農地プラン」更新	18経営体	9経営体増	27経営体

### ●農業経営体の育成（農業生産振興課）

都市農業として生産性の高い農業経営体を確立するため、作業の効率化や省力化を図る農業用機械や栽培施設の整備に助成します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
農業用機械施設の整備	1件	8件	9件

## 5-3-3 農村と森林の持つ多面的機能の活用

### 施策の展開

- ⊕ 農業や農村は、市民に対し安定的に食料供給する役割のみならず、生産活動を通じ、「やすらぎ」や「うるおい」をもたらすなど、多面的な機能を有しています。農業に親しむ機会を提供するため、農家の適切な指導のもとで農業を体験できる市民農園などの整備を促進とともに、都市等との地域間交流を図るために設置される農家レストランなど、地域農業の振興に資する施設の設置を検討します。
- また、車いすの方でも利用できるよう身障者トイレの整備などを支援します。
- ⊕ 本市では、森林所有者の高齢化や木材価格の低迷、1人当たりの森林所有面積が少なく、施業効率が低いため、森林の適正な保全管理が困難な状況となっており、有害鳥獣の生息域の拡大や、広葉樹などの多様な樹木の消失、災害防止機能への影響など、森林の持つ多面的機能が低下しています。このため、森林を「市民共有の資産」として位置付け、市民、団体・企業と連携して、健全な森林の保全に取り組みます。
- ⊕ 里山の保全については新たなボランティア団体の設立や、リーダーとなる人材の育成に努めるとともに、里山ボランティアや森林組合、所有者等が連携しながら、保全管理が円滑に進められるよう、取り組みます。

### 計画事業

#### 1 都市と農村の交流

##### ● 農とふれあう機会の充実（農政課、農業経営支援課）

都市と農村の交流を促進するため、市民農園等の整備、観光農園のバリアフリートイレ整備に対する助成を行います。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
市民農園等の整備	34か所	6か所	40か所
農業体験農園整備	3か所	1か所	4か所
バリアフリートイレ整備	8か所	3か所	11か所

#### 2 農村環境の整備と保全

##### ● 農業集落排水施設の改修（農業環境整備課）

農村の生活環境を保全するため、農業集落排水における老朽化した設備を改修します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
施設改修 大和田地区	最適整備構想策定 事業計画作成	実施設計、改修工事	改修完了
平川地区	最適整備構想策定	事業計画、実施設計	実施設計

## ■有害鳥獣対策の推進（農業経営支援課）

有害鳥獣による農作物被害を軽減するため、捕獲した個体の処分等に助成します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
有害鳥獣の捕獲	23頭/年	23頭/年	23頭/年

## 3 森林の多面的機能の活用

### ■里山の保全（農業経営支援課）



里山地区の保全管理活動を促進するため、市民参加によるイベント等を開催します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
市民参加によるイベント等の開催	1地区	1地区増	2地区

### 参加と連携 ~市民のみなさんの参加やつながりが「まちづくりの底力」です。



#### 1 里山地区の管理

本市は、「里山地区」の指定にあたり、森林所有者と使用貸借契約を締結するとともに、保全管理に関する協定を締結し、森林ボランティア団体に管理を委託しています。

現在、NPO法人ちば森づくりの会（第1水曜日、第1・2・3・4土曜日）、千葉市里山ボランティアの会（毎月1日、9日、17日、25日）がボランティア活動をしています。☎農業経営支援課（043-228-6275）